

2026 年定時社員総会（第 41 回）

- 第 1 号議案 2025 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 個人会員の除名処分承認の件
- 第 3 号議案 2025 年度決算書・監査報告書承認の件
- 第 4 号議案 2026 年度事業計画書承認の件
- 第 5 号議案 2026 年度収支予算書承認の件
- 第 6 号議案 定款改訂の件
- 第 7 号議案 2026 年度理事，監事選任の件

2026 年 6 月 29 日（月）



一般社団法人

人工知能学会

The Japanese Society for Artificial Intelligence

〒 162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-7

OS ビル 402 号室

URL: <https://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/>

目 次

1	2025 年度事業報告書	1
	処務の概要	27
2	個人会員の除名処分について	40
3	2025 年度決算報告書	41
	2025 年度特別費に基づく事業報告補足	53
	監査報告書	56
4	2026 年度事業計画書	57
	2026 年度特別予算に基づく事業計画	71
5	2026 年度収支予算書	75
6	定款改訂について	78
7	2026 年度理事，監事の選任について	79
	2025-2026 年度代議員	81

2025 年度事業報告書

I 事業の概況

一般社団法人人工知能学会は新定款第2章に定められた目的及び事業に従い、以下の事業を実施した。

1. 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款4条1号）

第39回全国大会 JSAI2025 については、2025年5月27日(火)～30日(金)に大阪国際会議場（グランキューブ大阪）を現地会場としてオンライン参加可能なハイブリッド形式にて開催した。一般発表の他に基調講演1件、招待講演2件、チュートリアル講演4件、公募企画セッション33件（うち万博関連企画8件）、学生企画セッション1件、等を実施した。発表件数は1,186件（前年度は946件）、参加者数は4,940名（前年度は3,803名）であった。

第17回国際シンポジウム JSAI-isAI2025 を4ワークショップ構成により第39回全国大会 JSAI2025 と併催する形で5月26日(月)～27日(水)に開催した。一般発表42件、招待講演7件、参加者81名で、うち海外からの参加登録者は13カ国31名であった（JSAI-isAI2024 は、4ワークショップ、一般発表39件、招待講演6件、参加登録者数96名、海外の参加登録者は17カ国54名）。

第7回産学クロススクエア「ミライをつくるAI人材」@Osaka を2025年9月12日(金)～13日(土)、立命館大学 大阪いばらきキャンパス Future Plaza イベントホールで開催、97名が参加された（前回の参加数は129名）。

企画（セミナー）委員会としてオンラインAIセミナーを計3回開催した。また、ジュニア・ユース委員会として中高生向けの JAPAN AI CUP One-Day 体験セミナーを2回開催した。多様性・包摂推進委員会としてオンラインセミナーを2回開催した。

2. 学会誌、論文誌その他の刊行物の発行（定款4条2号）

学会誌「人工知能」を隔月に発行した。「人工知能」は長期的な企画と周到な準備のもとにホットなテーマの特集、解説、連載記事や新たな企画で内容の充実を図った。一方、人工知能学会論文誌は、(独)科学技術振興機構の J-Stage を利用したオンラインジャーナルで随時発行した。また、論文賞2件を選定した。

英文論文誌 New Generation Computing では、特集論文を企画、掲載すると共に、全国大会論文、国際ワークショップ論文、および世界中からの投稿論文から厳選して、論文を採録した。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条3号）

人工知能分野の研究活性化を目的として、優秀な論文や研究会・全国大会における発表を選定するとともに、会誌やホームページを通じて情報発信を行った。また、業績賞1名、現場イノベーション賞金賞・銀賞各3件、研究会優秀賞24件、大会優秀賞55件、大会学生奨励賞9件を選定した。

4. 研究及び調査（定款4条4号）

30研究会の各々が単独、他学会との連携、あるいは合同研究会で年間2～4回の研究会を開催した。研究会開催総数は63回（昨年度53回）、一般発表の論文数は521件（同602件）であった。また、合同研究会2025を2025年12月1日(月)～3日(水)、慶應義塾大学 日吉キャンパスならびにオンラインのハイブリッド形式にて開催した。プレナリーとして招待講演2件ならびにパネル討論1件とインダストリアルセッションを実施した。参加18研究会(昨年は16研究会)、研究会発表139件（一般発表）、17件（研究会招待講演等）、参加登録者数は1,372名（昨年1,005名）、企業スポンサー13社であった。

5. 国内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款4条5号）

国内外の人工知能関連団体のイベントに対して、共催2件、協賛39件、後援41件を行い、人工知能分野の研究の活性化に努めた。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款4条6号）

1件のコンペティションに対して助成を行うこととした。

7. 年度末の会員数は、正会員5,122名（前年度343名増）、学生会員956名（同133名増）、賛助会員298社（同6社増）、特殊購読会員62社（同1社減）となった。また、長年本会活動に貢献されてきた会員への感謝と、学会活動への参加継続のために新設した永年会員制度に基づき、3名の会員を永年会員として認定した。

処務の概要は27ページ以降に、役員などに関する事項、職員に関する事項、会議などに関する事項、許可・認可などに関する事項、契約に関する事項、寄付金に関する事項、主務官庁からの連絡事項の順にまとめた。

(1) 学術集会, 学術講演会, 講習会等の開催 (定款4条1号)

① 第39回全国大会 JSAI2025 : 全国大会担当

以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式で開催した。

- ・ 日 時 : 2025年5月27日(火)~30日(金)
- ・ 場 所 : 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) + オンラインのハイブリッド形式
- ・ 組 織 : 大会委員長 本村 陽一 (産業技術総合研究所)
大会副委員長 (実行委員長) 清田 陽司 (麗澤大学)
大会副委員長 (プログラム委員長) 大西 正輝 (産業技術総合研究所)
実行副委員長 倉島 健 (NTT)
プログラム副委員長 小町 守 (一橋大学)
実行委員長補佐 小塩 篤史 (麗澤大学)
プログラム委員長補佐 鈴木 彼方 (富士通)
- 委員 : 松村 真宏, 西原 陽子, 村上 晴美, 丁 世堯, 稲浦 綾, 沼田 哲史, 土屋 祐太, 西澤 直樹, 安松 健, 梶 洋隆, 本浦 庄太, 長谷川 拓, 宮澤 和貴, 林 勝悟, 谷本 啓, 井田 安俊, 太刀岡 勇氣, 楊 鯤昊, 齊藤 史哲, 小暮 悟, 森 準基, 福地 庸介, 峯岸 朋弥, 森岡 博史, 末廣 大貴, 大社 綾乃, 本武 陽一, 比嘉 恭太, 南部 優太, 石垣 達也, 南雲 亮佑, LI JINGHONG, 瓦 祐希, 大本 義正, 林 雄介, 波多野 大督, 松嶋 達也, 神原 元就, 堀口 維里優, 鈴木 豊太郎, 中野 有紀子, 金子 正弘, 矢入 郁子, Rafal Rzepka, Ziwei Xu, 矢田 勝俊, 三浦 輝久, 李 吉屹, 打矢隆弘, Natthawut Kertkeidkachorn, 服部 俊一
- ・ 基調講演 : 「バディ AI がいる世界へ」 栗原 聡 (慶應義塾大学/本会会長)
- ・ 招待講演 : 「アバターと未来社会」 石黒 浩 (大阪大学/ATR 石黒浩特別研究所)
- ・ 招待講演 : 「AI のリスクと安全性~AI 広島プロセスから AISI 設立まで」 村上 明子 (AI セーフティ・インスティテュート)
- ・ チュートリアル (4件)
「AI の品質マネジメントについて」 妹尾 義樹, 小西 弘一 (産業技術総合研究所)
「深層基盤モデルの数理」 鈴木 大慈 (東京大学)
「大規模視覚言語モデルの開発」 鈴木 哲平, 田中 稔之, 高田 拓実, 品川 政太郎 (SB Intuitions)
- 「日本古典文化と生成 AI」 北本 朝展 (国立情報学研究所/ROIS-DS 人文学オープンデータ 共同利用センター), カラーヌワット タリン (Sakana AI)
- ・ 企画セッション (33件)
「生成 AI が切り拓く仕掛学の可能性」 松村 真宏 (大阪大学), 松下 光範 (関西大学), 塩瀬 隆之 (京都大学), ハナムラ チカヒロ (大阪公立大学), 林 良平 (高知工科大学), 白水 菜々重
「人工知能学会・日本神経回路学会合同企画『AI for Science』」 櫻井 祐子 (名古屋工業大学), 谷口 晋平 (博報堂/博報堂 DY メディアパートナーズ)
「AI におけるソフトコンピューティングの役割と未来」 生方 誠希 (大阪公立大学), 布施 陽太郎 (富山県立大学), 中嶋 宏 (東京都立大学)
「AI の民主化が進む今だからこそ知りたい国際標準化の最新情報」 杉村 領一 (産総研), 倉橋 節也 (筑波大学), 井崎 武士 (NVIDIA)
「画像診断 AI の医療応用の現状と問題点」 小林 泰之 (聖マリアンナ医科大学), 古崎 晃司 (大阪電気通信大学), 大原 剛三 (青山学院大学)

- 「『スポーツ×情報学×インタラクション』の創発：現場を“支える”データの利活用」
市川 淳（静岡大学），山田 雅敏（常葉大学），
藤井 慶輔（名古屋大学），一ノ瀬 元喜（静岡大学）
- 「信頼されすぎる？AI 『ときどき間違える AI との付き合い方』」
岸田 昌子（国立情報学研究所），竹内 孝（京都大学），
松原 崇（北海道大学），原 聡（電気通信大学），谷中 瞳（東京大学）
- 「AI と法規制の国内外の最新動向と企業に求められる対応」
大谷 光（日本ディープラーニング協会），柴山 吉報（日本ディープラーニング協会）
「フィジカル AI システムの研究開発 ～身体性に基づく知能の研究～」
茂木 強（科学技術振興機構），尾形 哲也（早稲田大学）
- 「AI とデモクラシー」
白松 俊（名古屋工業大学），奥原 俊（三重大学），Jawad Haqbeen（京都大学），
大沼 進（北海道大学），松尾 徳朗（東京都立産業技術大学院大学）
- 「『ナラティブと人工知能』」を考える」
武富 有香（国立情報学研究所），須田 永遠（国立情報学研究所），坂地 泰紀（北海道大学）
- 「学習理論におけるゲーム理論のフロンティア」
岩崎 敦（電気通信大学），阿部 拳之（サイバーエージェント）
- 「希望ある未来に向けた AGI の安全性とアライメント」
山川 宏（東京大学），高橋 恒一（AI アライメントネットワーク）
- 「GeoSciAI2025: 地球惑星科学×AI コンペの実施報告」
飯田 佑輔（新潟大学），高橋 幸弘（北海道大学），長尾 大道（東京大学），
中野 満寿男（海洋研究開発機構），福井 健一（大阪大学），是枝 祐太（日立製作所）
- 「倫理委員会特別企画『2050年の人と AI のあるべき共生社会について考える』」
栗原 聡（慶應義塾大学），武田 英明（国立情報学研究所），中川 裕志（理化学研究所）
- 「労働における人間と AI との共創 ～人間と AI にまつわる新しい研究の探索」
鹿内 学（シンギュレイト），神長 伸幸（ミイダス）
- 「ジュニア世代のための人工知能学会の役割」
小野 智弘（KDDI 総合研究所），本村 陽一（産業技術総合研究所）
- 「人工知能に関する特許の現状」
津本 周作（島根大学），藤田 和子（正林国際特許商標事務所）
- 「JSAI・共同通信社連携企画「ニュースデータ x AI・知の共創プロジェクト」」
大向 一輝（東京大学），清田 陽司（麗澤大学）
- 「AI サイエнтиストの台頭」
神楽坂 やちま（獨協医科大学埼玉医療センター），中田 康史（慶應義塾大学）
- 「人と AI エージェントの共生・協働 ～生成 AI がもたらす社会・産業の変革に向けて～」
福島 俊一（科学技術振興機構），伊藤 孝行（京都大学），森永 聡（NEC）
- 「人工知能とコンペティション」
石原 祥太郎（日本経済新聞社），原田 慧（電気通信大学）
- 「AI エージェントと資産運用の未来」
和泉 潔（東京大学），村山 友理（東京大学），朴 哲（野村ホールディングス）
- 「人工知能領域におけるジェンダーギャップを考える」
葛木 美紀（Google Cloud Japan），曲沼 宏美（インテージ），福島 ゆかり（電通デジタル），
伊藤 清香（unerry），藤本 祥恵（すかいらーくホールディングス）
- 「万博関連セッション招待講演：Shane Gu 氏」
「万博関連企画：中高等学校における AI 教育・DS 教育の現状と今後の展開」
笹嶋 宗彦（兵庫県立大学），林 宏樹（兵庫県立大学／雲雀丘学園中学校・高等学校）
- 「万博関連企画：人文社会科学と AI の融合研究」
紺野 剛史（富士通），白石 壮大（富士通）
- 「万博関連企画：AI を活用した教育の未来」
神崎 宣次（南山大学），村上 正行（大阪大学），岸本 充生（大阪大学）
- 「万博関連セッション招待講演：中島さち子氏」
「万博関連企画：人狼知能コンテスト 2025 春季国内大会自然言語部門」

狩野 芳伸 (静岡大学), 片上 大輔 (東京工芸大学), アランニャ クラウス (筑波大学),
 伊藤 毅志 (電気通信大学), 稲葉 通将 (電気通信大学), 大澤 博隆 (慶應義塾大学),
 大槻 恭士 (山形大学), 鳥海 不二夫 (東京大学), 原田 慧 (電気通信大学)
 「万博関連企画: ドメイン特化生成 AI の共創・協調に向けて」

是津 耕司 (情報通信研究機構), 黒川 茂莉 (KDDI 総合研究所)
 「万博関連企画: AI 時代の“学び”と“遊び”を再発明する ~ コミュニティを基盤に『態度』を育む
 方法論」

沼田 哲史 (大阪電気通信大学/情報科学技術協会),
 林 和弘 (文部科学省科学技術・学術政策研究所/情報科学技術協会)

・学生企画「LLM が変わる AI 研究の形: 自動研究の最前線」

牛久 祥孝 (NexaScience/オムロンサイニクエックス),
 熊谷 亘 (オムロンサイニクエックス)

・インダストリアルセッション	6 セッション (ロング 20 社, セミロング 15 社, ショート 10 社)
・ランチョンセミナー	13 社
・企業展示	126 ブース
・スポンサー	プラチナ 67 社, ゴールド 59 社, シルバー 12 社
・メディア協賛	4 社
・発表件数合計	1,186 件
国際セッション	42 件 (9 セッション)
一般セッション	422 件 (86 セッション)
オーガナイズドセッション	407 件 (86 セッション)
ポスターセッション	315 件 (3 セッション)

・参加者 (本人不参加による代理発表等のため, 発表参加者の数と発表の件数とは一致しない)

参加者	会員 (2,097 名)			非会員 (2,814 名)		合計
	一般	学生	賛助会員	一般	学生	
発表参加者	301	271	0	264	364	1,199 名
聴講参加者	972	98	455	1,919	268	3,712 名
招待者 (基調講演・招待講演・チュートリアル・企画セッション等)						30 名(14) ^{*1}
スポンサー聴講招待者						326 名(0) ^{*1}
取材						15 名(15) ^{*1}
合計						4,940 名

*1: カッコ内は参加登録をされていない方の人数

② 第17回国際シンポジウム (JSAI International Symposia on AI, JSAI-isAI 2025) : 企画 (国際化) 担当

以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式で全国大会と併催した。

- ・日 時 : 2025 年 5 月 26 日(月)~27 日(火)
- ・場 所 : 大阪国際会議場 (グランキューブ大阪) + オンラインのハイブリッド形式
- ・組 織 : 企画 (国際化) 委員会 : 中野 有紀子 委員長 (成蹊大学), 鈴木 豊太郎 副委員長 (東京大学)
- ・構 成 : 4 ワークショップ構成
 WS1: AI Security & Privacy 2025: Artificial intelligence Security and Privacy
 WS2: SCIDOCA 2025: Ninth International Workshop on Scientific Document Analysis
 WS3: JURISIN 2025: Nineteenth International Workshop on Juris-informatics
 WS1: AI-Biz 2025: International Workshop on Artificial Intelligence of and for Business

・参加者概要

	WS1	WS2	WS3	WS4
発表数 42+7 件	4+3	12+2	17+2	9+0
参加者数 81 名	37	25	40	25

発表者：一般発表数+招待講演数，各 WS 参加者数は参加登録時の参加予定 WS

国名	参加者数
日本	50
ベトナム	5
台湾	3
英国	4
中国	4
スペイン	1
インド	2
ドイツ	4
オーストリア	1
韓国	3
イタリア	2
エストニア	1
キリギスタン	1
総計	81

③ SIAI 産学クロススクエア「ミライをつくる AI 人材」の開催：産業界連携委員会担当

第7回 SIAI 産学クロススクエア「ミライをつくる AI 人材」@Osaka

- ・日 時：2025年9月12日(金)～13日(土)
- ・場 所：立命館大学 大阪いばらきキャンパス Future Plaza イベントホール
- ・組 織
山田 健太郎 委員長（本田技術研究所），土方 嘉徳 副委員長（兵庫県立大学）
委員：池田 大輔（日本総合研究所），板井 光輝（日立システムズ），岩井 千妃呂（博報堂テクノロジーズ），太田 貴博（エル・ティー・エス），大西 一貫（博報堂テクノロジーズ），数見 拓朗（サイバーエージェント），片上 大輔（東京工芸大学），谷口 晋平（博報堂），東本 崇仁（千葉工業大学），舟山 雄太（エル・ティー・エス），由井 成和（日本総合研究所）
- ・企業 Intro ブース訪問（インターンシップ体験，企業紹介）
- ・参加者数 97 名
学生 55 名，一般（スポンサー・実行委員を含む）42 名
- ・スポンサー5 社（1～2hour インターン体験・展示 4 社）

④ セミナーなどの開催：企画（セミナー）委員会

企画（セミナー）委員会：谷口 晋平 委員長（博報堂），刑部 好弘 副委員長（日立製作所）
委員：丹羽 彩奈（MBZUAI），太田 真人（Sakana AI）

以下セミナーを開催した。

回	開催日	テーマ	場 所	講演数	参加者
97	2025/6/6	機械学習研究の自動化に向けて 熊谷 亘 氏 (オムロニクエックス)	オンライン	1 名	256 名
98	2025/7/11	大規模言語モデルのための強化学習 陣内 佑 氏 (サイバーエージェント)	オンライン	1 名	323 名

99	2025/11/28	Vision-Language-Action モデルの現状と課題 河原塚 健 氏 (東京大学)	オンライン	1名	243名

⑤ セミナーなどの開催：ジュニア・ユース会員

ジュニア・ユース委員会：小野 智弘 委員長 (KDDI 総研) ， 吉田 香 副委員長 (九州工業大学)
委員：森 友亮, 林 宏樹, 林 兵馬, 櫻井 祐子, 岩崎 雅也, 中田, 長尾, 渡邊 勇

中高生を対象にして，人工知能やデータサイエンスの基礎知識を学ぶとともに，課題発見・アイデア創出に取り組むプログラムを提供し，人工知能カップ 中高生 AI・DS 探究部門への挑戦意欲を高めることを目的に，以下セミナーを開催した。

実行委員長：

共催：データサイエンティスト協会、関西大学ソシオネットワーク戦略研究機構

第1週目（招待者向け）：

2025年9月27日（土）10:00-16:00 セミナー @関西大学梅田キャンパス

9月28日（日）13:00-13:30 万博見学ツアー（希望した13名が参加）

参加人数合計 40名（内訳：生徒 21名、引率教員 7名、DS協会 4名、JSAI 7名）

第2週目（一般応募者向け）：

2025年10月4日（土）10:00-16:00 セミナー @グラングリーン大阪 JAMBASE

10月5日（日）13:00-13:30 万博見学ツアー（希望した6名が参加）

参加人数合計 22名（内訳：生徒 11名(うち中学生3名)、引率教員 1名、DS協会 4名、JSAI 6名）

⑥ セミナーなどの開催：多様性・包摂推進会員

多様性包摂推進委員会：高野 雅典 委員長 (サイバーエージェント)

委員：荒井 ひろみ (理化学研究所) ， 清田 陽司 (麗澤大学) ， 斎藤明日美 (ノースキャロライナ州立大学) ，
志水 洋人 (名古屋大学) ， 長倉 克枝 (中央大学) ， 村上 綾菜 (お茶の水女子大学)

以下セミナーを開催した。

2026年2月17日

ランチタイムウェビナー第4回「障害と人工知能研究活動：障害の社会モデルとニューロダイバーシティを理解する」

講師：篠宮 紗和子 (慶應義塾大学 メディアデザイン研究科 特任助教)

参加人数：不明

2026年3月24日

ランチタイムウェビナー第5回「ガールスカウトの活動から考える科学・技術と多様性・包摂」

講師：稲浦 綾 (公益社団法人ガールスカウト日本連盟/大阪電気通信大学総合情報学部 講師)

参加人数：不明

また，以下イベントを施した。

2025年5月27日 全国大会 女性向けランチ交流会

2025年5月28日 全国大会 若手向けランチ交流会

2025年12月3日 合同研究会 人工知能とDE&Iの社会実装

2025年12月1日 合同研究会 女性向けランチ交流会

(2) 学会誌，論文誌，その他の刊行物の発行（定款4条2号）

① 人工知能学会誌：編集委員会

三宅 陽一郎 委員長 (スクウェア・エニックス) ， 馬場 雪乃 副委員長 (東京大学)

シニア委員：高橋 恒一，我妻 広明，吉川 友也，田和辻 可昌，松原 崇，榎 剛史，吉田 香，稲葉 通将，諏訪 博彦，高橋 茶子，山野 泰子

正規委員：福島 宙輝，武石 直也，伏見 卓恭，宮崎 千明，山元 翔，西原 陽子，森田 純哉，関 喜史，松野 省吾，武村 泰範，盛田 健人，品川 政太郎，松井 孝太，福田 直樹，市川 淳，日高 昇平，山野 辺 一記，大内 孝子，森 友亮，大本 義正，山本 祐輔，横山 想一郎，太田 宏之，林 雄介，伊藤 友貴，石島 正和，宮本 友樹，岩澤 有祐，大海 悠太，水門 善之，柴田 健一，山本 哲也，大槻 恭土，杉本 舞，石川 翔吾，濱田 直希，須賀 聖，清水 仁，黒田 慧莉，高田 亮介

学生委員：佐久間 洋司，村上 綾菜，金子 颯汰，前田 晃弘，関本 快士，川島 遼介

発行年月日	概要
2025年5月1日 Vol. 40, No. 3 発行部数：6,100 ページ数：192	巻頭言「マルチステークホルダの対話に基づく問題解決」，特集「AI とファジィの接点」，特集「小規模言語モデル，エッジAI の展望」，小特集「アートと人工知能」，アーティクル「科学AI の自律性レベル（前編）」，連載「ほな行こか！大阪・関西万博！」「～万博連携セッション開催！全国大会直前特集～」，レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第3回〕「西田豊明先生に聞く『社会の知をAI でデザインする』」，合同研究会2024（SIGAIs2024）開催報告，企画委員会だより〔第3回〕「公式YouTube チャンネルの運営：試行錯誤から組織的活動への発展」，私のブックマーク「私が注目する大規模言語モデルの研究分野」，グローバルアイ〔第76回〕「欧米3か国での研究を通して」，学生フォーラム〔第128回〕「岡崎直観先生インタビュー「言語はどこまで科学できるようになったか」」，会議報告，書評，表紙解説
2025年7月1日 Vol. 40, No. 4 発行部数：6,380 ページ数：168	巻頭言「研究会の役割とは」，特集「都市デジタルツインの現在地とこれから」，特集「人の学びに溶け込むAI」，アーティクル「科学AI の自律性レベル（後編）」，連載「ほな行こか！大阪・関西万博！」～万博をもっと楽しもう！舞台裏のストーリー～「生命進化の樹」「未来をつくる挑戦と若者の役割」，レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第4回〕「稲垣康善先生に聞く『技術は使われてこそ』」，企画委員会だより〔第4回〕「人工知能分野をコンペティションで盛り上げたい」，私のブックマーク「生命科学における知識グラフの利用—データ統合から知識発見へ」，グローバルアイ〔第77回〕「カーネギーメロン大学での認知モデリング研究」，学生フォーラム〔第129回〕「技術と人間，その接点を探して— HAI/HRI 研究者・野村竜也先生が語るキャリアとビジョン」，会議報告，書評，表紙解説
2025年9月1日 Vol.40, No.5 発行部数：6,500 ページ数：192	巻頭言「人と機械の融和の時代における「機械」の進化」，特集「対話エージェントとステレオタイプ」，特集「医療データ活用の最前線」，特集「2024年度研究会優秀賞受賞論文紹介」，論文特集「人工知能と物語応用」，連載「ほな行こか！大阪・関西万博！～見てみよう！各国パビリオンにみる未来社会のAI～」「万博に行ってみた！」「スイスの研究者へのインタビュー～AI と共に暮らす社会への期待と倫理的課題～」「SFプロトタイピングで描くAI と共生する未来」，レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第5回〕「有川節夫先生に聞く「応用の利く基礎と基礎のある応用を」」，企画委員会だより〔第5回〕「40年，積み重ねた歴史に参加する」，私のブックマーク「音声対話における非言語生成」，グローバルアイ〔第78回〕「オックスフォード大学研究記」，学生フォーラム〔第130回〕「人工知能学会会長・栗原 聡先生インタビュー「生成AI のその先へ—シンボル・創発・メタ認知が開く人工知能の未来」」，会議報告，書評，表紙解説
2025年11月1日 Vol.40, No.6 発行部数：6,580 ページ数：201	巻頭言「2026年の全国大会に向けて」，特集「2025年度人工知能学会全国大会（第39回）」，論文アブストラクトJ-stage，連載「『ほな行こか！大阪・関西万博！』～万博をもっと楽しもう！舞台裏のストーリー～」「情報と物質をつなぐ建築」—豊田啓介氏インタビュー」，アーティクル「万博特集を振り返る～万博連携特集 座談会～」，レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」〔第6回〕「大津展之先生に聞く『大局を見て，分野を横断する』」，企画委員会だより〔第6回〕「人工知能セミナーの歩みと現在—通算100回に向けて」，私のブックマーク「ヒューマ

	ンロボットインタラクション」, グローバルアイ [第 79 回] 「ドイツのグラドゥイアーテンコレク: 博士号を取るなら 10 人ぐらいの仲間と」, 学生フォーラム [第 131 回] 「米澤朋子先生インタビュー『人間らしさはポジティブだけじゃない——ロボットにネガティブ感情を宿す研究』」, 会議報告, 書評, 表紙解説, 人工知能 Vol. 40 全目次
2026 年 1 月 1 日 Vol.41, No.1 発行部数: 6,670 ページ数: 88	巻頭言「ワークショップによる研究の萌芽」, 特集「編集委員の抱負 2026」, 特集「人工知能分野における博士論文—博士論文に見る研究テーマの動向—」, 企画委員会だより [第 7 回] 「学会のイベントと連携した YouTube 公式チャンネルでの情報発信」, 私のブックマーク「大規模言語モデルと知識グラフ」, グローバルアイ [第 80 回] 「ニューヨーク州立大学ビンガムトン校での研究滞在」, 学生フォーラム [第 132 回] 「峰野博史先生インタビュー『分野を越えて挑戦を楽しむ』」, 会議報告, 書評, 表紙解説
2026 年 3 月 1 日 Vol.41, No.2 発行部数: 6,680 ページ数: 169	巻頭言「AI の発展・普及と AI マップ」, 特集「AI と神経科学の接点 2026」, 特集「AI 規制の新時代: 日本およびグローバルな規制動向と研究開発の在り方」, 論文特集「知的対話システム」, 論文特集「複雑ネットワーク科学」, レクチャーシリーズ「日本における人工知能の源流を訪ねて」 [第 8 回] 「丸山文宏先生に聞く『社会の生の問題に向き合う』」, 企画委員会だより [第 8 回] 「『学ぶ場』としてのコンペティションを考える」, 私のブックマーク「脳 MRI データの解析と生成」, グローバルアイ [第 81 回] 「モントリオールでのポスドク生活: 海外学振のすすめ」, 学生フォーラム [第 133 回] 「柏祐太郎先生インタビュー『国際共同研究で育むソフトウェア工学と研究スタイル』」, 会議報告, 書評, 表紙解説

② 人工知能学会論文誌: 編集委員会 (委員会の構成は学会誌の編集委員会と同じ)

大澤 博隆 委員長 (慶應義塾大学), 狩野 芳伸 副委員長 (静岡大学)

シニア委員・正規委員・学生委員は会誌編集委員会と同じ

(独) 科学技術振興機構の J-Stage を利用してオンラインジャーナルを随時発行

Vol.40 : 32 編 (アブストラクトを人工知能学会誌 Vol.40, No6 に掲載)

- Vol.40, No.1 原著論文: 3 編, 特集論文: 1 編
- Vol.40, No.2 原著論文: 4 編
- Vol.40, No.3 原著論文: 7 編
- Vol.40, No.4 原著論文: 4 編, 特集論文: 2 編
- Vol.40, No.5 原著論文: 3 編, 特集論文: 5 編
- Vol.40, No.6 原著論文: 3 編

③ New Generation Computing

本会は 2023 年 1 月より New Generation Computing 誌のオーナーとなったが, NGC は, 1982 年にオーム社により創刊され, Springer Verlag の包括契約により全世界に配布されているジャーナルである。

Clarivate 社のインパクトファクターのついた国際ジャーナルであり, 人工知能の伝統的な分野での存在感が大きい。そのオーナーとなることで, 人工知能学会から国際的な発信を行い, 学会の国際的な存在感を高めることが目的である。全国大会国際セッションや国際ワークショップ論文を収録して, 発信することで, 学会活動と連携していく。会員は NGC を無料で購読でき, 論文が採録されれば, 国際ジャーナルでの業績となるというメリットがある。これは, 多くの分野で国際ジャーナルの論文のみが業績となる傾向が強くなっていることから, 重要である。

④ 学会編集本

書名 (出版社)	発行日	編著者
株式会社 KADOKAWA	2026 年 01 月 09 日	栗原 聡
AI の倫理 人間との信頼関係を創れるか		

(3) 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条3号）

① 研究業績の表彰

(1) 2025年業績賞（第41回定時社員総会で表彰の予定：2026年6月29日）

学会規程に基づき、正会員による候補者の推薦及び業績賞・功労賞・フェロー称号選定委員会（委員長：本村陽一副会長）の審査を経て、第427回理事会で授賞対象者の授賞を決定した。

業績賞：中臺 一博（東京科学大学）

(2) 2025年度現場イノベーション賞（第41回定時社員総会で表彰の予定：2026年6月29日）

学会規程に基づき、正会員による候補者の推薦及び現場イノベーション賞選定委員会（委員長：本村陽一副会長）の審査を経て、第427回理事会で下記の金賞1件、銀賞2件を授賞対象とした。

金賞：「自治体現場における行動変容型特殊詐欺訓練AIの開発と社会実装」

紺野剛史, 栗井修司, 吉岡隆宏, 片桐沙紀, 山口達也, 岩崎翔, 設楽一碩, 白石壮大, 近野恵, 宮原捺希, 井手健太

銀賞：「映像認識AIとLLMの融合による安全運転指導支援に関する研究開発と実用化」

劉健全, 山崎智史, 陳エンピン, 李宗曜, 藤若雅也, 平川康史, 船田純一, 鈴木哲明, 川合諒, ジョウトン, 石田健悟, 宮野博義, 大塚一弘, 佐々木洋平, 進藤直樹, トウテイテイ, 山田紘右, 田中佑亮, 竹内浩明, 糸永航, 葛野浩史, 内田昭宏, 酒井淳嗣, 池谷彰彦, 定政邦彦, 小山田昌史, 藤川郁子, 井上泰祐, 道勸美樹, 大場久弘, 駒牧潤也, 松本樹, 横手俊倫, 樋口直志, Manmohan Chandraker, Vijay Kumar, Mohan Kankanhalli, Yongkang Wong

銀賞：「複雑な制約条件下における保育所入所選考アルゴリズムの開発と「ChilmAI」による社会実装」

森脇 大輔, 竹浪 良寛, 富田 耀志, 大田 和寛, 山田 直行, 孫 兆鴻

(3) 2025年度論文賞（第41回定時社員総会で表彰の予定：2026年6月29日）

学会規程に基づき、論文誌 Vol.40 No.1～No.6 に発表された論文 32 件を対象に、正会員による候補論文の推薦および論文賞選定委員会（委員長：大澤博隆編集委員長）の審査を経て、加藤 新, 服部 宏充, 吉添 衛「LLMに基づくエージェントモデルのマルチエージェントシミュレーションへの導入」40 巻 1 号 p. AG25-A_1-13, 堅田 俊, 岡田 将吾, 駒谷 和範「注意機構を用いた生体信号時系列と言語系列の統合に基づく本人心象推定」40 巻 2 号 p. B-O72_1-1 を選定した。

(4) 2025年度研究会優秀賞（第41回定時社員総会で表彰の予定：2026年6月29日）

学会規程に基づき、2025年度の研究会で発表された論文（521件）を対象に、研究会優秀賞選定委員会（委員長：清水 仁 研究会運営委員長）による審査を経て、第427回理事会で以下の24件を授賞対象として選定した。

1. SIG-FPAI-133-01 「グラフアテンションに基づく微分可能な MaxSAT 解法」森山 総太（総合研究大学院大学）、井上 克巳（国立情報学研究所）
2. SIG-FPAI-135-09 「パス幅定数グラフに対する影響拡散の線形時間厳密計算」中村 健吾（NTT）
3. SIG-KBS-135-03 「対照学習を用いた要約タスクにおけるデータセット蒸留：合成データと実データを用いた2段階学習」黄川田 拓実, 伏見 卓恭（東京工科大学）
4. SIG-KBS-136-01 「テンソル分解手法を用いた関係データの因子分解」磯邊 猛（総合研究大学院大学）、井上 克巳, 杉山 磨人（国立情報学研究所）
5. SIG-SLUD-104-12 「他者に対する否定的意見の共有は人-ロボット関係を親密にするか？否定的発話の効果と対話ロボット倫理の検討」三野 星弥, 伴 碧, 吉川雄一郎（大阪大学）
6. SIG-SLUD-106-18 「ADOS-2におけるASD者の社会的コミュニケーションの具現化：相互行為における振る舞い方と間主観的調整の分析」合崎 京子（麗澤大学）、臼田 泰如（静岡理工科大学）、森 大河（京都大学）、岩淵 俊樹, 山末 英典（浜松医科大学）

7. SIG-SLUD-106-24 「アフレコ時の声優の音響特性と表情変化—プロとノービスの比較調査—」 武久 浩将, 藤野 千広, 関根 和生 (早稲田大学)
8. SIG-ALST-106-17 「記述回答自動採点は人間採点を超えたのか: テスト理論に基づく到達可能精度の上限推定」 宇都 雅輝 (電気通信大学)
9. SIG-Challenge-068-07 「ドローン自己雑音のビームフォーミング解析に基づく地表材質推定の検討」 矢野 翼 (東京科学大学), Yen Benjamin (東京科学大学, 理化学研究所), 芦澤 剛, 中臺 一博 (東京科学大学)
10. SIG-LSE-077-03 「物語の構造化に向けた大規模言語モデルによる言説分析の検討」 高橋 利孔, 新美 礼彦(公立はこだて未来大学)
11. SIG-LSE-079-04 「実世界を理解するピアエージェントが孤独感と社会的存在感に与える影響の検証」 鈴木 隼, 角 薫(はこだて未来大学)
12. SIG-SKL-48-05 「環境に計算させる」 中島 秀之 (札幌市立大学), 諏訪 正樹 (慶應義塾大学環境情報学部)
13. SIG-SAI-55-04 「対話型地理可視化を用いた校区再編支援システムの構築と公開」 廣瀬 桃花, (奈良先端科学技術大学院大学), 清水 仁 (NTT 西日本), 諏訪 博彦, 安本 慶一 (奈良先端科学技術大学院大学, 理化学研究所)
14. SIG-FIN-035-07 「長期相関を持つ成行注文流と価格インパクトのマイクロモデル化に基づく株価の予測困難性の説明」 佐藤 優輝, 金澤 輝代士 (京都大学)
15. SIG-FIN-036-32 「大規模言語モデルによるマルチファクター運用の実証分析」 高野 海斗 (野村アセットマネジメント)
16. SIG-MAKS-004-04 「台風発電船コンセプトのモデル化と運用シミュレーションによる最適構成の探索」 満行 泰河, 海老原 悠希 (横浜国立大学)
17. SIG-SWO-066-07 「RDF スキーマ推論規則を対象とした大規模言語モデルの推論能力の段階的評価」 細川 泰智, シュデシナ チャクラボルティ, 森田 武史 (青山学院大学)
18. SIG-DOCMAS-028-04 「AI 便乗サービスにおける優先度別締め切り時間の効果検証の試み」 山本 望未, 坂地 泰紀, 野田 五十樹 (北海道大学)
19. SIG-BI-028-15 「大規模アンケートデータを用いた疾病間因果関係の非対称性分析: 高血圧と2型糖尿病の事例」 石野 洋子 (山口大学)
20. SIG-BI-028-24 「非構造化テキストデータを用いた集団的リスク認知バイアスの定量化モデル —食物アレルギー表示における「曖昧表現」と「過剰回避行動」の分析」 高永 美典, 本田 颯人, 佐藤 浩人, 亀井 典明, 藤田 正典 (立命館アジア太平洋大学)
21. SIG-AIMED-015-04 「不確実性を考慮した動的ナレッジグラフによる臨床質問応答の信頼性向上」 高橋 佑 (富士通研究所), 竹内 駿 (富士通研究所, マッコーリー大学), Kexuan Xin (マッコーリー大学), Guillaume Pelat, 伊海 佳昭, 斎藤 淳哉 (富士通研究所), Jonathan Vitale, Shlomo Berkovsky, Amin Beheshti (マッコーリー大学)
22. SIG-AM-35-10 「複数領域に対するキャプション生成を用いた目の不自由なユーザ向けの画像理解支援」 Xu Yiling, Shan Junjie, 安尾 萌, 西原 陽子 (立命館大学)
23. SIG-AGI-032-05 「言語と行動を同時生成する2元時系列生成モデル」 川上 晴也, 呂 博軒, 船越 孝太郎, 奥村 学 (東京科学大学)
24. SIG-SMSHM-003-04 「ハザード制約と時系列共変量を考慮した生存関数の深層学習と半教師あり余寿命予測」 高山 諒介, 棗田 昌尚 (NEC)

- (5) 2025 年度全国大会優秀賞 (人工知能学会誌 Vol.40, No.6 で表彰, 2025 年 11 月 1 日発行)
 全国大会表彰規程および選定細則に基づき, 2025 年度全国大会において開催期間 2025 年 5 月 27 日
 ~30 日に発表された発表を対象に, 2025 年度全国大会優秀賞選定委員会 (委員長: 大西正輝プログラ

ム委員長)により慎重かつ厳正に審議した。その結果、一般セッション口頭発表に関しては選考対象発表 423 件に対し、大会優秀賞 19 件、学生奨励賞 4 件、ポスター発表に関しては選考対象発表 317 件に対し、大会優秀賞 16 件、学生奨励賞 2 件、オーガナイズドセッション口頭発表に関しては選考対象発表 404 件に対し、大会優秀賞 18 件、学生奨励賞 3 件、国際セッション発表に関しては選考対象発表 32 件に対し、大会優秀賞 2 件を、それぞれ選定した。

[大会優秀賞 一般セッション口頭発表部門 19 件]

- 2E1-GS-10-02: 集団スポーツにおけるイベント時の選手位置データに対する速度補完タスクおよび手法, ○梅基 陸平 1, 藤井 慶輔 1, 2 (1.名古屋大学, 2.理化学研究所)
- 2I5-GS-10-01: 経路計画による管路形状生成と熱流体サロゲートモデルを用いた EV 向け熱マネジメント製品の性能予測に関する研究, ○松村 直也 1, 木佐貫 祥一郎 1, 杉浦 卓也 1 (1.株式会社アイシン)
- 1S3-GS-2-01: 集合間 Bregman ダイバージェンスと置換不変 NN によるその学習, ○川島 貴大 1, 木村 正成 2, 相馬 輔 3, 日野 英逸 3 (1.ZOZO Research, 2.メルボルン大学, 3.統計数理研究所)
- 2D5-GS-9-04: 人型ロボットにおける不気味の谷現象のベイズモデル, ○本多 詩聞 1, 芝野 凜 1, 柳澤 秀吉 1 (1.東京大学)
- 2D5-GS-9-05: 運転支援エージェントの発話決定フレームワーク, ○宮本 友樹 1, 片上 大輔 2, 田中 貴紘 3 (1.電気通信大学, 2.東京工芸大学, 3.名古屋大学未来社会創造機構)
- 4A3-GS-10-04: 実験室 RAG に向けた装置マニュアルの構造解析モデル及び OCR と VLM を統合した PDF のマークダウン化パイプラインの開発, ○野中 敬翔 1, 横井 直人 2, 3, 春山 純志 1, 4, 齊藤 英治 2, 3, 5, 6 (1.青山学院大学大学院理工学研究科, 2.東京大学大学院工学系研究科, 3.東京大学 Beyond AI 研究推進機構, 4.東京大学生産技術研究所, 5.東北大学材料科学高等研究所, 6.理化学研究所創発物性科学研究センター)
- 4O1-GS-10-03: Deep-IRT による解答時間予測と項目特性分析, 岸田 若葉 2, ○堤 瑛美子 1, 植野 真臣 2 (1.法政大学, 2.電気通信大学)
- 3J1-GS-5-03: Social Force Model における待機列形成と相互作用のモデリング, ○田村 零王 1, 藤井 秀樹 1 (1.東京大学大学院工学系研究科)
- 3J5-GS-5-01: 動的な専門知識連携を意識したマルチエージェントシステム, ○山本 篤 1, 成木 太音 2, 片桐 章彦 1, 小池 湧大 1, 飯田 啄巳 2, 下垣内 隆太 2, 下村 晃太 2, 大南 英理 2, 井上 顧基 2, 伊藤 修 1 (1.本田技研工業株式会社, 2.株式会社 Elith)
- 2O1-GS-10-02: 路面画像と気象情報に基づく L1 正則化を活用した除雪出動予測, ○鎌田 理久 1, 横山 想一郎 2, 山下 倫央 2, 川村 秀憲 2 (1.北海道大学 大学院情報科学院, 2.北海道大学 大学院情報科学研究院)
- 2Q5-GS-3-05: PPDAC サイクルオントロジーに基づく「総合的な探究の時間」の指導計画作成補助システムのインタフェースの検討, ○堀之内 逸人 1, 林 宏樹 1, 笹嶋 宗彦 1 (1.兵庫県立大学)
- 4J2-GS-5-04: システム故障が分散動的避難誘導システムにおよぼす悪影響の抑制, ○鶴島 彰 1 (1.セコム株式会社)
- 4A1-GS-10-02: 大規模言語モデルによる日本語電子カルテの治療中止理由分類, ○伊藤 健 1, 吉江 智秀 2, 吉村 壮平 2, 尾原 信行 3, 矢田 峻太郎 4, 若宮 翔子 1, 荒牧 英治 1 (1.奈良先端科学技術大, 2.国立循環器病センター, 3.神戸市立医療センター中央市民病院, 4.筑波大学)
- 1F5-GS-10-03: ポアソン=ディラック構造を用いた深層学習による連成系とマルチフィジックスのモデル化, ○コスローピアン ラズミックアルマン 1, 谷口 隆晴 2, 吉村 浩明 3, 松原 崇 4 (1.大阪大学, 2.神戸大学, 3.早稲田大学, 4.北海道大学)
- 3S5-GS-2-03: 学習データを動的にすることによる, プラント・産業設備の機械学習精度向上技術について, ○茂木 悠佑 1, 鈴木 由宇 1, 河野 幸弘 1 (1.株式会社 IHI)
- 2F1-GS-10-02: 障がい者主動の AI 開発を実現する Human-in-the-Loop 機械学習システム, ○牛尾 香澄 1, 植木 竜佑 1, 星名 豊 2 (1.株式会社クオルテック, 2.住友電気工業株式会社)
- 1S3-GS-2-02: 確率的に拡張された敵対的環境におけるオンライン劣モジュール最小化, ○原田 翼 1, 竹村 慧 2, 松岡 達也 2 (1.東京科学大学, 2.日本電気株式会社)
- 4I2-GS-11-02: 字種変換を用いた再攻撃による敵対的事例矯正に関する試み, ○秋本 一樹 1, 内山 光彩 1, 森本 文哉 1, 小野 智司 1 (1.鹿児島大学)
- 3G5-GS-6-01: 文長制限を設けた問題文による早押しクイズ用 Retriever の学習, ○佐々木 斗海 1, 小林 俊介 1, 河原 大輔 1, 2 (1.早稲田大学, 2.国立情報学研究所 LLM 研究開発センター)

[学生奨励賞 一般セッション口頭発表部門 4 件]

- 1S5-GS-2-04: 接触が伴う環境における微分可能シミュレータ上の効率的で低バイアスな方策勾配推

- 定, ○小野田 空羽 1, パラマス パーヴォ 1, 松尾 豊 1 (1.東京大学)
- 103-GS-10-02: 時間的パターン及び資産間の関係性を捉える Co-Attention によるポートフォリオ最適化, ○大瀧 望央 1, 鶴岡 慶雅 1 (1.東京大学)
- 4J3-GS-5-02: Pre-Marking Direction による Directed Controller Synthesis の探索効率化, ○大畑 允人 1, 山内 拓人 2, 平野 貴規 2, 鄭 顕志 1 (1.東京科学大学, 2.早稲田大学)
- 3G5-GS-6-04: 依存型理論のための自動定理証明器 Neural Wani の開発に向けて, ○宮川 夏菜子 1, 田上 青空 1, 戸次 大介 1 (1.お茶の水女子大学)

[大会優秀賞 ポスター発表部門 16 件]

- 1Win4-19: 量子アニーリングを用いた時間窓制約付き運搬経路問題 (VRPTW) の求解による医薬情報担当者の施設訪問計画の最適化, ○田島 遼太郎 1、小林 雅行 1、木口 亮 1、北西 由武 1 (1.塩野義製薬株式会社)
- 1Win4-38: 工業画像の論理的異常検出を説明するキャプション生成, ○付 宇軒 1、小林 一郎 1 (1.お茶の水女子大学)
- 1Win4-87: Transformer を用いた動作の学習と生成, ○武林 竜輝 2、曾我 真人 1 (1.和歌山大学, 2.和歌山大学大学院)
- 1Win4-90: 医学論文データベース PubMed を用いた人工知能と電子記録に関する論文タイトルの動向分析, ○小林 奈美 1 (1.渋谷長寿健康財団)
- 1Win4-105: EconGrowthAgent: LLM エージェントと経済成長理論に基づくマクロ経済シミュレーション, ○森下 皓文 1、角掛 正弥 1、山口 篤季 2、永塚 光一 1、友成 光 1、森尾 学 1、今一修 1、十河 泰弘 1 (1.日立製作所 研究開発グループ、2.シェフィールド大学)
- 2Win5-07: 非線形な相関係数にもとづく時系列予測 Transformer モデル, ○木村 大地 1,2、泉谷 知範 1、鹿島 久嗣 2 (1.NTT コミュニケーションズ株式会社、2.京都大学)
- 2Win5-17: インプレゾンビ検出のための特徴分析とテキスト分類, ○上原 慧大 1、村山 太一 1 (1.横浜国立大学)
- 2Win5-18: 大規模言語モデルによる規範に関する条件推論能力の評価と分析, ○小関 健太郎 1,2、阿部 裕彦 1、安東 里沙子 1、森下 貴允 1、峯島 宏次 1、岡田 光弘 1 (1.慶應義塾大学、2.東京大学)
- 2Win5-50: 大規模言語モデルの推論能力向上に向けた信念空間の是正, ○丹羽 彩奈 1、金子 正弘 1、乾 健太郎 1,2,3 (1.MBZUAI、2.東北大学、3.理化学研究所)
- 2Win5-87: JSynFlow : LLM を活用した日本語フローチャート VQA データセット合成, ○佐々木 浩 1 (1.株式会社日本総合研究所)
- 3Win5-09: Android スマホ上での LLM の推論・学習の性能評価, ○村松 沙那恵 1、正木 晶子 1、江田 毅晴 1 (1.日本電信電話株式会社)
- 3Win5-12: JUBAKU: 日本文化における偏見評価のための敵対的ベンチマーク, ○塩谷 泰平 1、金子 正弘 2,1、丹羽 彩奈 2、丸山 裕生 1、大葉 大輔 1、大井 聖也 1、岡崎 直観 1,3,4 (1.東京科学大学、2.MBZUAI、3.産業技術総合研究所、4.国立情報学研究所 大規模言語モデル研究開発センター)
- 3Win5-15: グレブナー基底計算の高速化に向けた単項式順序の機械学習, ○荒川 駿 1、川本 一彦 1、計良 宥志 1 (1.千葉大学)
- 3Win5-68: プレス成形シミュレーションを対象とした形状予測サロゲートモデル, ○大岸 寛之 1、西村 真治 2、加茂 和史 1、岡田 拓記 1、福井 健一 3,4、伊原 涼平 1,3 (1.株式会社神戸製鋼所、2.株式会社エスユーエス、3.大阪大学産業科学研究所、4.関西大学ビジネスデータサイエンス学部)
- 3Win5-93: LLM を用いた技術文書からの技術一価値表現の抽出, 渡邊 孔太 1、○田口 亮 1 (1.名古屋工業大学)
- 3Win5-98: 内視鏡動画における SAM2 を用いた Few-shot 学習: 双方向予測と重み制御による高精度病変検出, ○岡崎 亮太郎 1、池田 篤史 1、金 原稷 2、野里 博和 2、西山 博之 1 (1.筑波大学、2.産業技術総合研究所)

[学生奨励賞 ポスター発表部門 2 件]

- 2Win5-09: 機械学習と物理モデリングを用いた水素パイプラインの小規模漏洩検知, ○風呂田 潤 (横浜国立大学)

2Win5-98: LLM を活用した感情ラベリングに基づく欲望形成プロセスの分析, ○大原 理沙 (静岡大学)

[大会優秀賞 オーガナイズドセッション口頭発表部門 18 件]

- 3H1-OS-10a-01: 数理モデルと機械学習による 1,2 回採血からのワクチン誘導抗体動態の推定と最適採血スケジュール探索, ○立松 大機 1、岩見 真吾 1 (1. 名古屋大学)
- 4R1-OS-13-03: 二分決定グラフ上の単一の集合族演算の計算量について, ○中村 健吾 1、西野 正彬 1、伝住 周平 1 (1. NTT)
- 2P1-OS-26-02: フェイクニュースの真偽判断における個人差は楔前部の脳応答特性に表出する, ○西田 知史 1,2,3 (1. 情報通信研究機構、2. 大阪大学、3. 北海道大学)
- 2F4-OS-39a-03: ホラーらしさの自動生成によるクリエイターのサポート: ゲームシステム構築での実践報告, ○小川 昂 1、青木 瑠依 1、井田 和樹 1、河西 叶大 1、桑原 光希 1、古賀 耀 1、小林 優斗 1、小松 知佳 1、富永 鈴 1、早川 暉人 1、山内 元稀 1、山崎 さくら 1、山本 由晃 1、山本 莉央 1、横沢 永遠 1、中田 隆行 1、迎山 和司 1、村井 源 1 (1. 公立ほこだて未来大学)
- 2P4-OS-2a-01: 全国の週間犯罪予報, ○横谷 謙次 1,2、阿部 修士 3、高村 真広 4 (1. 徳島大学、2. サイコビット株式会社、3. 京都大学、4. 藤田医科大学)
- 1H5-OS-8c-03: 効用を考慮した行列分解に基づく株式推薦, ○櫻井 慶悟 1、小川 貴弘 1、長谷山 美紀 1、阿南 晏樹 2、中川 慧 2,3 (1. 北海道大学、2. 野村アセットマネジメント株式会社、3. 大阪公立大学)
- 3P5-OS-9a-01: クロスモーダルフィードバックを用いた AI エージェントの状況依存的感情表出モデルの獲得, ○榊原 浩之 1、寺田 和憲 1 (1. 岐阜大学)
- 4E1-OS-12a-04: コレクティブ LLM エージェントダイナミクス, ○相良 陸成 1、寺尾 光一郎 2、岩橋 直人 2 (1. 静岡県立大学、2. 岡山県立大学)
- 3R4-OS-27-01: マルチスケール型 GNN に基づく海況予測モデルによる全球 10 日間予測, ○平林 祐太 1、松岡 大祐 1、木村 考伸 2 (1. 海洋研究開発機構、2. 古野電気株式会社)
- 3R5-OS-31-02: 探索が困難かつ状態行動空間が広大な問題を解くための IMPALA と Demonstration の併用, ○佐竹 空良 1、服部 壮一郎 1、木原 直也 1 (1. 株式会社コナミデジタルエンタテインメント)
- 1F3-OS-40a-03: 粒子ベース GNN を用いた歩車共存空間における歩行者の移動モデルの構築, ○位曼曼 1、大西 正輝 2、尹 英杰 3 (1. 筑波大学、2. 産業技術総合研究所、3. トヨタテクニカルディベロップメント株式会社)
- 1P4-OS-1b-03: 国産農業用 LLM のための要点抽出方法に基づく評価手法の検討, ○石原 潤一 1、小林 暁雄 1、桂樹 哲雄 1、大友 将宏 1、橋本 祥 2、阪本 浩太郎 3、杉村 安都武 4、米丸 淳一 1、川村 隆浩 1 (1. 農業・食品産業技術総合研究機構、2. 筑波大学、3. (株) BESNA 研究所、4. 三重県農業研究所)
- 1L5-OS-15-02: 離散状態空間拡散モデルによる製造現場の設備割当最適化, ○松本 拓也 1、天野 博史 1 (1. パナソニックインダストリー株式会社)
- 1O5-OS-18b-04: 深層学習を用いた末梢血流脈波による心拍出量の推定, ○黒野 晃暉 1、松下 裕貴 2、中林 実輝絵 1、章 斯楠 1、Broti Nawara 1、一之瀬 真志 1、朔 啓太 2、小野 弓絵 1 (1. 明治大学、2. 国立研究開発法人国立循環器病研究センター)
- 4R2-OS-19-02: BERT の注意機構を用いた職業に基づくジェンダーバイアス原因分析への取り組み, ○上野 茉奈 1、小林 一郎 1 (1. お茶の水女子大学)
- 4O3-OS-29b-02: 「作者」再評価のダイナミクス, ○笠井 康平 1、大向 一輝 1 (1. 東京大学)
- 4F2-OS-30b-02: システム安全成立性評価における生成 AI による自動修正の実現可能性, ○岡田 遼嗣 1、大濱 吉紘 1 (1. (株) 豊田中央研究所)
- 2M4-OS-37a-01: 人数カウントデータを用いた屋内空間における集客構造の分解と推定, ○相澤 景 1 (1. 株式会社 竹中工務店)

[学生奨励秀賞 オーガナイズドセッション口頭発表部門 3 件]

- 3O6-OS-22b-05: ろう・難聴のための正しい歌唱リズム獲得支援システムの開発, ○山元 颯斗 1、安啓一 2、平賀 瑠美 2 (1. 筑波技術大学大学院、2. 筑波技術大学)

2L1-OS-25-04: 医療事故の背景・要因、改善策生成における few-shot の事例選択による性能比較検証, ○長谷山 優菜 1、伊藤 友貴 2、坂地 泰紀 1、野田 五十樹 1 (1. 北海道大学、2. 三井物産株式会社)

3P1-OS-46a-04: RDF スキーマ推論規則を対象とした大規模言語モデルの推論能力の評価, ○細川 泰智 1、森田 武史 1 (1. 青山学院大学)

[大会優秀賞 国際セッション口頭発表部門 2件]

2K4-IS-1a-02: Efficient Parameter Estimation of Low-level Logic Programs, ○Taosheng Qiu, Ryutaro Ichise

3K4-IS-2a-03 Automated Web Application Testing: End-to-End Test Case Generation with Large Language Models and Screen Transition Graphs ○Khang Nguyen Le, Minh Ngoc Nguyen, Hiep Nguyen, Trung Vo, Son Luu, Quan Minh Bui, Shoshin Nomura, Minh Le Nguyen

(6) 第三回 ELSI 賞 (倫理委員会)

応募件数 8 件から以下の 4 件を選定した

[展望賞 1 件]

Dialogue for Desirable AI プロジェクト

[実践賞 1 件]

日本 IBM の AI 倫理チームが信頼できる AI を日本市場に届けます

[倫理委員会特別賞 2 件]

超知能がある未来社会シナリオコンテスト

科学技術の倫理的設計のための実践的 AI 技術の開発とその産業応用

(4) 研究および調査の実施 (定款 4 条 4 号)

① 第 1 種研究会 (研究会運営委員会: 坂地 泰紀 委員長, 中臺 一博 副委員長, 清水 仁 委員, 原 聡 委員)

(1) 人工知能基本問題研究会 (略称 SIG-FPAI)

主査: 杉山 麿人 (NII), 主幹事: 西野 正彬 (NTT)

幹事: 中畑 裕 (NAIST), 竹村 彰浩 (NII), 原田 崇司 (高知工科大), 金森 憲太朗 (富士通)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
133	2025 年 8 月 26 日~27 日	富山県民会館	8+4	90	ハイブリッド
134	2025 年 12 月 1 日	慶大 日吉キャンパス	0+4	172	合同研究会 ハイブリッド
135	2026 年 1 月 13 日~14 日	大濱信泉記念館	15+1	102	ハイブリッド
136	2026 年 3 月 18 日~19 日	京都大学楽友会館	11+2	61	ハイブリッド

(2) 知識ベースシステム研究会 (略称 SIG-KBS)

主査: 伏見 卓恭 (東京工科大), 主幹事: 木村 昌弘 (龍谷大)

幹事: 横山 想一郎 (北大), 山本 泰生 (静岡大), 原田 恵雨 (苫小牧工業高専)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
135	2025 年 8 月 26 日	龍谷大 深草キャンパス	11+1	25	
136	2025 年 12 月 3 日	慶大 日吉キャンパス	17+1	141	合同研究会 ハイブリッド
137	2026 年 3 月 9 日~12 日	新富良野プリンスホテル	6+0	23	WSSIT2026

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会 (略称 SIG-SLUD)

主査: 小磯 花絵 (国立国語研), 主幹事: 坂井田 瑠衣 (公立はこだて未来大)

幹事: 井上 昂治 (京大), 宮崎 千明 (ソニーグループ), 牧野 遼作 (早大), 石井 亮 (NTT)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
104	2025年9月8日～9日	広島大学	19+1	44	若手ワークショップ 同時開催
105	2025年11月10日～11日	東京科学大+オンライン	42+1	137	第16回対話 システムシンポジウム
106	2026年3月3日～4日	早稲田大	31+1	90	ハイブリッド

(4) 先進的学習科学と工学研究会 (略称 SIG-ALST)

主査：林 雄介 (広島大)，主幹事：山本 頼弥 (静岡大)
幹事：宇都 雅輝 (電通大)，田和辻 可昌 (東京大)，古池 謙人 (東京理科大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
104	2025年8月2日	東大 本郷キャンパス	5+0	13	
105	2025年11月8日	千葉工業大 津田沼キャンパス	9+0	18	
106	2026年3月2日～3日	伊豆ホテルニュー八景園	22+0	35	
—	2025年10月11日～13日	伊豆高原ロビング	—	28	第36回若手の会

② 第2種研究会 (研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，清水 仁 委員，原 聡 委員)

(1) AI チャレンジ研究会 (略称 SIG-Challenge)

主査：植村 渉 (龍谷大)，主幹事：干場 功太郎 (東京科学大)
幹事：鈴木 麗璽 (名大)，中臺 一博 (東京科学大)，光永 法明 (大阪教育大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
67	2025年5月4日	滋賀ダイハツアリーナ	3+0	20	ホップジャパン オープン2025
68	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	7+2	96	合同研究会 ハイブリッド
—	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス 合同研究会内	—	28	第24回ロボット 聴覚ソフトウェア HARK 講習会

(2) ことば工学研究会 (略称 SIG-LSE)

主査：阿部 明典 (千葉大)，主幹事：福島 宙輝 (神戸大)
幹事：笠原 要 (NTT)，小野 淳平 (青森大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
77	2025年8月25日～26日	大和大学	14+0	20	ハイブリッド
78	2025年12月5日～6日	千葉大学	12+0	17	ハイブリッド
79	2026年2月27日～28日	はこだて未来大学	26+0	48	ハイブリッド

(3) コモンセンスと感情研究会 (略称 SIG-CSE)

主査：桐山 伸也 (静岡大)，主幹事：石川 翔吾 (静岡大)
幹事：佐藤 久美子 (玉川大)，沢井 佳子 (チャイルド・ラボ)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
8	2025年12月3日	慶大 日吉キャンパス	2+1	40	合同研究会 ハイブリッド

(4) 身体知研究会 (略称 SIG-SKL)

主査：松浦 慶総 (横国大)，主幹事：大海 悠太 (東京工芸大)
幹事：伊藤 毅志 (電通大)，榎本美香 (東京工科大)，香山瑞恵 (信州大)，児玉 謙太郎 (都立)

大), 清水 大地 (東大), 白水 始 (国立教育政策研), 諏訪 正樹 (慶大), 永井 孝 (ものつくり大学) 堀内 隆仁 (慶大), 松田 浩一 (岩手県立大), 山田 雅之 (九工大), 今宿 未悠 (詩人・パフォーマンスアーティスト)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
46	2025年7月12日	神戸大人間発達環境学研究科	8+3	60	ハイブリッド
47	2025年12月13日	東京工科大 蒲田キャンパス	3+2	65	ハイブリッド
48	2026年3月21日	ミズノ イノベーションセンター	5+3	60	ハイブリッド

(5) ナチュラルコンピューティング研究会 (略称 SIG-NAC)

主査: 今井 克暢 (福山大), 主幹事: 鈴木 泰博 (名大)
幹事: 磯川 悌次郎 (兵庫県立大), 秋田 大 (東大), 萩谷 昌己 (東大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
43	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	4+1	26	合同研究会 ハイブリッド
44	2026年3月30日~31日	田辺市	7+0	7	

(6) 社会におけるAI研究会 (略称 SIG-SAI)

主査: 小川 祐樹 (東京都市大), 主幹事: 諏訪 博彦 (NAIST)
幹事: 岩田 員典 (愛知大), 櫻井 瑛一 (産総研), 中島 智晴 (大阪公立大), 林 久志 (産業技術大学院大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
53	2025年11月29日	愛知大 名古屋キャンパス	5+0	30	RoboCup シミュレーション秋キャンプ
54	2025年12月3日	慶大 日吉キャンパス	5+0	80	合同研究会 ハイブリッド
55	2026年3月9日	新富良野プリンスホテル	5+0	69	WSSIT2026

(7) 金融情報学研究会 (略称 SIG-FIN)

主査: 坂地 泰紀 (北大), 主幹事: 中川 慧 (野村アセットマネジメント)
幹事: 落合 友四郎 (大妻女子大), 水門 善之 (慶大), 平松 賢士 (アイフィスジャパン), 佐野 仁美 (政策研究大学院大/一橋大), 真鍋 友則 (SOMPO リスクマネジメント), 平野 正徳 (Preferred Networks)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
35	2025年10月11日~12日	慶大 日吉キャンパス	25+0	201	ハイブリッド
36	2026年3月21日~22日	成蹊大学	38+0	281	ハイブリッド

(8) 知識と技能のモデル化と活用研究会 (略称 SIG-MAKS)

主査: 稗方 和夫 (東大), 主幹事: 古川 慈之 (産総研)
幹事: 青島 大悟 (ツールラボ), 坂口 憲一 (テクノソリューション), 松尾 宏平 (海上技術安全研), 笈田 佳彰 (富士通)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
3	2025年8月8日	東大 本郷キャンパス	4+0	19	ハイブリッド
4	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	5+1	57	合同研究会 ハイブリッド
5	2026年3月17日	東大 本郷キャンパス	5+0	21	ハイブリッド

(9) 知識流通ネットワーク研究会 (略称 SIG-KSN)

主査：樫山 淳雄（東京学芸大），主幹事：竹内 広宜（武蔵大）
 幹事：岡本 青史（富士通），小林 紀之（富士通），津田 和彦（筑波大），小林 展英（デンソークリエイト），桑田 喜隆（室蘭工業大），神戸 雅一（NTT データ）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
37	2025年10月3日	オンライン	7+0	14	
38	2026年3月16日	武蔵大 江古田キャンパス	5+0	8	

(10) セマンティックウェブとオントロジー研究会（略称 SIG-SWO）

主査：鶴飼 孝典（富士通），主幹事：砂川 英一（東芝）
 幹事：江上 周作（産総研），三原 鉄也（筑波大），山口 敦子（東京都市大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
66	2025年9月4日～5日	新潟県 湖畔の宿 吉田家	10+1	24	
67	2025年11月1日	奈良県コンベンションセンター	5+1	47	
68	2026年3月16日	東大 本郷キャンパス	10+0	43	SIG-AIPMとの 合同開催

(11) データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会（略称 SIG-DOCMAS）

主査：大原 剛三（青山学院大），主幹事：清水 仁（神戸高専）
 幹事：池田 圭佑（NEC），坂地 泰紀（北大），鳥海 不二夫（東大），服部 宏充（立命館大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
28	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	5+1	82	合同研究会 ハイブリッド
29	2026年3月11日	新富良野プリンスホテル	5+0	60	WSSIT2026

(12) ビジネスインフォマテックス研究会（略称 SIG-BI）

主査：寺野 隆雄（千葉商科大），主幹事：高橋 大志（慶大）
 幹事：倉橋 節也（筑波大），太田 明（東京都市大），小林 知巳（小林マネジメント研究所／早大），
 菱山 玲子（早大），鳥山 正博（立命館大）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
27	2025年9月27日	慶大 三田キャンパス	18+0	40	ハイブリッド
28	2026年3月14日～16日	大濱信泉記念館	33+0	66	ハイブリッド
—	2025年5月	グランキューブ大阪	9+0	20	isAI AI-Biz2025

(13) 人工生命研究会（略称 SIG-ALIFE）

主査：岡 瑞起（筑波大），主幹事：橋本 康弘（会津大）
 幹事：鈴木 麗璽（名大），Olaf Witkowski（Cross Labs），鈴木 啓介（北海道大学），一ノ瀬 元喜
 （静岡大学），西本 恵太（東京大学），小島 大樹（東京大学）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
10	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	7+1	80	合同研究会 ハイブリッド

(14) 医用人工知能研究会（略称 SIG-AIMED）

主査：津本 周作（島根大），主幹事：矢入 郁子（上智大）
 幹事：古崎 晃司（大阪電通大），大武 美保子（理研），今井 健（東大），井上 謙一（湘南記念病
 院），大原 剛三（青山学院大），小林 泰之（聖マリアンヌ大学），野里 博和（産業技術総合研
 究所）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考

15	2025年12月3日	慶大 日吉キャンパス	8+3	40	合同研究会 ハイブリッド
16	2026年3月5日～6日	上智大 大阪サテライトキャンパス	7+2	60	ハイブリッド
—	2025年11月15日	兵庫県 アクリエひめじ	0+4	100	第45回医療情報 学連合大会, ハイ ブリッド

(15) インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会 (略称 SIG-AM)

主査: 砂山 渡 (滋賀県立大), 主幹事: 柴田 祐樹 (東京都立大)
幹事: 松下 光範 (関西大), 阿部 明典 (千葉大), 森 辰則 (横国大), 高間 康史 (東京都立大),
西原 陽子 (立命館大), 笹嶋 宗彦 (兵庫県立大), 安藤 雅行 (立命館大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
35	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	11+1	80	合同研究会 ハイブリッド
36	2026年3月3日	関西大 梅田キャンパス	6+0	20	
—	2025年5月	グランキューブ大阪	10	200	全国大会 OS-3

(16) 市民共創知研究会 (略称 SIG-CCI)

主査: 白松 俊 (名工大), 主幹事: 福田 直樹 (静岡大)
幹事: 藤田 桂英 (東京農工大), 堀田 竜士 (日本エヌ・ユー・エス), 三井 実 (ミテモ), 小野地 光
弘 (名工大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
15	2025年6月14日～15日	北陸先端科学技術大学院大学	6+0	22	電子情報通信学会「合 意と共創」共催
16	2025年9月27日	会津若松市 AIOI Δ	3+0	10	電子情報通信学会「合 意と共創」共催
17	2026年3月7日	小田原市曾我別所	6+0	18	
—	2025年5月	グランキューブ大阪	—		全国大会 KS-10
—	2025年7月13日	名古屋工業大学			中高生向けワークショップ
—	2025年10月26日	名古屋工業大学			中高生向けワークショップ
—	2025年11月2日, 9日	名古屋工業大学			中高生向けワークショップ
—	2025年7月23日	名古屋工業大学			第31回コミュニティ 工学ワークショップ
—	2026年1月31日	名古屋工業大学			未来共創イベント

(17) 汎用人工知能研究会 (略称 SIG-AGI)

主査: 山川 宏 (全脳アーキテクチャ・イニシアティブ), 主幹事: ジェブカ ラファウ (北大)
幹事: 荒川 直哉 (全脳アーキテクチャ・イニシアティブ), 嶋田 悟 (エアロセンス), 船越 孝太郎 (東京科学大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
30	2025年8月1日	北海道大学	5+1	34	ハイブリッド
31	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	10+0	177	合同研究会 ハイブリッド
32	2026年3月19日	東京科学大 大岡山キャンパス	6+1	34	ハイブリッド

(18) 計測インフォマティクス研究会 (略称 SIG-MEI)

主査: 鷺尾 隆 (阪大), 主幹事: 岡田 真人 (東大)
幹事: 赤井 一郎 (熊本大), 今村 岳 (物質・材料研究機構), 上野 玄太 (統計数理研), 小野 峻佑
(東京科学大), 小松崎 民樹 (北大), 篠塚 寛志 (物質・材料研究機構), 原 聡 (阪大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
9	2025年9月11日	東大 Haseko-kuma Hall	10	251	計測インフォマティクスシンポジウム併催, ハイブリッド

(19) 安全とセキュリティ研究会 (略称 SIG-SEC)

主査: 大塚 玲 (情報セキュリティ大学院大), 主幹事: 菅 和聖 (日本銀行)
 幹事: 榊 剛史 (ホットリンク), 高橋 健一 (鳥取大), 溝口 誠一郎 (DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン), 宮地 充子 (阪大), 張 海波 (九州工業大学)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
4	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	4+1	20	合同研究会 ハイブリッド
—	2026年1月14日	情報セキュリティ大学院大学	0+3	30	第3回 SIG-SEC 国際シンポジウム
—					CSS AWS 協力
—	2025年11月26日~28日	アクロス福岡			AIComps2025
—	2026年1月26日~30日	函館アリーナ			SCIS2026 協賛

(20) スマートマニュファクチャリングとシステム健全性管理研究会 (略称 SIG-SMSHM)

主査: 矢入 健久 (東大), 主幹事: 植野 研 (東芝), 堤 誠司 (宇宙航空研究開発機構)
 幹事: 今村 誠 (東海大), 増田 新 (京都工芸繊維大), 飯野 翔太 (スペースデータ), 井上 道雄 (MathWorks Japan), 棗田 昌尚 (NEC), 富永 晃司 (宇宙航空研究開発機構), 濱戸 昭太郎 (宇宙航空研究開発機構), 武石 直也 (東大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
3	2025年8月4日	東京理科大 森戸記念館	13+1	71	ハイブリッド
4	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	7+1	106	合同研究会 ハイブリッド
—	2025年5月30日	グランキューブ大阪	15+0	207	全国大会 OS-30

(21) パーソナルAI研究会 (略称 SIG-PAI)

主査: 橋田 浩一 (理研), 主幹事: 白松 俊 (名工大)
 幹事: 門倉 悠真 (東芝), 松原 勇介 (理研), 谷沢 智史 (東大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
2	2025年7月17日	一橋講堂会議室	6+2	70	ハイブリッド
3	2025年12月2日	慶大 日吉キャンパス	2+0	50	合同研究会 ハイブリッド

(22) 計算創律科学研究会 (略称 SIG-CSS)

主査: 栗原 聡 (慶大), 主幹事: 狩野 芳伸 (静岡大)
 幹事: 坂地 泰紀 (北大), 増田 新 (京都工芸繊維大), 飯野 翔太 (スペースデータ), 井上 道雄 (MathWorks Japan), 諏訪 博彦 (NAIST), 久野 遼平 (東大)

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2025年12月3日	慶大 日吉キャンパス	11+1	50	合同研究会 ハイブリッド
2	2026年3月11日	新富良野プリンスホテル	4+0	60	WSSIT2026

(23) データ協創研究会 (略称 SIG-DC)

主査: 早矢仕 晃章 (東大), 主幹事: 藤田 幸久 (トヨタ自動車)

幹事：松島 裕康（滋賀大），諏訪 博彦（NAIST），三木 朋和（日経新聞）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
1	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	5+0	30	合同研究会 ハイブリッド
2	2026年3月10日	新富良野プリンスホテル	5+0	20	WSSIT2026

(24) サイエнтиスト・メタサイエンス研究会（略称 SIG-SciMeta） 2026年2月設立

主査：神楽坂 やちま（東大），主幹事：大江 力（東北大）

幹事：高木 志郎（独立研究者），山田 涼太（Science Aid），徳山 健斗（中外製薬），尾崎 遼（筑波大）

③ 第3種研究会（研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，清水 仁 委員，原 聡 委員）

(1) 地球惑星科学におけるAI研究会（略称 SIG-GeoSciAI）

主査：津本 周作（島根大），主幹事：Simon Wallis（東大）

幹事 栗原 聡（慶大），東中 竜一郎（名大），鹿島 久嗣（京大），福井 健一（阪大），飯田 佑輔（新潟大），長尾 大道（東大），中野 満寿男（海洋研究開発機構）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
2	2025年12月1日	オンライン	0+8	40	合同研究会
—	2025年5月	グランキューブ大阪	0+3	30	全国大会 企画セッション
—	2025年3～5月			30	コンペティション GeoSciAI2025

(2) AI ペディアとAI マップ研究会（SIG-AIPM）

主査：大向 一輝（東大），主幹事：本村 陽一（産総研）

幹事：清田 陽司（麗澤大），栗原 聡（慶大），砂川 英一（東芝）

回	開催日	場所	発表数	参加者	備考
—	2025年5月30日	グランキューブ大阪	—	50	共同通信社連携企画
—	2025年12月1日	慶大 日吉キャンパス	0+1	30	合同研究会合同企画 パネルディスカッション
—	2026年3月16日	東大	10+0	43	SWO 共催

④ 合同研究会 2025（SIGAIs2025）

・運営委員長：実行委員長：中臺 一博（東京科学大学）

運営副委員長：原 聡（電気通信大学）

運営委員：坂地 泰紀（北海道大学），早矢仕 晃章（東京大学），大向 一輝（東京大学），管 和聖（日本銀行），西野 正彬（NTT），干場 功太郎（東京科学大学），秋田 大（東京大学），白松 俊（名古屋工業大学），濱戸 昭太郎（JAXA），高野 雅典（サイバーエージェント），清水 仁（NTT 西日本），清田 陽司（麗澤大学）

実行委員長：中臺 一博（東京科学大学），坂地 泰紀（北海道大学）

実行副委員長：原 聡（電気通信大学），清水 仁（NTT 西日本）

実行委員：西野 正彬（FPAI）、伏見 卓恭（KBS）、鈴木 麗瑩（Challenge）、中臺 一博（Challenge）、干場 功太郎（Challenge）、桐山 伸也（CSE）、今井 克暢（NAC）、林 久志（SAI）、櫻井 瑛一（SAI）、古川 慈之（MAKS）、清水 仁（DOCMAS）、橋本 康弘（ALIFE）、古崎 晃司（AIMED）、砂山 渡（AM）、荒川 直哉（AGI）、榎 剛史（SEC）、溝口 誠一郎（SEC）、植野 研（SMSHM）、門倉 悠真（PAI）、坂地 泰紀（CSS）、福井 健一（GeoSci）、是枝 裕太（GeoSci）、大向 一輝（AIPM）、高野 雅則（多様性・包摂推進委員会）、谷口 晋平（多様性・包摂推進委員会）、荒井 ひろみ（多様性・包摂推進委員会）、櫻井 裕子（多様性・包摂推進委員会）、清田 陽司（Design シンポジウム）

- ・日時 2025年12月1日(月)～3日(水)
- ・場所 慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館・来往舎 (一部研究会はオンラインとのハイブリッド)
- ・参加研究会 18 研究会 一般発表, 招待講演

SIG-FPAI	人工知能基本問題研究会	0, 4
SIG-KBS	知識ベースシステム研究会	17, 1
SIG-AGI	汎用人工知能研究会	10, 0
SIG-AIMED	医用人工知能研究会	11, 1
SIG-AIPM	AI ペディアと AI マップ研究会	0, 1
SIG-ALIFE	人工生命研究会	7, 1
SIG-AM	インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会	11, 1
SIG-CSS	計算創律科学研究会	11, 0
SIG-Challenge	AI チャレンジ研究会	7, 2
SIG-CSE	コモンセンスと感情研究会	1, 1
SIG-DC	データ協創研究会	5, 0
SIG-DOCMAS	データ指向構成マイニングとシミュレーション研究会	5, 1
SIG-MAKS	知識と技能のモデル化と活用研究会	4, 1
SIG-NAC	ナチュラルコンピューティング研究会	4, 1
SIG-PAI	パーソナル AI 研究会	2, 0
SIG-SAI	社会における AI 研究会	5, 0
SIG-SEC	安全性とセキュリティ研究会	4, 1
SIG-SMSHM	スマートニューファクチャリング とシステム健全性管理研究会	7, 1
・ポスター発表		28
・研究会発表	139 件 (一般発表), 17 件 (研究会招待講演, うち合同企画 11 件)	
・合同企画		
招待講演:	「NII における大規模言語モデル構築事業の現在地」	小田 悠介 氏 (国立情報学研究所)
招待講演:	「残すに値する未来を考える」	安宅 和人 氏 (慶應義塾大学)
パネル討論会:	CREST・さきがけ研究総括パネルディスカッション	
モデレータ:	中臺 一博 (東京科学大学), パネリスト: 和泉 潔 (東京大学), 尾形 哲也 (早稲田大学), 原田 達也 (東京大学), 山下 直美 (京都大学)	
	「インダストリアルセッション」 (8 社が発表)	
・参加登録者数	1,372 名 (現地 705 名 (うち 558 名が参加), オンライン 667 名)	
・スポンサー	13 社 (ゴールド 11 社, シルバー 2 社)	

⑤ 特別支援

- ・ AI チャレンジ研究会 (SIG-Challenge)
 - ロボット聴覚 HARK tutorial, 講習会/ハッカソン開催に関する運営費 (アルバイト費用) に対して支出した。支出額: 99,660 円

⑥ COVID-19 感染症拡大防止を目的とした研究会のハイブリッド開催対応

COVID-19 感染症拡大防止を目的として研究会は必要に応じてオンラインまたはハイブリッド形態で開催する方針とした。オンライン開催に必要となる Zoom アカウントを購入し、研究会毎にホストキーを割り当てて運用した。

(5) 国内外の関連学術団体との連絡及び協力 (定款 4 条 5 号)

以下の依頼が理事会で承認 (共催 2 件, 協賛 39 件, 後援 41 件) されたので, 会誌「人工知能」, ホームページ, メーリングリストを利用して告知し, 他学会との協調による学会活動の活性化および多様化を推進した。

① 共催「イベント名称」主催者名 (開催日: 年. 月. 日)

- (01) 「Design シンポジウム」人工知能学会 (幹事学会), 精密工学会, 日本機械学会, 日本設計工学会, 日本デザイン学会, 日本建築学会 (2025.12.2～3)

(02) 「人工知能学会公式コンペティション『GeoSciAI2026』」 日本地球惑星科学連合, 人工知能学会 (2026.1.31~5.30)

② 協賛「イベント名称」主催者名 (開催日: 年. 月. 日)

(01) 「ヒューマンインタフェースシンポジウム 2025」 ヒューマンインタフェース学会 (2025.9.10~12)

(02) 「第 43 回日本ロボット学会学術講演会」 日本ロボット学会 (2025.9.2~5)

(03) 「第 158 回ロボット工学セミナー」 日本ロボット学会 (2025.5.29)

(04) 「第 159 回ロボット工学セミナー」 日本ロボット学会 (2025.6.20)

(05) 「Dynamics and Design Conference 2025 (D&D2025)」 日本機械学会 (2025.8.8)

(06) 「The 36th CIRP Design Conference (CIRP Design 2026)」 国際生産工学アカデミー (2026.3.16~18)

(07) 「情報処理学会『連続セミナー2025』「AI が拓く次世代イノベーション」」 情報処理学会 (2025.6~12)

(08) 「第 50 回教育システム情報学会全国大会」 教育システム情報学会 (2025.8.30~9.1)

(09) 「The 32nd International Display Workshops (IDW' 25)」 映像情報メディア学会 (ITE), The Society for Information Display (SID) (2025.12.3~5)

(10) 「計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会 2025 (SSI2025)」 計測自動制御学会 (2025.11.12~14)

(11) 「The 39th International Conference on Industrial, Engineering & Other Applications of Applied Intelligent Systems (IEA/AIE 2026)」 International Society of Applied Intelligence (ISAI) (2026.7.6~9)

(12) 「JSME IDECON/MS2025 (International Conference on Design and Concurrent Engineering & Manufacturing Systems Conference 2025)」 日本機械学会 (2025.9.16~17)

(12) 「計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 2025」 計測自動制御学会システムインテグレーション部門 (2025.12.10~12)

(13) 「スケジューリング・シンポジウム 2025」 スケジューリング学会 (2025.9.16~9.17)

(14) 「2026 International Symposium on Flexible Automation (ISFA)」 システム制御情報学会 (2026.7.19~22)

(15) 「2025 年度デザイン関連学会シンポジウム」 道具学会, 日本デザイン学会, 意匠学会, 芸術工学会, 基礎デザイン学会 (2025.10.18)

(16) 「第 23 回 ITS シンポジウム 2025」 ITS Japan (2025.12.17~12.18)

(17) 「日本機械学会第 33 回年次大会講演会」 日本機械学会関東支部 (2025.8.29)

(18) 「経営情報学会 2025 年 全国研究発表大会」 経営情報学会 (2025.10.25~26)

(19) 「No.25-10 講演会「第 35 回設計工学・システム部門講演会」」 日本機械学会 (2025.9.3~5 日)

(20) 「IDR ユーザフォーラム 2025」 国立情報学研究所 (2025.11.26)

(21) 「SICE セミナー「モデルベース制御系設計~モデリングから制御系設計までを系統的に学ぶ~」 2025」 計測自動制御学会 制御部門 (2025.9.24~25)

(22) 「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2026」 日本機械学会 (2026.6.28~7.1)

(23) 「システム制御情報学会セミナー2025『脳科学の現状と今後の展望』」 システム制御情報学会 (2025.11.21)

(24) 「第 24 回 ロボット聴覚オープンソースソフトウェア HARK 講習会」 東京科学大学 工学院システム制御系中臺研究室 / (一社)人工知能学会 AI チャレンジ研究会 / (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン / 科学研究費補助金基盤研究 (C) 「生成モデルによる豊かな形質表現に基づく社会エージェントベース進化モデル」 / 科学研究費補助金基盤研究 (C) 「人工汎用知能 (AGI) ユースケースへの法人格付与における EU AI 法の投げかける課題」 / 科学研究費補助金基盤研究 (C) 「移動ロボットの駆動音を利用した周辺環境認識」 / 科学研究費補助金若手研究 「ドローン聴覚による実時間被災者探査実現に向けた地表の三次元空間音響センシング」 / 早稲田大学 次世代ロボット研究機構 (2025.12.2)

(25) 「2025 TRON Symposium」 トロンフォーラム (2025.12.10~12)

(26) 「SICE セミナー『モデル予測制御~最適制御の基礎から応用事例・ソフトウェアツールまで~』 2025」 計測自動制御学会 制御部門 (2025.11.18)

(27) 「第 38 回 自律分散システム・シンポジウム」 計測自動制御学会 システム・情報部門 (2026.2.18~19)

(28) 「HAI シンポジウム 2026」 HAI シンポジウム運営委員会 (2026.2.27~28)

(29) 「人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA/NAGOYA/ONLINE」 自動車技術会 (パシフィコ横

浜 : 2026.5.27~29, Online Stage 1 : 2026.5.19~6.9, Aichi Sky Expo : 2026.6.17~19, Online Stage 2 : 2026.6.10~7.1)

- (30) 「NEURO2026」日本神経科学会, 日本神経化学会, 日本神経回路学会 (2026.7.30~8.2)
 - (31) 「生産システム部門研究発表講演会 2026」日本機械学会 (2026.3.2~3)
 - (32) 「進化計算シンポジウム 2025」進化計算学会 (2025.12.19~21)
 - (33) 「インタラクション 2026」情報処理学会 ヒューマンコンピュータインタラクション研究会, コラボレーションとネットワークサービス研究会, コビキタスコンピューティングシステム研究会, エンタテインメントコンピューティング研究会, デジタルコンテンツクリエイション研究会 (2026.3.3~5)
 - (34) 「第 53 回知能システムシンポジウム」計測自動制御学会 システム・情報部門 (2026.3.18~19)
 - (35) 「SSII2026 (第 32 回画像センシングシンポジウム)」画像センシング技術研究会 (2026.6.10~12)
 - (36) 「第 29 回バイオメカニズム・シンポジウム」バイオメカニズム学会 (2026.9.9~11)
 - (37) 「第 47 回バイオメカニズム学術講演会」バイオメカニズム学会 (2026.12.12~13)
 - (38) 「第 28 回日本感性工学会大会」日本感性工学会 (2026.9.16~18)
 - (39) 「ラーニングイノベーションングランプリ 2026」ラーニングイノベーションコンソシアム (LIC) (2026.7.18)
 - (40) 「第 12 回ロボット大賞」経済産業省 (2026.2.16~5.8)
 - (41) 「ロボカップジャパンオープン 2026」特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会 (2026.4.24~27)
- ③ 後援「イベント名称」主催者名 (開催日 : 年. 月. 日)
- (01) 「第 34 回 JTF 翻訳祭 2025」日本翻訳連盟 (2025.1.日)
 - (02) 「日経「星新一賞」」日本経済新聞社 (2025.6~2026.3)
 - (03) 「システム監査学会 第 39 回研究大会」システム監査学会 (2025.6.13)
 - (04) 「日本心理学会 第 89 回大会」日本心理学会 (2025.9.5~7)
 - (05) 「2nd International Conference on Space Robotics 2025 (iSpaRo2025)」iSpaRo2025 実行委員会 (2025.12.1~4)
 - (06) 「2025 年度全国選抜小学生プログラミング大会」全国新聞社事業協議会 (2026.3.8)
 - (07) 「KISTEC 教育講座「研究開発人材のための読解力向上・説明力開発コース」」神奈川県立産業技術総合研究所 (2025.7.18)
 - (08) 「デジタルツイン・DX シンポジウム 2026」土木学会 AI・データサイエンス論文集編集小委員会 (2026.6.2)
 - (09) 「第 10 回 IoT セキュリティフォーラム 2025」横浜国立大学先端科学高等研究院 (2025.9.3~4)
 - (10) 「第 2 回 JAQ シンポジウム」日本クオリティ協議会 (2025.7.31)
 - (11) 「KISTEC 教育講座「量子時代のセキュリティを理解する~耐量子計算機暗号, 高機能暗号~」」神奈川県立産業技術総合研究所 (2025.9.18~19)
 - (12) 「第 3 回 NDE4.0 シンポジウム」日本非破壊検査協会 (2025.10.28)
 - (13) 「第 3 回インフォメーションヘルスアワード」NHK 財団 (2025.6.16~9.30)
 - (14) 「HONGO AI 2025」HONGO AI (2025.11.4)
 - (15) 「GenAI HR Awards 2025」AI 活用普及協会 (2025.10.9)
 - (16) 「第 22 回 情報プロフェッショナルシンポジウム (INFOPRO 2025) / INFOSTA 創立 75 周年記念式典」情報科学技術協会 (INFOSTA) (2025.12.4~5)
 - (17) 「日本学術会議公開シンポジウム『AI 時代における統計科学・データサイエンスの役割と挑戦 ---公平性, 信頼性, 解釈可能性, AI ガバナンスの観点から』」日本学術会議数理科学委員会 (2026.2.17)
 - (18) 「チームワーク科学 出版記念シンポジウム」チームワーク科学出版記念シンポジウム実行委員会 (2025.10.4)
 - (19) 「AAMT 年次大会『AAMT 2025, Tokyo ~LLM 時代における翻訳と人間の共進化~』」アジア太平洋機械翻訳協会 (AAMT) (2025.12.2)
 - (20) 「システム監査学会 第 38 回公開シンポジウム」システム監査学会 (2025.11.29)
 - (21) 「第 21 回情報システム学会全国大会・研究発表大会」情報システム学会 (2025.11.29~30)
 - (22) 「日本工学会 2025 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウム~生成 AI が切り拓く学びの未来 工学人材の生涯教育に向けて~」日本工学会 (2025.11.21~22)
 - (23) 「第 3 回 AI ロボット駆動科学シンポジウム」AI ロボット駆動科学イニシアティブ (2025.12.5)

- (24) 「第9回自動翻訳シンポジウム」総務省、グローバルコミュニケーション開発推進協議会、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) (2026.2.20)
- (25) 「CAN2025 アニュアルシンポジウム」応用脳科学コンソーシアム (2025.12.3)
- (26) 「KISTEC 教育講座『データの本質をつかむ 数学リテラシー〜トポロジーの目で形を見る』」地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所 (2026.1.21~23)
- (27) 「第17回産業日本語研究会・シンポジウム」高度言語情報融合フォーラム、日本特許情報機構 (2026.2.5)
- (28) 「CAS2026: Complex Adaptive Systems 2026」CAS2026 実行委員会 (2026.6.19~)
- (29) 「Fintech Business Informatics 2026」Fintech Business Informatics プログラム委員会 (2026.1.20)
- (30) 「第二回日本人工知能オリンピック (JOAI2026)」国際人工知能オリンピック日本委員会 (2026.2.5~15)
- (31) 「ロボカップジュニア・ジャパン 2026」ロボカップジュニア・ジャパン (2026.3.27~28)
- (32) 「AI・人工知能 EXPO」RX Japan 合同会社 (2026.4.15~17, 2026.11.11~13)
- (33) 「2050 ハッカソン」コード・フォー・グンマ (2026.6.8~12)
- (34) 「AI・DX サマーシンポジウム 2026」土木学会 構造工学委員会 (2026.8.6)
- (35) 「第37回全国高等専門学校プログラミングコンテスト」全国高等専門学校連合会 (2026.10.10)
- (36) 「第7回とめ研究所若手研究者懸賞論文」株式会社とめ研究所 (2026.6.5~9.4, 表彰式: 2026.11.7)
- (37) 「第35回JTF 翻訳祭 2026」日本翻訳連盟 (2026.11.13)
- (38) 「CHALLENGE ATOM -フィジカルAI プロジェクト-」長寿科学振興財団 (2026.4.1~2026.12.23)
- (39) 「CEATEC 2026」日本エレクトロニクスショー協会 (2026.10.13~10.16)

④ 協力「イベント名称」主催者名 (開催日: 年. 月. 日)

なし

(6) その他目的を達成するために必要な事業 (定款4条6号)

①企画 (セミナー) 委員会: 動画コンテンツの配信

谷口 晋平 委員長 (博報堂)

委員: 木村 大毅 (日本IBM), 黒田 由加 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

投稿動画数: 2024年度で29本を追加 (トータル97本), チャンネル登録者数は継続的に伸張 (2026年1月時点4,370人), 全国大会にて、撮影部隊を投入した動画制作施策を実施

②企画 (セミナー) 委員会: コンペティション助成

谷口 晋平 委員長 (博報堂), 刑部 好弘 副委員長 (日立製作所)

委員: 原田 慧 (電通大), 石原 祥太郎 (日本経済新聞社), 高野 海斗 (大阪公立大学)

助成有りトラック1件採択, 全国大会での企画セッション「人工知能学会公式コンペティション」を実施,

[助成金あり]

1. 全国中高生AI・DS探究コンペティション2025 (2024/07/24 理事会承認)

代表: 林 宏樹 (兵庫県立大学大学院/雲雀丘学園高等学校), 助成申請額: 50万円

JSAI2025 大会企画セッションで結果報告, 助成金支出: 387,076円 (2025年度)

2. サッカー軌道予測 (2024/10/29 理事会承認)

代表: 秋山 英久 (岡山理科大学), 助成金申請額: 23万円

JSAI2025 大会企画セッションで結果報告, 助成金の請求なし

3. LA-Bench 2025: 実験手順生成 AI コンペティション (2025/7/24 理事会承認)

代表者: 山田 涼太 (Science Aid 株式会社), 助成金申請額: 50万円

JSAI2026 大会企画セッションで結果報告予定, 助成金支出は2026年度に発生予定

[助成金なし]

募集せず

主催コンペティション JAPAN AI CUP の最終審査会ならびに表彰式を2026年3月27日産業技術総合研究所臨海副都心センターで開催した。

[中高生予測部門]

31名の参加があり、審査の結果スコア上位者の以下が各賞を受賞した。

1. 人工知能学会特別賞：チーム「uncoffee」，篠原聡太（茨城県立 IT 未来高等学校）
2. 協賛団体特別賞（コープさっぽろ賞）：チーム「take」，竹内颯汰（広島工業大学高等学校）
3. 最優秀スコア賞：チーム「heron0519」，中ノ瀬蓮人（灘高等学校）
4. 優秀スコア賞：チーム「uncoffee」，篠原聡太（茨城県立 IT 未来高等学校）
5. 優秀スコア賞：チーム「Goma470」，井口新太（広島工業大学高等学校）
6. 敢闘賞（ファイナリスト）：チーム「STEAMer-1115」，柳田圭吾，中野颯介（広島工業大学高等学校）

[一般予選部門]

203名の参加があり、審査の結果スコア上位者の以下が各賞を受賞した。

1. 最優秀スコア賞：山崎 千寛
2. 優秀スコア賞：宮澤 朋也
3. 優秀スコア賞：石見 一真

[中高生 AI・DS 探究部門]

22組（34名，11校）からの応募があり、審査の結果以下が各賞を受賞した。

1. AI・DS 最優秀賞：「ファストパス制度導入による食堂混雑解消の定量的検証—科学的分析で実現する快適な昼休み—」，村上 幸太，酒井 嶺政（雲雀丘学園中学校・高等学校）
2. AI・DS 優秀賞：「RUN-TREE～部活動で活用する AI コーチングアプリ～」，園部 亜唯彩（茨城県立水戸第一高等学校）
3. 人工知能学会特別賞：「画像処理を用いたながら運転防止 IoT デバイス『Safe Keeper』の開発」，金澤 昂一郎，松嶋 奏（群馬県立前橋高等学校）
4. 日本統計学会特別賞：「バレーボールにおける運動と水分補給の関係性—水と電解質飲料とカフェイン飲料の効果—」，吉本 成寿（神戸大学附属中等教育学校）
5. データサイエンティスト協会特別賞：「RakumenAI～楽に面接ができるリアルタイム感情分析 AI の開発～」，樽岡 柊哉，渡邊 敬心（広島工業大学高等学校）

- ③倫理委員会：人工知能に関する倫理に関わる課題を，人工知能学会会員および社会の人々と共有し，健全な人工知能と社会の関係を構築することを目的とする。ELSI 賞選定，全国大会での企画セッション実施，合同研究会にてセッション実施，AI と倫理〔角川新書〕出版を行った。

栗原 聡 委員長（慶大）

委員：服部 宏充（立大），中川 裕志（理研），鳥海 不二夫（東大），浅川 直輝（日経 BP），藤井 大洋（SF 小説家），三宅 陽一郎（スクエア・エニックス），高橋 未玲（CuePoint），大屋 雄裕（慶大），神崎 宣次（南山大），ジェプカ・ラファウ（北大）

全国大会で企画セッションを実施

- ④広報委員会：学会としての広報の方針を策定し，それに沿って Web サイト等の刷新，ソーシャルメディアの活用等，広報活動を推進する。

江渡 浩一郎 委員長（ZEN 大学）（2026年2月26日から業務停止），木村 大毅 副委員長
学会のリブランディング検討，メーリングリストの配信審議，取材・執筆依頼の対応，等を行った。

- ⑤国際標準化委員会：人工知能技術のターミノロジーに関する国際標準化を推進する

倉橋 節也 委員長（筑大），清田 陽司 副委員長（麗澤大）

SC42 国内委員会（情報処理学会情報規格調査会 SC42 専門員会 人工知能）にリエゾンとして参加（毎月開催。人工知能学会からの情報発信，SC42 から人工知能学会への協力要請対応。ISO/IEC JTC 1/SC42 のオブザーバー参加（AI に関する標準化活動の状況を把握）。全国大会での企画セッション実施

- ⑥ AI マップ委員会：人工知能についての初学者・異分野研究者を対象に人工知能研究の俯瞰と可視化を行う
石角 友愛 委員長（パロアルトインサイト），高野 雅典 副委員長（サイバーエージェント）

委員：本村 陽一（産総研），市瀬 龍太郎（東京科学大），植野 研（東芝），大向 一輝（東大），清田 陽司（麗澤大），谷口 恭弘（ヤマハロボティクス HD），堤 富士夫（電力中研），友野 孝夫（慶大），森川 幸治（LIFESCAPES），吉岡 健（富士フイルム），中川西 学（SAMSUNG），戸上 真人（AWS），野田 五十樹（北大），松尾 豊（東大）

全国大会企画セッション実施, 活用ガイドライン作成

⑦出版委員会: 学会が保有するコンテンツの出版を推進する

栗原 聡 委員長 (慶大)

委員: 津本 周作 (島根大学), 本村 陽一 (産業技術総合研究所), 大向 一輝 (東京大学), 事務局: 住田 一男

WG 長: 栗原 聡 (慶大)

メンバー: 本村 陽一 (産総研), 橋田 浩一 (東大), 大向 一輝 (東大), 清田 陽司 (麗澤大), 事務局: 住田 一男

AI 事典・AI マップ活用のための仕様検討

⑧ジュニア・ユース委員会

小野 智弘 委員長 (KDDI 総研), 吉田 香 副委員長 (九工大研)

ジュニア会員制度を新設, One Day 体験イベント(中高生), こども新聞企画(小学生), Japan AI CUP(中高生)などを実施

⑨新会員施策検討タスクフォース

小野 智弘 委員長 (KDDI 総研)

委員: 清田 陽司 (麗澤大), 本村陽一 (産総研), 渡邊 勇 (電力中研), 黒川 茂莉 (KDDI 総研)

昨年に引き続き会員向けアンケートを実施した。

⑩40周年記念タスクフォース

佐藤 敏紀 委員長 (ソフトバンク)

委員: 江渡 浩一郎 (産総研), 櫻井 祐子, 谷口 晋平, 大澤 博隆, 三宅 陽一郎, 倉島 健, 小町 守, 栗原 聡, 本村 陽一, 小野 智弘, 清田 陽司

アドバイザー: 津本 周作 (島根大)

活動がなかったため40周年記念委員会を2026年1月27日に設置

倉島 健 委員長 (NTT)

栗原 聡 (慶應義塾大学), 津本 周作 (島根大学), 本村 陽一 (産総研), 小野 智弘 (KDDI 総合研究所), 小町 守 (一橋大学), 清田 陽司 (麗澤大学), 谷口 晋平 (博報堂/博報堂 DY メディアパートナーズ), 三宅 陽一郎 (スクウェア・エニックス), 森 友亮 (東京大学)

2026年度全国大会期間中に実施する40周年記念式典の企画検討ならびに準備

⑪情報基盤担当

黒川 茂莉 (KDDI 総研), 大西 一貴 (博報堂テクノロジーズ)

新会員管理システム整備・ジュニア・ユース入会受付開始, バックエンド基盤の要件を整理し, Notion で試作開始

⑫未来学会タスクフォース (万博)

佐久間 洋司 委員長 (ソフトバンク)

委員: 井上 昂治 (京大), 大西 一貫 (博報堂テクノロジーズ), 狩野 芳伸 (静大), 品川 政太郎 (SB Intuitions), 高田 亮介 (東大), 竹内 孝 (京大), 谷本 啓 (NEC), 森 友亮 (スクウェアエニックス), 谷中 瞳 (東大), 山野辺 明子 (メイプロジェクト)

⑬事業化準備タスクフォース

栗原 聡 委員長 (慶大)

委員: 津本 周作 (島根大学), 本村 陽一 (産総研), 小野 智弘 (KDDI 総研), 清田 陽司 (麗澤大), 和泉 潔 (東大), 江渡 浩一郎 (産総研), 佐藤 敏紀 (ソフトバンク), 折原 良平 (キオクシア), 堤 富士雄 (電力中研), 吉岡 健 (富士フイルム)

II 処務の概要

(1) 役員などに関する事項

2025 年度末現在

職名	勤務	氏名	就任年月日	担当職務	報酬	現職	備考
会長	非常勤	栗原 聡	2024.06.28	総括	なし	慶應義塾大学	
副会長	非常勤	本村 陽一	2024.06.28	学会賞選定／未来世代学会 TF	なし	産業技術総合研究所	
副会長	非常勤	小野 智弘	2025.06.24	全国大会／新会員施策／ジュニア	なし	(株)KDDI 総合研究所	
理事	非常勤	荒井 ひろみ	2024.06.28	ダイバーシティ	なし	理化学研究所	
理事	非常勤	板井 光輝	2025.06.24	中長期戦略	なし	(株)日立システムズ	
理事	非常勤	石角 友愛	2024.06.28	AI マップ	なし	パロアルトインサイト	
理事	非常勤	市瀬 龍太郎	2024.06.28	NGC	なし	東京科学大学	
理事	非常勤	稲谷 龍彦	2024.06.28	倫理	なし	京都大学	
理事	非常勤	岩崎 弘利	2025.06.24	財務	なし	(株)デンソーアティラボラトリ	
理事	非常勤	江渡 浩一郎	2024.06.28	広報	なし	ZEN 大学	
						2026 年 2 月 26 日より業務停止	
理事	非常勤	大澤 博隆	2024.06.28	編集(論文誌)	なし	慶應義塾大学	
理事	非常勤	大西 一貫	2025.06.24	情報基盤	なし	(株)博報堂 DY ホールディングス	
理事	非常勤	大向 一輝	2025.06.24	全国大会	なし	東京大学	
理事	非常勤	岡 瑞起	2025.06.24	ダイバーシティ	なし	千葉工業大学	
理事	非常勤	刑部 好弘	2025.06.24	企画(セミナー)	なし	(株)日立製作所	
理事	非常勤	岸本 章宏	2024.06.28	財務	なし	エヌビディア(同)	
理事	非常勤	木村 大毅	2025.06.24	広報	なし	日本アイ・ビー・エム(株)	
理事	非常勤	清田 陽司	2025.06.24	国際標準化	なし	麗澤大学	
理事	非常勤	倉島 健	2024.06.28	全国大会	なし	NTT(株)	
理事	非常勤	倉橋 節也	2024.06.28	国際標準化	なし	筑波大学理事	
理事	非常勤	小塚 和紀	2025.06.24	総務	なし	パナソニックホールディングス(株)	
理事	非常勤	黒川 茂莉	2024.06.28	情報基盤	なし	(株)KDDI 総合研究所	
理事	非常勤	小町 守	2024.06.28	全国大会	なし	一橋大学	
理事	非常勤	坂地 泰紀	2024.06.28	研究会	なし	北海道大学	
理事	非常勤	櫻井 祐子	2025.06.24	全国大会	なし	名古屋工業大学	
理事	非常勤	清水 仁	2025.06.24	研究会	なし	西日本電信電話(株)	
理事	非常勤	高野 雅典	2025.06.24	AI マップ	なし	(株)サバーエージェント	
理事	非常勤	竹内 孝	2025.06.24	倫理	なし	京都大学	
理事	非常勤	谷口 晋平	2024.06.28	企画(セミナー)	なし	(株)博報堂／(株)博報堂 DY デイアール・トナズ	
理事	非常勤	鳥海 不二夫	2025.06.24	NGC	なし	東京大学	
理事	非常勤	中臺 一博	2024.06.28	研究会	なし	東京科学大学	
理事	非常勤	中野 有紀子	2024.06.28	企画(国際化)	なし	成蹊大学	
理事	非常勤	原 聡	2025.06.24	研究会	なし	電気通信大学	

理事	非常勤	土方 嘉徳	2025.06.24	産業界連携	なし	兵庫県立大学	
理事	非常勤	三宅 陽一郎	2024.06.28	編集(会誌)	なし	(株)スクエア・エックス	
理事	非常勤	森永 聡	2025.06.24	企画(国際化)	なし	日本電気(株)	
理事	非常勤	吉田 香	2025.06.24	ジュニア・ユース	なし	九州工業大学	
理事	非常勤	山田 健太郎	2024.06.28	産業界連携	なし	(株)本田技術研究所	
理事	非常勤	渡邊 勇	2024.06.28	総務	なし	(一財)電力中央研究所	
監事	非常勤	立堀 道昭	2024.06.28	監査	なし	日本アイ・ビー・エム(株)	
監事	非常勤	森田 千絵	2025.06.24	監査	なし	(株) 東芝	

(理事は五十音順, 敬称略)

(2) 職員に関する事項

2025 年度末現在

職 名	勤 務	氏 名	採用年月日	担当業務	備 考
事務局長	常 勤	住田 一男	2016/07/01	総 括	
職 員	常 勤	田島 幸子	2018/09/01	会 計	
職 員	常 勤	今井 三保	2024/05/09	研究会／イベント	
職 員	常 勤	松本 弥生	2024/09/02	編集	

(3) 会議などに関する事項

① 総会

第 40 回定時社員総会構成 (社員総数 116 名 : 定足数 59 名)

開 催 年 月 日	議 事 事 項	会議の結果
第 40 回定時社員総会 2025 年 6 月 24 日 議 長 : 栗原 聡 会長 出席者 : 109 名(現地出席 17 名, オンライン出席 35 名, 書面投票 57 名) 総会成立定足数 : 59 名	1. 2024 年度事業報告書承認の件 2. 個人会員の除名処分承認の件 3. 2024 年度決算書・監査報告書承認の件 4. 2025 年度事業計画書承認の件 5. 2025 年度特別予算に基づく事業計画承認の件 6. 2025 年度収支予算書承認の件 7. 2025 年度役員選任の件	満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認 満場一致で承認

② 理事会

第 416 回以前の理事会の理事会構成 (理事 36 名, 監事 2 名, 顧問 4 名)

会長 : 栗原 聡, 副会長 : 小野 智弘, 本村 陽一

理事 : 荒井 ひろみ, 井崎 武士, 石角 友愛, 市瀬 龍太郎, 稲谷 龍彦, 江渡 浩一郎, 大澤 博隆, 大西 正輝, 岡田 雅司, 岸本 章宏, 清田 陽司, 倉島 健, 倉橋 節也, 黒川 茂莉, 小町 守, 坂地 泰紀, 櫻井 祐子, 佐藤 敏紀, 鈴木 豊太郎, 砂川 英一, 諏訪 正樹, 高野 雅典, 谷口 晋平, 寺本 やえみ, 中臺 一博, 中野 有紀子, 馬場 雪乃, 松井 藤五郎, 三宅 陽一郎, 矢田 勝俊, 谷中 瞳, 山田 健太郎, 渡邊 勇

監事 : 吉岡 健, 立堀 道昭

顧問 : 山田 誠二, 浦本 直彦, 野田 五十樹, 津本 周作

第 417 回～第 426 回理事会の理事会構成 (理事 39 名, 監事 2 名, 顧問 4 名)

会長 : 栗原 聡, 副会長 : 本村 陽一, 小野 智弘

	<p>35. 総務：2024 年度役員担務案報告</p> <p>36. 総務：協賛 3 件，後援 3 件の受諾審議</p> <p>37. 標準化：2024 年度実施計画案審議</p> <p>38. 広報：2024 年度実施計画案審議</p>	<p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p>
<p>第 416 回理事会</p> <p>2025 年 5 月 20 日</p> <p>議 長：栗原 聡会長</p> <p>出席理事：30 名</p> <p>(定足数：19 名)</p>	<p>1. 総務：第 415 回理事会議事録確認</p> <p>2. 総務：新規入会申込：個人 166 名と法人 2 社の入会審議</p> <p>3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告</p> <p>4. 産業界連携：第 5 回 SIAI クレーム対応審議</p> <p>5. ジュニア：現状・今後の予定報告</p> <p>6. 多様性：進捗報告</p> <p>7. 多様性：委員追加審議</p> <p>8. 企画(他社)：全国中高生 AI・DS 探求コンペティション 2025 表彰審議</p> <p>9. 企画(他社)：コンペ・セミナー進捗報告</p> <p>10. 企画(他社)：GeoSciAI2025 コンペ受賞者選定結果審議</p> <p>11. 倫理：ELSI 賞選定結果審議</p> <p>12. 総務：2025 年度役員担務案</p> <p>13. 総務：定時社員総会議案審議</p> <p>14. 総務：2024 年度監事監査報告</p> <p>15. 総務：Design シンポジウム開催案審議</p> <p>16. 総務：ロボカップジャパンオープン協賛金額訂正</p> <p>17. 総務：協賛 3 件，後援 3 件の受諾審議</p>	<p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p>
<p>第 417 回理事会</p> <p>2025 年 6 月 24 日</p> <p>議 長：栗原 聡会長</p> <p>出席理事：31 名</p> <p>(定足数：20 名)</p>	<p>理事出席者 31 名は、定款 34 条に規定する定足数 20 名 (理事の過半数) を満たしているのので、理事会が有効であることを確認した。また、オンライン会議システムにより、出席者の音声及び画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いに行える状態になっていることが確認された。</p> <p>1. 2025 年度役員構成案承認について</p> <p>議長から、2025 年度役員構成が提案され、小野智弘副会長 (代表理事) の就任が満場一致で承認された。</p>	
<p>第 418 回理事会</p> <p>2025 年 7 月 24 日</p> <p>議 長：栗原 聡会長</p> <p>出席理事：33 名</p> <p>(定足数：20 名)</p>	<p>1. 総務：第 416 回～417 回理事会，第 40 回総会議事録確認</p> <p>2. 総務：新規入会申込：個人 171 名と法人 4 社の入会審議</p> <p>3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告</p> <p>4. 編集：委員追加審議</p> <p>5. 全国大会：集計結果／収支実算／アンケート結果報告</p> <p>6. 全国大会：JSAI2026 検討状況</p> <p>7. 全国大会：委員追加審議</p> <p>8. 全国大会：優秀賞選定結果審議</p> <p>9. 企画(国際化)：JSAI-isAI2025 開催報告</p> <p>10. 企画(国際化)：謝金審議</p>	<p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>賛成多数で承認</p> <p>報告</p> <p>賛成多数で承認</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 11. 企画(セナ)：コンペ支援選考結果審議 12. 企画(セナ)：第 97 回セミナー開催報告 13. 企画(セナ)：第 98 回セミナー開催報告 14. 企画(セナ)：人工知能学会・日本神経回路学会合同企画開催報告 15. 企画(セナ)：JSAI2025 での企画セッション開催報告 16. 企画(セナ)：動画進捗報告 17. 広報：リブランディング見積報告 18. 広報：委員追加審議 19. 産業界連携：SIAI7@大阪準備状況報告 20. 研究会運営：第二種研究会 SIG-DC 設置審議 21. 研究会運営：合同研究会 2025 準備状況報告 22. NGC：進捗報告 23. 多様性：全国大会ランチ交流会 24. 多様性：委員追加審議 25. 倫理：ジュニア政策の趣旨審議 26. ジュニア：ビジョンならびにメッセージ審議 27. ジュニア：委員会名称変更審議 28. ジュニア：ジュニア・ユース会員規程改訂審議 29. ジュニア：委員体制審議 30. ジュニア：進捗報告 31. 総務：2025 年度役員担務 32. 総務：ICM2030 東京招致サポートレター依頼 33. 総務：協賛 11 件，後援 11 件の受諾審議 34. 総務：第 45 回医療情報学連合大会共同企画共催審議 	<ul style="list-style-type: none"> 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認
<p>第 419 回理事会 2025 年 8 月 26 日 議長：栗原 聡会長 出席理事：29 名 (定足数：20 名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 総務：第 418 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 106 名と法人 1 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. NGC：編集状況報告 5. 全国大会：JSAI2026 大会状況報告 6. 事業化準備 TF：40 周年記念イベント企画の予算審議 7. 産業界連携：委員追加審議 8. 産業界連携：SIAI7 準備状況報告 9. ジュニア：入会者審議 10. ジュニア：委員追加審議 11. ジュニア：進捗状況報告 12. 研究会運営：合同研究会 2025 準備状況報告 13. 研究会運営：SIG-DC 設置審議 14. 研究会運営：合同研究会規程審議 15. 企画(国際化)：isAI2026 開催概要審議 	<ul style="list-style-type: none"> 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 (→編集予算) 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認

<p>第 422 回理事会 2025 年 11 月 21 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：30 名 (定足数：20 名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務：第 421 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 27 名と法人 3 社の入会審議 3. 編集：会誌・論文誌編集状況報告 4. 全国大会：JSAI2026 委員追加審議 5. 全国大会：JSAI2026 大会準備状況報告 6. 研究会運営：合同研究会 2025 準備状況報告 7. 事業化準備 TF：WG3 コンペ受賞者選定結果・賞金審議 (共同通信から支払い本会分を共同通信から本会に請求) 8. 事業化準備 TF：WG3 事業創造委員会組成に関する提案 9. ジュニア：委員追加審議 10. 新会員施策 TF：大規模アンケート検討状況報告 11. 企画(セナ)：活動報告 12. 財務：2025 年度上期予算執行状況報告 13. 情報基盤：WF 化・DB 化コンサル委託審議 14. 情報基盤：ジュニア・ユース向け会員基盤継続利用審議 15. 総務：理事候補選出申し合わせ事項審議 16. 総務：次期学習指導要領策定審議 17. 総務：2025 年度学会賞選定委員会設置審議 18. 総務：2026 年 1 月号会誌会告案(学会賞推薦募集) 19. 総務：ハラスメント相談窓口外部サービス利用提案 20. 総務：協賛 4 件，後援 2 件の受諾審議 	<p>賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認</p>
<p>第 423 回理事会 2025 年 12 月 26 日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：33 名 (定足数：20 名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務：第 422 回理事会議事録確認 2. 総務：新規入会申込：個人 43 名の入会審議 3. NGC：編集状況報告 4. 産業界連携：SIAI7@Osaka アンケート報告／収支報告 5. 研究会運営：合同研究会 2025 実施報告 6. Design シンポ：Design シンポジウム 2025 実施報告 7. 全国大会：委員追加審議 8. 全国大会：JSAI2026 大会準備状況報告 9. ジュニア：委員追加審議 10. ジュニア：状況報告 11. 情報基盤・事業化準備 TF：事業創造委員会組成に関する提案 12. 新会員施策検討 TF：大規模アンケート状況報告 13. 編集：特集記事の部分的オープン化審議 14. 企画(セナ)：JAPAN AI CUP の実施体制・予算審議 15. 総務：永年会員申請審議 16. 総務：2026 年度実施計画案策定依頼 17. 総務：協賛 2 件，後援 5 件の受諾審議 18. 総務：GeoSci2026 コンペ共催審議 	<p>賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認</p>
<p>第 424 回理事会</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務：第 422 回理事会議事録確認 	<p>賛成多数で承認</p>

<p>2026年1月27日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：32名 (定足数：20名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 2. 総務：新規入会申込：法人6社，個人108名の入会審議 3. 編集：編集状況報告 3. 編集：委員追加審議 4. 全国大会：JSAI2026 大会準備状況 5. 全国大会：委員追加審議 6. 全国大会：謝金ガイドライン審議 7. 全国大会：JSAI2027 大会会場・開催日程審議 8. 多様性・包摂推進：合同研究会講師謝金審議 9. AI マップ：AI マップβ拡張版チュートリアルの公開審議 10. 広報：リブランディング新ロゴ審議 11. 研究会運営：合同研究会 2025 実施報告 12. 財務：予算小委員会設置審議 13. 総務：40周年記念委員会設置審議 14. 総務：2026 年度役員候補者選定結果審議 15. 総務：在宅勤務規程改訂審議 16. 総務：協賛1件，後援2件の受諾審議 17. 総務：ロボカップジュニア後援依頼 	<p>賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認</p>
<p>第425回理事会 2026年2月24日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：27名 (定足数：20名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務：第424回理事会議事録 2. 総務：新規入会：法人3社，個人175名の入会審議 3. 編集：学生委員追加審議 4. 全国大会：JSAI2026 委員追加審議 5. 全国大会：大会準備状況 6. 産業界連携：第8回 SIAI@東京 SIAI 準備状況 7. 産業界連携：委員会体制審議 8. 研究会運営：研究会運営委員会 9. 研究会運営：合同研究会 2026 10. AI マップ：活動報告 11. AI マップ：マニュアル公開審議 12. ジュニア・ユース：委員追加審議 13. 総務：謝金規程ならびに理事定数定款改訂 14. 総務：2025年特別費に関する実施報告提出依頼 15. 総務：ロボカップ人工知能学会賞選定結果審議 16. 総務：協賛5件，後援2件の受諾審議 17. 事業創造：制度設計・運営モデル・事業案・WBS・予算案 18. 広報：学会 Web サーバー対応について 	<p>賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 賛成多数で承認 報告 報告 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告</p>
<p>第426回理事会 2026年3月30日 議 長：栗原 聡会長 出席理事：30名 (定足数：20名)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総務：第425回理事会議事録 2. 総務：新規入会：法人8社，個人83名の入会審議 3. 編集：編集状況報告 4. 全国大会：JSAI2026 大会準備状況 5. 研究会運営：活動報告 6. AI マップ：特別事業計画に関する実施報告 	<p>賛成多数で承認 賛成多数で承認 報告 報告 報告 報告</p>

	7. AI マップ：委員追加審議	賛成多数で承認
	8. ジュニア・ユース：2026 年度実施計画案修正	報告
	9. 広報：進捗報告	報告
	10. 広報：委員追加審議	賛成多数で承認
	11. 広報：2026 年度実施計画案（特別事業計画に関する実施報告）	報告
	12. 広報：事業創造：事業創造エコシステム構想	報告
	13. 情報基盤：2025 年度活動報告	報告
	14. 情報基盤：2026 年度予算案修正	報告のみ
	15. 企画(セミナー)：委員追加審議	賛成多数で承認
	16. 企画(セミナー)：進捗報告	報告
	17. 財務：2026 年度予算案審議	賛成多数で承認
	18. 総務：2026 年度役員選挙結果	賛成多数で承認
	19. 総務：協賛 4 件，協力 1 件の受諾審議	賛成多数で承認
	20. 総務：事務局長候補者の推薦のお願い	報告

③ 学会賞選考委員会

・2025 年度 業績賞・功労賞・フェロー選定委員会

委員長：本村 陽一 幹事：渡邊 勇 副幹事：小塚 和紀

委員：小野 智弘，荒井 ひろみ，石角 友愛，板井 光輝，市瀬 龍太郎，稲谷 龍彦，岩崎 弘利，江渡 浩一郎，大澤 博隆，大西 一貫，大向 一輝，岡 瑞起，刑部 好弘，岸本 章宏，木村 大毅，清田 陽司，倉島 健，倉橋 節也，黒川 茂莉，小町 守，坂地 泰紀，櫻井 祐子，清水 仁，高野 雅典，竹内 孝，谷口 晋平，鳥海 不二夫，中臺 一博，中野 有紀子，原 聡，土方 嘉徳，三宅 陽一郎，森永 聡，山田 健太郎，吉田 香，立堀 道昭，森田 千絵

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2026 年 3 月 30 日 議 長：本村 陽一 委員長 出席者：18 名	業績賞候補の選定：1 名の候補者の推薦があった。委員長から賞の位置づけならびに候補の推薦内容を説明後委員からの意見・コメントを聞いた。その後、議決を取った。なお、関係者は参加しなかった。	業績賞 1 名

・2025 年度現場イノベーション賞候補者選定委員会

委員長：本村 陽一 幹事：渡邊 勇 副幹事：小塚 和紀

委員：小野 智弘，石角 友愛，板井 光輝，岩崎 弘利，大西 一貫，刑部 好弘，木村 大毅，清水 仁，高野 雅典，岸本，倉島 健，黒川 茂莉，谷口 晋平，三宅 陽一郎，森永 聡，山田 健太郎

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2026 年 3 月 30 日 議 長：本村 陽一 委員長 出席者：10 名	8 件の推薦があった。委員長から賞の位置づけの説明の後、議論を行い、投票を実施して順位付けを行い、金賞・銀賞のいずれを授与すべきかを判定した。なお、利益相反とならないよう、関係者は判定には参加しなかった。	金賞 1 件，銀賞 2 件を選定

・2026 年度役員候補者推薦委員会

委員長：栗原 聡 幹事：渡邊 勇 副幹事：小塚 和紀

委員：本村 陽一，小野 智弘，荒井 ひろみ，石角 友愛，板井 光輝，市瀬 龍太郎，稲谷 龍彦，岩崎 弘利，江渡 浩一郎，大澤 博隆，大西 一貫，大向 一輝，岡 瑞起，刑部 好弘，岸本 章宏，木村 大毅，清田 陽司，倉島 健，倉橋 節也，黒川 茂莉，小町 守，坂地 泰紀，櫻井 祐子，清水 仁，高野 雅典，竹内 孝，谷口 晋平，鳥海 不二夫，中臺 一博，中野 有紀子，原 聡，土方 嘉徳，三宅 陽一郎，森永 聡，山田 健太郎，吉田 香

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
2025年11月21日 議長：栗原 聡 委員長 出席者：23名	1. 会長候補者：1名 2. 副会長候補者：1名 3. 監事候補者：1名	信任 信任 信任
2025年12月26日 議長：栗原 聡 委員長 出席者：25名	1. 候補者選任方法 2. アカデミア理事候補者：22名 3. 企業理事候補者：10名	承認 優先度付け 優先度付け

④ 各種委員会

各委員会で新旧体制の変更に伴い，引継ぎを行った。

- ・編集委員会：

委員長の変更なし

- ・NGC 編集委員会：

松尾 豊 委員長⇒市瀬 龍太郎 委員長

論文誌特集の計画など

- ・研究会運営委員会：

松井 藤五郎 委員長（研究会運営），馬場 雪乃 委員長（合同研究会），坂地 泰紀 副委員長（研究会運営），中臺 一博 副委員長（合同研究会）⇒坂地 泰紀 委員長（研究会運営），中臺 一博 委員長（合同研究会），清水 仁 副委員長（研究会運営）原 聡 副委員長（合同研究会）

研究会活動計画の審議，新研究会設立の提案，研究会優秀賞の選定，合同研究会の計画など

- ・企画委員会：

櫻井 祐子 委員長（セミナー），鈴木 豊太郎 委員長（国際化），谷口 晋平 副委員長（セミナー），中野 有紀子 副委員長（国際化）⇒谷口 晋平 副委員長（セミナー），中野 有紀子 副委員長（国際化），刑部 好弘 副委員長（セミナー），森永 聡 副委員長（国際化）

セミナー企画の計画，動画コンテンツ配信計画，コンペティション助成計画，isAI2025 開催計画等

- ・全国大会委員会：

小野 智弘 大会委員長，岩田 具治 実行委員長，和泉 潔 プログラム委員長，清田 陽司 副実行委員長，大西 正輝 副プログラム委員長 ⇒ 本村 陽一 大会委員長，清田 陽司 実行委員長，大西 正輝 プログラム委員長，倉島 健 副実行委員長（2026年度大会実行委員長），小町 守 副プログラム委員長（2026年度大会プログラム委員長），大向 一輝（2027年度大会実行委員長），櫻井 祐子（2027年度大会プログラム委員長）

全国大会の企画・運営など

- ・広報委員会：

佐藤 敏紀 委員長，江渡 浩一郎 副委員長 ⇒ 江渡 浩一郎 委員長，木村 大毅 副委員長

学会ホームページでの情報発信運営，ホームページ・メーリングリストの管理・運用，学会リブランディング

の検討, マスコミ対応など

- 出版委員会：
委員長の変更なし
- 財務委員会：
寺本 やえみ 委員長, 岸本 章宏 副委員長 ⇒ 岸本 章宏 委員長, 岩崎 弘利 副委員長
財務の健全な管理・運営について
- 総務委員会（研究集会審議委員会兼務）：
岡田 雅司 委員長, 渡邊 勇 副委員長 ⇒ 渡邊 勇 委員長, 小塚 和紀 副委員長
議事事項：総会, 理事会, 事務局の運営, 各委員会との連絡調整, 選挙, その他
- 倫理委員会：
委員長の変更なし
- 標準化委員会：
井崎 武士 委員長, 倉橋 節也 副委員長 ⇒ 倉橋 節也 委員長, 清田 陽司 副委員長
人工知能関連の標準化に関する SC42 との連携
- 産業界連携委員会：
矢田 勝俊 委員長, 山田 健太郎 副委員長 ⇒ 山田 健太郎 委員長, 土方 嘉徳 副委員長
人材育成に関するシンポジウム企画
- 多様性・包摂推進委員会：
委員長の変更なし
- AI マップ委員会：
砂川 英一 委員長, 石角 友愛 副委員長 ⇒ 石角 友愛 委員長, 高野 雅典 副委員長
AI マップの改良, ガイドライン公開
- 新会員施策検討 TF：
委員長の変更なし
- 未来世代学会 TF
委員長の変更なし
- 40 周年記念 TF
委員長の変更なし
- 事業化準備 TF：
委員長の変更なし
- ジュニア・ユース委員会：
委員長の変更なし
- 40 周年記念委員会（2026 年 1 月 27 日設置）
倉島 健 委員長
委員会設置, 40 周年記念式典・企画の検討と実施

(4) 許可, 認可, 承認, 証明などに関する事項

申請年月日	申請事項	許可年月日	備考

(5) 契約に関する事項

契約年月日	契約事項 (契約名称と相手方)	契約の期間

(6) 寄付金に関する事項

(7) 主務官庁からの連絡事項など

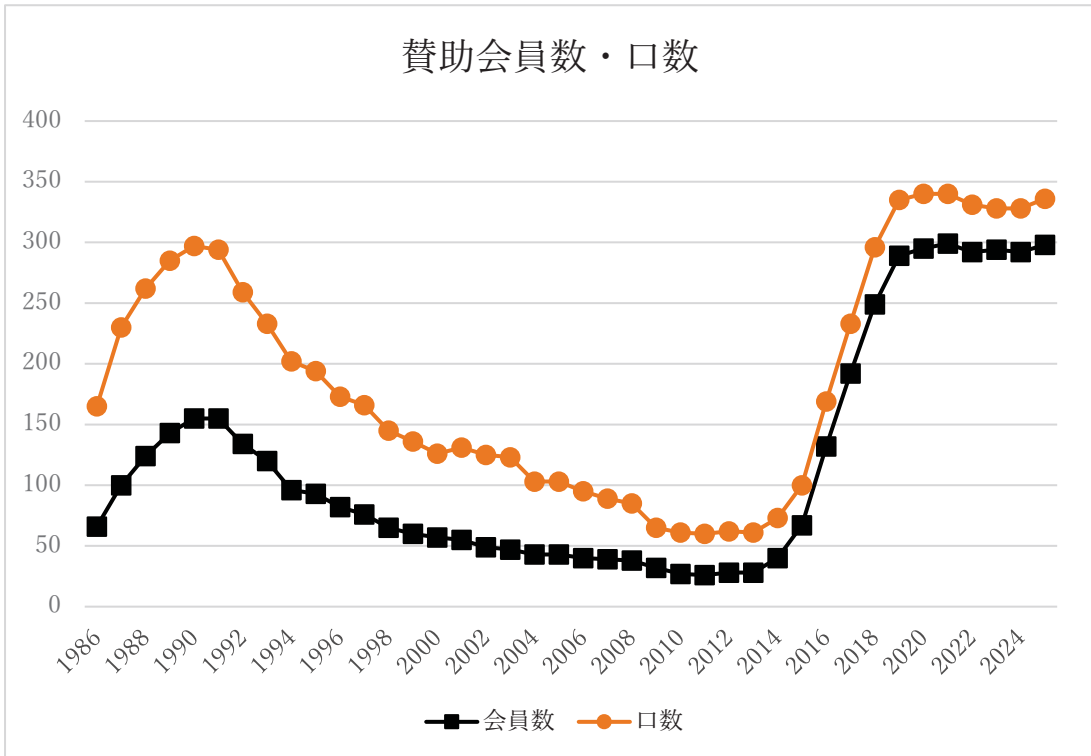
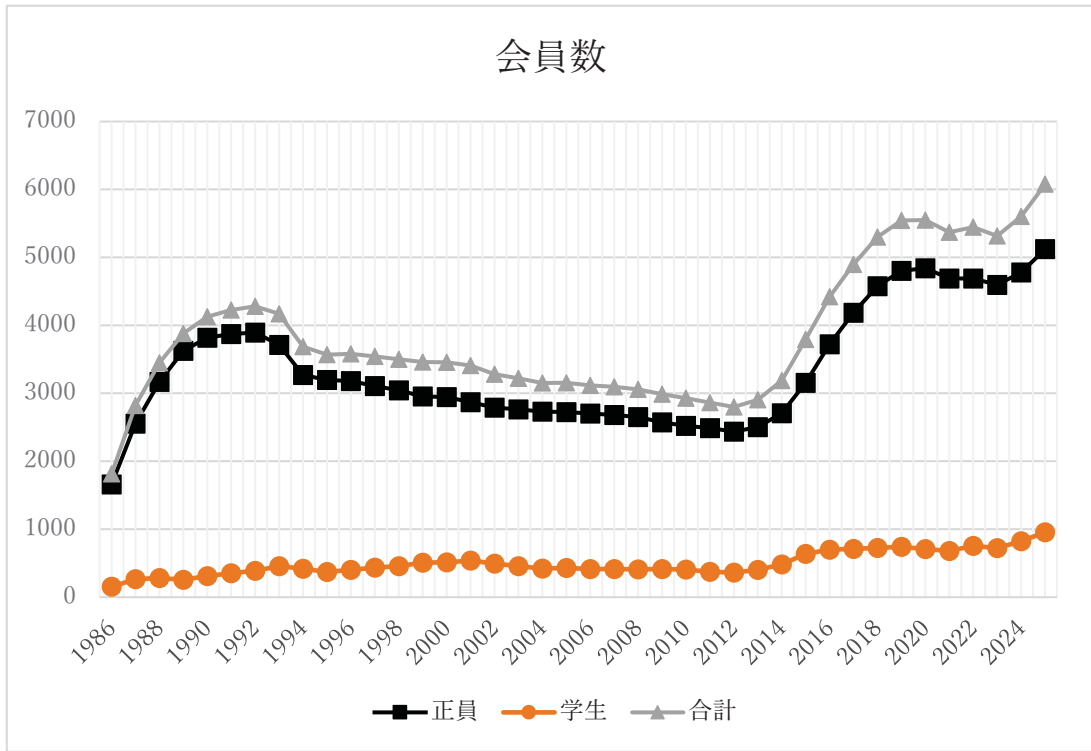
連絡年月日	連絡事項	履行状況

(8) その他重要事項

ありません。

(9) 会員の異動状況

会員種別	本年度末 2026年3月31日	昨年度末 2025年3月31日	増減数	摘要
正会員	5,122	4,779	343増	
学生会員	956	823	133増	
名誉会員	7	7	—	
賛助会員(口数)	298(336)	292(328)	6増(8増)	
特殊購読会員	62	63	1減	
個人会員合計	6,085	5,609	476増	



除名処分について

定款第9条に基づき、2025年度末で283名を除名いたします。

[付録]

定款第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、社員総会において、当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

会員種別	会費2年間滞納	年会費未納で退会届
正会員	184	8
学生会員	73	8
名誉会員	0	0
賛助会員	10	0
特殊購読会員	0	0
合計	283	

第3号議案

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	375,538,883	344,006,174	31,532,709
未収会費	9,030,000	6,384,000	2,646,000
未収金	4,647,722	3,006,383	1,641,339
前払金	6,794,101	11,443,181	4,649,080
会費未納除却引当金	4,650,425	3,512,000	1,138,425
仮払金	15,474	15,474	0
流動資産合計	391,375,755	361,343,212	30,032,543
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	35,000,000	35,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当金特定資産	2,684,400	2,397,000	287,400
記念事業積立金	4,186,759	4,179,621	7,138
国際活動積立金	7,907,260	7,894,658	12,602
活性化積立金	1,105,727	1,158,704	52,977
特定資産合計	15,884,146	15,629,983	254,163
(3) その他固定資産			
器具備品	187,888	164,800	23,088
電話加入権	220,584	220,584	0
入居保証金	4,344,000	4,344,000	0
長期前払費用	500,000	0	500,000
その他固定資産合計	5,252,472	4,729,384	523,088
固定資産合計	56,136,618	55,359,367	777,251
資産合計	447,512,373	416,702,579	30,809,794
負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,622,915	7,725,584	3,897,331
前受金	11,705,001	8,784,000	2,921,001
前受会費	20,940,500	20,928,000	12,500
職員に対する社会保険料等	292,210	245,860	46,350
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,368,300	1,074,000	294,300
流動負債合計	45,998,926	38,827,444	7,171,482
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,173,200	1,885,800	287,400
固定負債合計	2,173,200	1,885,800	287,400
負債合計	48,172,126	40,713,244	7,458,882
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0

貸借対照表

2026年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
2 . 一般正味財産	399,340,247	375,989,335	23,350,912
(うち基本財産への充当額)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(15,884,146)	(15,629,983)	(254,163)
正味財産合計	399,340,247	375,989,335	23,350,912
負債及び正味財産合計	447,512,373	416,702,579	30,809,794

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[7,410]	[594]	[6,816]
基本財産受取利息	7,410	594	6,816
特定資産運用益	[23,356]	[5,829]	[17,527]
特定資産受取利息	23,356	5,829	17,527
受取入会金	[1,787,000]	[1,320,000]	[467,000]
受取正会員入会	1,418,000	976,000	442,000
受取学生会員入会金	369,000	344,000	25,000
受取会費	[82,798,000]	[79,350,000]	[3,448,000]
正会員受取会費	50,820,000	47,850,000	2,970,000
学生会員受取会費	3,848,000	3,400,000	448,000
賛助会員受取会費	26,960,000	26,960,000	0
特殊購読会員受取年会費	945,000	945,000	0
永年会員受取年会費	225,000	195,000	30,000
事業収益	[143,894,635]	[116,950,725]	[26,943,910]
論文掲載・会誌別刷料	10,079,300	9,611,800	467,500
会誌印税	299,258	394,506	95,248
事典印税	35,229	37,110	1,881
全国大会収入	125,756,200	97,632,813	28,123,387
国際WS収入	533,280	515,020	18,260
研究会登録料他	2,670,990	2,916,250	245,260
セミナー参加料	291,500	1,207,950	916,450
会誌等頒布代	1,834,272	1,332,672	501,600
出版物印税	656,606	68,604	588,002
AIシンポジウム	1,738,000	3,234,000	1,496,000
雑収益	[7,934,754]	[10,543,307]	[2,608,553]
会誌広告料	5,476,900	5,547,300	70,400
受取利息	590,802	131,751	459,051
コピーライト	660,747	350,159	310,588
会誌カタログ同封	1,133,800	1,028,105	105,695
その他	72,505	3,485,992	3,413,487
会費未納除却引当金戻し入れ額	[3,512,000]	[3,560,000]	[48,000]
経常収益計	239,957,155	211,730,455	28,226,700
(2) 経常費用			
事業費	[182,323,905]	[146,655,805]	[35,668,100]
会誌印刷費	20,702,235	19,226,604	1,475,631
論文掲載・会誌別刷印刷費	220,000	122,100	97,900
会誌執筆謝礼	956,964	499,486	457,478
会誌郵送費等発行諸経費	8,689,403	6,687,225	2,002,178
論文査読経費	641,340	576,972	64,368
全国大会開催費	102,673,327	83,867,419	18,805,908

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
国際WS開催費	993,374	533,048	460,326
AIシンポジウム	3,935,137	2,546,825	1,388,312
セミナー開催費	825,530	2,705,033	1,879,503
企画動画配信	3,009,301	2,214,992	794,309
企画コンペティション	1,161,952	650,000	511,952
研究会開催費	4,724,933	4,840,092	115,159
広報活動費	2,710,564	3,717,345	1,006,781
標準化活動	0	13,899	13,899
NGC編集諸経費	165,000	0	165,000
出版委員会活動	0	59,800	59,800
倫理委員会活動費	0	33,411	33,411
多様性・包摂	367,397	124,593	242,804
ジュニア委員会	2,152,479	0	2,152,479
表彰費	298,606	247,937	50,669
活性化活動費用	55,000	0	55,000
AIマップ関連費用	0	132,000	132,000
特別費	11,378,493	0	11,378,493
給料・手当	12,439,581	13,733,558	1,293,977
法定福利費	1,262,689	1,008,666	254,023
消費税	2,890,600	3,044,800	154,200
法人税	70,000	70,000	0
管理費	[28,440,113]	[23,599,209]	[4,840,904]
家賃	2,222,352	2,407,548	185,196
共益費	193,248	193,248	0
光熱費	232,485	233,185	700
リース料・保守・修理費	1,060,928	1,058,672	2,256
会議費	753,025	587,727	165,298
総会費用	264,160	495,941	231,781
旅費交通費	43,466	55,914	12,448
通信費	1,266,824	1,340,284	73,460
印刷費	2,184,796	2,464,976	280,180
消耗品費	98,357	58,375	39,982
給料・手当	7,054,033	5,363,375	1,690,658
支払報酬料	45,650	269,500	223,850
法定福利費	1,058,426	845,503	212,923
資料購入費	66,000	66,000	0
諸会費	100,901	108,478	7,577
OA維持費	736,449	517,176	219,273
福利厚生費	9,156	9,156	0
会費引落経費	1,841,226	1,591,879	249,347
支払手数料	3,222,518	350,334	2,872,184
雑費	93,207	56,500	36,707
外為手数料	42,500	28,500	14,000

正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
公認会計士費用	550,000	550,000	0
事務所整備費用	214,608	0	214,608
減価償却費	12,525	0	12,525
会員管理委託費用	5,062,673	4,932,588	130,085
租税公課	10,600	14,350	3,750
会費等未納除却費用	[5,677,425]	[6,929,000]	[1,251,575]
会費未納除却支出	1,027,000	3,417,000	2,390,000
会費未納除却引当金繰入	4,650,425	3,512,000	1,138,425
経常費用計	216,441,443	177,184,014	39,257,429
評価損益等調整前当期経常増減額	23,515,712	34,546,441	11,030,729
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	23,515,712	34,546,441	11,030,729
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正損	[164,800]	[0]	[164,800]
経常外費用計	164,800	0	164,800
当期経常外増減額	164,800	0	164,800
当期一般正味財産増減額	23,350,912	34,546,441	11,195,529
一般正味財産期首残高	375,989,335	341,442,894	34,546,441
一般正味財産期末残高	399,340,247	375,989,335	23,350,912
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	399,340,247	375,989,335	23,350,912

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[500]	[7,410]	[6,910]
基本財産受取利息	500	7,410	6,910
特定資産運用益	[300]	[23,356]	[23,056]
特定資産受取利息	300	23,356	23,056
受取入会金	[1,100,000]	[1,787,000]	[687,000]
受取正会員入会	800,000	1,418,000	618,000
受取学生会員入会金	300,000	369,000	69,000
受取会費	[77,700,000]	[82,798,000]	[5,098,000]
正会員受取会費	47,000,000	50,820,000	3,820,000
学生会員受取会費	3,200,000	3,848,000	648,000
賛助会員受取会費	26,400,000	26,960,000	560,000
特殊購読会員受取年会費	900,000	945,000	45,000
永年会員受取年会費	200,000	225,000	25,000
事業収益	[122,066,120]	[143,894,635]	[21,828,515]
論文掲載・会誌別刷料	6,400,000	10,079,300	3,679,300
会誌印税	400,000	299,258	100,742
事典印税	0	35,229	35,229
デジタル事典印税	140,000	0	140,000
全国大会収入	105,987,200	125,756,200	19,769,000
国際WS収入	753,720	533,280	220,440
研究会登録料他	1,831,200	2,670,990	839,790
セミナー参加料	1,480,000	291,500	1,188,500
会誌等頒布代	1,830,000	1,834,272	4,272
出版物印税	10,000	656,606	646,606
AIシンポジウム	3,234,000	1,738,000	1,496,000
雑収益	[6,561,500]	[7,934,754]	[1,373,254]
会誌広告料	5,400,000	5,476,900	76,900
受取利息	1,500	590,802	589,302
コピーライト	260,000	660,747	400,747
会誌カタログ同封	850,000	1,133,800	283,800
その他	50,000	72,505	22,505
会費未納除却引当金戻し入れ額	[0]	[3,512,000]	[3,512,000]
経常収益計	207,428,420	239,957,155	32,528,735
(2) 経常費用			
事業費	[222,047,390]	[182,323,905]	[39,723,485]
会誌印刷費	20,300,000	20,702,235	402,235
論文掲載・会誌別刷印刷費	180,000	220,000	40,000
会誌執筆謝礼	320,000	956,964	636,964
会誌郵送費等発行諸経費	7,550,000	8,689,403	1,139,403
論文査読経費	650,000	641,340	8,660

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
全国大会開催費	94,986,190	102,673,327	7,687,137
国際WS開催費	596,210	993,374	397,164
AIシホジウム	3,851,000	3,935,137	84,137
セミナー開催費	3,585,000	825,530	2,759,470
企画動画配信	3,080,000	3,009,301	70,699
企画コンペティション	2,928,480	1,161,952	1,766,528
研究会開催費	5,076,496	4,724,933	351,563
広報活動費	5,278,214	2,710,564	2,567,650
標準化活動	200,000	0	200,000
NGC編集諸経費	3,000,000	165,000	2,835,000
倫理委員会活動費	200,000	0	200,000
多様性・包摂	570,000	367,397	202,603
ジュニア委員会	6,140,000	2,152,479	3,987,521
表彰費	200,000	298,606	98,606
活性化活動費用	50,000	55,000	5,000
AIマップ関連費用	300,000	0	300,000
特別費	41,295,000	11,378,493	29,916,507
給料・手当	19,185,348	12,439,581	6,745,767
法定福利費	625,452	1,262,689	637,237
消費税	1,900,000	2,890,600	990,600
法人税	0	70,000	70,000
管理費	[23,218,121]	[28,440,113]	[5,221,992]
家賃	2,222,352	2,222,352	0
共益費	193,248	193,248	0
光熱費	230,000	232,485	2,485
リース料・保守・修理費	1,012,860	1,060,928	48,068
消耗什器備品費	100,000	0	100,000
会議費	265,100	753,025	487,925
総会費用	300,000	264,160	35,840
旅費交通費	30,000	43,466	13,466
通信費	1,567,376	1,266,824	300,552
印刷費	1,260,000	2,184,796	924,796
消耗品費	238,036	98,357	139,679
給料・手当	5,074,092	7,054,033	1,979,941
支払報酬料	167,000	45,650	121,350
法定福利費	756,910	1,058,426	301,516
資料購入費	76,000	66,000	10,000
諸会費	107,071	100,901	6,170
OA維持費	400,000	736,449	336,449
福利厚生費	30,000	9,156	20,844
会費引落経費	170,000	1,841,226	1,671,226
支払手数料	1,700,000	3,222,518	1,522,518
雑費	87,500	93,207	5,707

予算対比正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
外為手数料	50,000	42,500	7,500
公認会計士費用	550,000	550,000	0
事務所整備費用	300,000	214,608	85,392
減価償却費	0	12,525	12,525
会員管理委託費用	6,310,576	5,062,673	1,247,903
租税公課	20,000	10,600	9,400
会費等未納除却費用	[0]	[5,677,425]	[5,677,425]
会費未納除却支出	0	1,027,000	1,027,000
会費未納除却引当金繰入	0	4,650,425	4,650,425
経常費用計	245,265,511	216,441,443	28,824,068
評価損益等調整前当期経常増減額	37,837,091	23,515,712	61,352,803
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	37,837,091	23,515,712	61,352,803
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正損	[0]	[164,800]	[164,800]
経常外費用計	0	164,800	164,800
当期経常外増減額	0	164,800	164,800
当期一般正味財産増減額	37,837,091	23,350,912	61,188,003
一般正味財産期首残高	0	375,989,335	375,989,335
一般正味財産期末残高	37,837,091	399,340,247	437,177,338
指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	[500]	[0]	[500]
基本財産受取利息	500	0	500
当期指定正味財産増減額	500	0	500
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	500	0	500
正味財産期末残高	37,836,591	399,340,247	437,176,838

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	277,431
	預金	普通預金		326,058,993
		みずほ飯田橋会長		89,684,769
		みずほ飯田橋事務局		10,033,975
		みずほ飯田橋会長		106,694,661
		三菱UFJ神楽坂		110,690,587
		三井住友銀行飯田橋		8,955,001
		定期預金		2,263,316
		三菱UFJ神楽坂		2,263,316
		総合貯金		16,530,114
		振替貯金		30,409,029
		会長口座		30,409,029
		未収会費		9,030,000
		正会員入会金		10,000
		学生会員入会金		5,000
		正会員年会費		6,425,000
		学生会員年会費		865,000
		賛助会員年会費		1,680,000
		特殊購読会員年会費		45,000
		未収金		4,647,722
		会誌広告料		1,059,300
		研究会登録料		286,000
		AIシンポジウム		359,700
		その他		3,960
		研究会別刷料		18,600
		研究会資料収入		49,250
		会誌など頒布代		239,712
	会誌掲載料	2,631,200		
	前払金	6,794,101		
	全国大会開催費	5,892,321		
	AIシンポジウム	66,000		
	広報活動費	641,245		
	研究会開催費	66,000		
	OA維持費	128,535		
	会費未納除却引当金	4,650,425		
	仮払金	15,474		
流動資産合計				391,375,755
(固定資産)	基本財産			
		定期預金		35,000,000
		みずほ飯田橋		35,000,000

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産			
退職給与引当金特定資産			2,684,400
退職給付引当資産(一般)			2,684,400
記念事業積立金			4,186,759
三菱UFJ普通			3,158,040
三菱UFJ定期			1,028,719
国際活動積立金			7,907,260
みずほ普通			1,414,338
三菱UFJ定期			1,000,000
三井住友普通			2,695,621
三菱UFJ普通			2,797,301
活性化積立金			1,105,727
三菱UFJ普通			1,105,727
その他固定資産			
器具備品			187,888
電話加入権			220,584
入居保証金			4,344,000
長期前払費用			500,000
固定資産合計			56,136,618
資産合計			447,512,373
(流動負債)			
未払金			11,622,915
会誌印刷費			3,237,190
会誌郵送費等発行諸経費			887,041
会誌発行諸経費			644,094
研究会開催費			366,403
広報活動費			498,889
企画セミナー等			1,115,096
活性化活動費			4,307,984
通信・郵送費			13,171
印刷費			116,600
会員管理委託費			436,447
前受金			11,705,001
研究会登録料			186,000
全国大会参加費(会員)			2,579,000
全国大会参加費(非会員)			85,000
全国大会その他			8,855,001
前受会費			20,940,500

財産目録

2026年 3月31日現在

一般社団法人 人工知能学会

一般会計

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	正会員入会金			208,000
	学生会員入会金			114,000
	正会員年会費			10,923,500
	学生会員年会費			880,000
	賛助会員年会費			8,400,000
	特殊購読年会費			345,000
	永年会員年会費			70,000
	職員に対する社会保険料等			292,210
	社会保険料			85,090
	所得税			66,720
	住民税			140,400
	未払法人税等			70,000
	未払消費税等			1,368,300
流動負債合計				45,998,926
(固定負債)				
	退職給付引当金			2,173,200
固定負債合計				2,173,200
負債合計				48,172,126
正味財産				399,340,247

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

公益法人会計基準(公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ 平成16年10月14日)を採用している。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	35,000,000	0	0	35,000,000
	基本財産合計	35,000,000	0	0	35,000,000
特定資産	記念事業積立金	4,179,621	7,138	0	4,186,759
	国際活動積立金	7,894,658	14,142	1,540	7,907,260
	活性化積立金	1,158,704	2,023	55,000	1,105,727
	退職給与引当金特定資産	2,397,000	287,400		2,684,400
	特定資産合計	15,629,983	310,703	56,540	15,884,146
合計		50,629,983	310,703	56,540	50,884,146

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
小計	35,000,000	(0)	(35,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業積立金	4,186,759	(0)	(4,186,759)	(0)
国際活動積立金	7,907,260	(0)	(7,907,260)	(0)
活性化積立金	1,105,727	(0)	(1,105,727)	(0)
退職給与引当金特定資産	2,684,400	(0)		(2,684,400)
小計	15,884,146	(0)	(13,199,746)	(2,684,400)
合計	50,884,146	(0)	(48,199,746)	(2,684,400)

4.固定資産の減価償却の方法

有形固定資産:定額法を採用しております。

2025 年度特別費による事業報告補足

特別予算では、通常の学会運営に継続的に必要となる経常費とは区別し、単年度または限定期間における重点施策、制度立ち上げ、基盤整備、記念事業等に係る費用として整理している。2025 年度総会第 5 号議案での承認に基づき、特別予算による事業を実施した。これらの事業の成果を以下に報告する。また、当初計画からの部分的または全体的に変更が生じた事業もあった。その場合には、計画変更理由についても付記した。

コンテンツ提供の質向上を目指した体制構築

第 39 回全国大会にて専門業者による撮影を行い、大会の記録映像の制作を行った。制作された映像は YouTube 公式チャンネルへの投稿コンテンツとしたほか、AI EXPO などの外部イベント出展時に、全国大会の様子を伝える動画宣伝素材として活用した。本取り組みを通じて得られた高品質な動画制作のノウハウは今後の会員向けコンテンツの品質向上に活かしていく。また、本施策で制作した映像コンテンツは、本学会の取り組みを対外的にも分かりやすく周知することができるとの評価も得られており、広報機能としての重要性にも鑑み、企画委員会と広報委員会の連携を強化し、コンテンツ制作体制を整備した。

また、企画委員会で企画実施するセミナー等の情報を伝えるサイトの立ち上げ及びテスト運用を行った。委員自らが簡易に編集投稿できるサイト設計としており、イベント告知のほか、実施済みのイベントの結果報告やレポートなど施策アーカイブも充実させることができている。これまでの活動の様子が分かりやすく伝わるため、次年度以降の施策実施時における告知の効率化にもつながることを期待する。

AI 事典および AI マップのコンテンツ強化と無償公開

人工知能大事典と AI マップの統合と拡充については、ジュニア会員制度制作との連携、及び HP のアカウントに基づく制御との連携での議論の必要性が出たことから、具体的な作業の実施には至らなかったが、引き続き実施すべく準備を継続する。

ジュニア版 AI マップ・事典については、開発に着手し、現在は中高生向けの課題マップを作成中である。AI マップにおいては、AI マップのコンテンツ強化の一環として、2025 年度中に「AI マップ β 拡張版チュートリアル」「課題カード活用マニュアル」の公開を行った。上記コンテンツを学会ウェブサイトに掲載し、AI マップの理解促進と利活用支援を図った（公開 URL：<https://www.ai-gakkai.or.jp/aimap/>）。また、関連する追加的な整備事項については継続検討とし、2025 年度内の「コンテンツ強化特別費」の執行は行わなかった。

人工知能ウェブサイトのリブランディングと刷新

人工知能学会のウェブサイトやブランドデザインのリブランディングを実施するために、

まず 2025 年度ではロゴの選定を実施した。この際には、会長や理事の皆様からのリブランドにかかる思いの聞き取りを実施し、そのイメージをデザインに落とし込む形で実施した。その結果として、理事会にて承認を得られるロゴデザインを完成させることができた。来年度はこの作成したロゴを公表して、来るウェブサイトやブランドデザインのリブランディングの本実装に取り組む予定である。

その一方で、予定していた「ウェブサイト構築・運用作業」および「SNS 運用」については、本学会の長期的価値を左右する【リブランディングの基本設計（特にロゴの選定）】に注力した結果、次年度への執行延期および再計上を判断した。

- 基本設計およびロゴ選定の深化：学会のアイデンティティの象徴となるロゴ選定において、委員会内で極めて建設的かつ熱烈的な議論が行われ、この「合意形成のプロセス」を最重要視した。
- 戦略的延期の判断：不完全な設計のまま実装に進むのではなく、強固なブランドコンセプトが固まった 2026 年度に、満を持して構築フェーズへ移行することが投資対効果を最大化すると判断した。

そのため 2026 年度から、上記のウェブサイト構築および SNS 運用を実施することとした。

共同通信社共催のコンペティション企画およびビジネス層向けプレミアムセミナーへの企画・立案

共同通信社との連携企画であるデータ分析コンペティションについて、小学生部門、大人部門と計画通りに進めている中、大人部門での審査の取りまとめが 2026 年度になったことから、2025 年度での拠出はなくなった。また、プレミアムセミナーの設置については、コンテンツ制作について議論を開始している中、40 周年記念企画において制作したコンテンツの活用の議論も起きたことから、2025 年度における事業立ち上げには至っておらず、継続議論となっている。

会員情報共有システム開発特別費および会員管理システムプロトタイプ開発特別費

2025 年度の情報共有システムの基盤構築においては、各委員会へのヒアリング等を通じて、委員の事務作業負担の大きさや情報管理の属人化といった学会運営上の課題を明確化した。これらの課題を解決するためのシステムとして、柔軟性と拡張性に優れた SaaS サービスとして「Notion」を採用し、Notion 上で実効性の高いシステムを確実かつ迅速に構築すべく、Notion 正規代理店である CloudNative 社へコンサルティング業務を委託した。これは当初の DB 構築等予算(特別費予算 1700 万円のうち当初は 900 万円を計上)の一部を有効活用したものであり、問い合わせ管理やタスク管理などの基本機能のプロトタイプ開発を完了している。2026 年 6 月には理事・委員向けに提供を開始し学会運営の効率化に貢献する予定である。

会員管理システムのプロトタイプ開発においては、若年層会員（ジュニア・ユース会

員)の獲得を初期ターゲットとして計画を推進した。複数製品を比較検討した結果、導入コストと保守性に優れる「SmartCore」を採用し、ジュニア・ユース会員に特化したスモールスタート方式で開発に着手した。その結果、当初予算(特別費予算 1700 万円のうち 800 万円を計上)に対して初期開発費用を約 40 万円程度と大幅に抑制しつつ、2025 年 11 月より新システムの安定稼働を実現した。月額約 4.5 万円(税込)の運用費でイベント管理や会員限定コンテンツ作成(CMS)といった必要機能が充足していることを確認しており、今後は前述のバックエンドシステム(Notion)との連携も視野に、低コストかつ持続可能な全会員向け情報基盤の発展を計画している。

次に 2025 年度特別費予算と実績値(円)を示す。一部事業については、当初想定していた制作・開発・運用段階に直ちに移行するのではなく、制度設計、関係者調整、基盤選定、ブランド設計等を優先したため、2025 年度中の執行額は限定的となった。これらは事業中止ではなく、2026 年度以降の本格実施に向けた準備段階として位置づけられる。

2025 年度特別費	予算	実績
コンテンツ提供の質向上を目指した体制構築	4,090,000	2,843,500
AI 事典および AI マップのコンテンツ強化と無償公開	5,500,000	150,600
人工知能学会ウェブサイトのリブランディングと刷新	9,005,000	2,607,000
共同通信社共催のコンペティション企画	1,700,000	0
ビジネス層向けプレミアムセミナーの企画・立案	4,000,000	0
会員情報管理のための基盤システム強化	17,000,000	5,777,393
小計	41,295,000	11,378,493

以上

2025 年度監査報告

一般社団法人 人工知能学会

会長 栗原 聡 殿

私たち監事は、当学会の 2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの 2025 年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 99 条第 1 項（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 197 条において準用する同法第 99 条第 1 項）及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 36 条及び第 45 条（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 64 条において準用する同規則第 36 条及び第 45 条）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当学会の主たる事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当学会の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録等は、当学会の財産及び損益の状況を全て重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2026 年 5 月 21 日（木）

監事 立堀 道昭



監事 森田 千絵



2026年度事業計画書

一般社団法人人工知能学会の定款第2章に定められた目的及び事業に沿って、以下の事業を実施する。

1. 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款4条1号）

第40回全国大会 JSAI2026 を、2026年6月8日(月)～6月12日(金)の5日間、Gメッセ群馬ならびにオンライン形式で開催する。大会期間中の6月10日(水)に40周年記念イベントならびに式典をエテルナ高崎・ヴァンペールならびにアリーで開催する。また、第18回国際シンポジウム JSAI-isAI2026 を全国大会と併催する。

第16回合同研究会 SIGAIs2026 を2026年12月に慶應義塾大学日吉キャンパスならびにオンライン形式で開催する。

第8回産学クロススクエア SIAI8 を、2026年9月に東京で開催する。

セミナーは一般セミナー6回、多様性・包摂推進に関するセミナーの開催を予定しており、いずれもオンラインでの実施を予定している。
2. 学会誌、論文誌その他の刊行物の発行（定款4条2号）

学会誌「人工知能」は、引き続き本年度も魅力ある雑誌作りを目指して、タイムリーな特集記事やホットなテーマの解説などで内容の充実をはかるとともに、Kindle版の販売に注力する。一方、論文誌は、論文特集を積極的に企画して投稿論文の増加をはかる。

本会英文誌としての New Generation Computing では、世界中からの投稿論文を積極的に掲載し、独自の特集を企画することに加え、人工知能学会誌の特集記事の英語化や、全国大会および国際ワークショップ論文の掲載を進めることで、学会活動との連携を強めていく。
3. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条3号）

本年度は業績賞、功労賞、現場イノベーション賞、論文賞、研究会優秀賞、全国大会優秀賞を贈呈し、人工知能に関する学術およびその応用研究に対する一層の発展を奨励する。
4. 研究及び調査（定款4条4号）

研究会は、通常の単独開催のほかに、全国大会でのオーガナイズドセッションの開催、他学会の研究会との同時開催や連続開催を企画して学会活動の活性化・多様化をはかる。また、本年度も合同研究会2026を開催し、研究会間の交流をはかる。
5. 国内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款4条5号）

関連団体の開催する各種イベントなどを共催・協賛・後援することにより学会活動の活性化と多様化を推進する。
6. その他、本法人の目的を達成するために必要な事業（定款4条6号）

ホームページとメーリングリストやSNSを介した広報活動や動画コンテンツの提供を通して新規入会者の勧誘を促進する。また、人工知能分野でのコンペティション活動を活性化するため、コンペティション企画への助成活動を行う。

(1) 学術集会、学術講演会、講習会等の開催（定款4条1号）

① 第40回全国大会 JSAI2026

以下の通り現地参加とオンライン参加が可能なハイブリッド形式での開催を予定している。

- ・日 時：2026年6月8日(月)～12日(金)
- ・場 所：Gメッセ群馬+オンラインのハイブリッド形式
- ・組 織：

大会委員長	小野 智弘 (KDDI 総合研究所)
大会副委員長 (実行委員長)	倉島 健 (NTT)
大会副委員長 (プログラム委員長)	小町 守 (一橋大学)
実行副委員長	大向 一輝 (東京大学)
プログラム副委員長	櫻井 祐子 (名古屋工業大学)
実行委員長補佐	赤木 康紀 (NTT)

プログラム委員長補佐

鈴木 浩子 (富士通)

委員：國領 二郎，神保 良弘，鎌田 一郎，柴田 博仁，安保 勲人，西澤 直樹，梶 洋隆，渋谷 潮，永塚 光一，清水 紘輔，古屋 有紀子，瀬下 大輔，葛木 美紀，熊谷 雄介，長谷川 拓，遅 蘇琳，林 勝悟，長野 匡隼，井田 安俊，太刀岡 勇氣，松野 竜太，齊藤 史哲，藤崎 樹，森 隼基，山本 頼弥，峯 岸 朋弥，高田 亮介，大社 綾乃，本武 陽一，榎 剛史，徐 哲林，安木 駿 介，新 恭兵，南部 優太，白石 壮馬，LI JINGHONG，瓦 祐希，中村 拓 紀，辻村 有輝，松嶋 達也，浪越 圭一，堀口 維里優，高橋 泰平，沼田 哲 史

- ・基調講演：「人工知能とビジネスシステムアーキテクチャの共進化」 國領 二郎
(共愛学園前橋国際大学／慶應義塾大学)
- ・特別講演：「AI の現在地と次の挑戦：科学・工学・社会の交点から」 岡野原 大輔
(株式会社 Preferred Networks／Matlantis 株式会社)
- ・招待講演：「東大，東京科学大，早稲田大，慶應大学長対談」
- ・招待講演：「JST，NEDO，NICT，JSPS トップ対談」
- ・招待講演：「ホンダ，オムロン，KDDI，ソニートップ対談」
- ・チュートリアル (4 件)
「人-AI/ロボット共生社会に向けた感情のモデリング」 日永田 智絵 (電気通信大学大学院)
「人間中心の意思決定支援 AI」 馬場 雪乃 (東京大学大学院総合文化研究科)
「発達ロボティクスの視点と Physical AI の関係」 尾形 哲也 (早稲田大学)
「ソーシャルメディアの分析手法」 鳥海 不二夫，中条 雅貴 (東京大学大学院)
- ・企画セッション (47 件)
「製造業の未来と AI」
「人工知能学会 若手交流会：失敗談から学ぶ研究プロセス」
「機密コンピューティングが切り拓く信頼できる AI の社会基盤」
「AI for Science の新たな地平」
「ジュニア・ユース世代のための人工知能学会の取組と展望」
「学習理論におけるゲーム理論のフロンティア」
「2030 年の製薬企業を創る ～AI が描く業務変革と創薬支援～」
「「信頼される AI」から「共生 AI」へ」
「大規模家庭電力データと AI 解析の融合：20 万世帯の実データがもたらす研究展望」
「地球に生きる AI：GeoAI と私たちの暮らす社会について」
「企業ではどのように医療 AI 研究をしているのか？～医療における NLP 活用～」
「人工知能学会英文誌 New Generation Computing 企画甘利俊一先生京都賞受賞記念特集号
とニューラルネット研究の展望」
「JSAI インタビュー集『人工知能と哲学と四つの問い』が提起する人工知能のこれからの課題」
「政治学・経済学の観点からみた AI 活用とトラスト形成」
「モノづくりデータサイエンス基盤」
「瞑想と AI」
「特許・国際標準・政策の多角的考察」
「アニメづくりを支える情報技術のこれから～AI「以前」の課題を 解決するには？」
「AI によって広がる実世界での時空間データの利活用」
「人工知能とコンペティション」
「生成 AI・プレプリント時代における研究成果公開の再設計 — トップカンファレンス文化は
どこへ向かうのか」
「【文部科学省/JST-CRDS 共催】AI for Science が拓くこれからの日本の科学研究」
「ERATO「鳥海情報ウェルビーイングプロジェクト」キックオフシンポジウム」
「EU AI Act と整合標準の最新動向」

- 「人文社会学×AI の現在地と展望： HUMAI の実践から考える」
- 「集会的予測符号化と新たな知性の時代」
- 「産総研 AITeC データサイエンスコンテストの実践と展開」
- 「「生きる」という文脈で生成 AI を考える」
- 「観光情報データチャレンジ第 2 回：生成 AI による観光データ活用」
- 「Frontier AI はどこへ向かうか？」
- 「リアルライフ・インテリジェンス ～日常生活のフィジカルデータに基づく価値共創のプラットフォーム基盤に向けて～」
- 「40 周年記念企画 1：地球惑星科学における AI の最前線 (GeoSciAI)」
- 「40 周年記念企画 2：計算創律科学研究会 (CSS) の創立：スケールする AI とその未来」
- 「40 周年記念企画 3：人工知能学会寄席」
- 「40 周年記念企画 4：次世代の「AI for Science」～何を目指し、どう進めるか～」
- 「40 周年記念企画 5：本来あるべき AI 利活用へのアクセルとブレーキとは？」
- 「40 周年記念企画 6：人狼知能コンテスト 2026 国内大会」
- 「40 周年記念企画 7：日本の人工知能の歴史の再構築に向けて」
- 「40 周年記念企画 8：30 周年から 40 周年を経て 50 周年に向けて」
- 「40 周年記念企画 9：シンギュラリティサロン 10 年の軌跡—市民との対話が拓く知性共生」
- 「40 周年記念企画 10：JSAI・共同通信社連携企画「ニュースデータ x AI・知の共創プロジェクト」」
- 「40 周年記念企画 11：CEDEC x 人工知能学会「ゲーム産業と人工知能学会のシナジーに向けて」」
- 「40 周年記念企画 12：次世代の AI とロボット研究の将来像を共に描く学会連携の展望」
- 「40 周年記念企画 13：AI との共生・協調を考える — 生態学・双方向アライメントの視点から」
- 「40 周年記念企画 14：編集委員会企画「人工知能学会誌のこれまでとこれから」」
- 「40 周年記念企画 15：SF の想像力はこれからの教育に何を為しうるか」

- ・学生企画「エージェントとしての AI の信頼性と責任：AI の挙動理解と人間・社会との適切な関係構築の可能性」
原 聡 (電気通信大学)，大澤 博隆 (慶應義塾大学)，小山田 昌史 (日本電気株式会社)

・特別プレゼンテーション	10 発表
・インダストリアルセッション	5 セッション (ロング 24 社，ショート 12 社)
・ランチョンセミナー	11 社
・企業展示	149 社 (149 ブース)
・スポンサー	プレゼンティング 2 社，ビジョン 2 社，コア 12 社 プラチナ 69 社，ゴールド 70 社，シルバー 10 社
・メディア協賛 3 社	
・発表予定件数合計	1,537 件
国際セッション	42 件 (7 セッション)
一般セッション	411 件 (71 セッション)
オーガナイズドセッション	444 件 (76 セッション)
ポスターセッション	640 件 (8 セッション)

② 2027 年度以降の全国大会に向けた準備

2027 年度全国大会：

体制：和泉 潔 大会委員長 (東京大学)，大向 一輝 実行委員長 (東京大学)，
櫻井 祐子 プログラム委員長 (名古屋工業大学)

2027 年 6 月 8 日(火)～12 日(金)，出島メッセ長崎において開催を予定。全国大会実施に向けて、オーガナイズドセッション募集，企画セッション募集，論文募集，基調講演や招待講演，特別

講演等の企画立案，スポンサー募集，聴講参加募集，等を進める。

2028年全国大会：

体制：次期実行委員長（新任担当理事），次期プログラム委員長（新任担当理事）

2028年度の開催会場を検討する。

③ 第18回国際シンポジウム（JSAI International Symposia on AI, JSAI-isAI 2026）

- ・日時：2026年6月7日(日)～9日(火)（全国大会の会場で実施・併催する）
- ・場所：Gメッセ群馬+オンラインのハイブリッド形式
- ・組織：企画委員会（国際化）：森永 聡 委員長（NEC），中野 有紀子 副委員長（成蹊大学），東野 克哉 委員
- ・構成：3ワークショップ構成

WS1: Ninth International Workshop on Scientific Document Analysis (SCIDOCA2026)

WS2: Nineteenth International Workshop on Juris Juris-informatics (JURISIN2026)

WS43 International Workshop on Artificial Intelligence of and for Business (AI-Biz2026)

④ セミナー・入門講座の開催

企画委員会（セミナー）：刑部 好弘 委員長（日立製作所），副委員長（新任担当理事），丹羽 彩奈（MBZUAI），太田 真人（電通総研），アドバイザー他
第100回～第105回人工知能セミナーを実施予定。

⑤ SIAI 産学クロススクエア「未来をつくるAI人材」の第8回の開催

産業界連携委員会：土方 嘉徳 委員長，山田 健太郎，板井 光輝，岩井千妃呂，大西 一貫，片上 大輔，谷口 晋平，東本 崇仁，由井 成和
産業技術総合研究所臨海副都心センターにおいて，9月18日～19日に開催する。

(2) 学会誌，論文誌，その他の刊行物の発行（定款4条2号）

① 人工知能学会誌・論文誌編集委員会

狩野 芳伸 論文誌委員長（静岡大学），馬場 雪乃 学会誌編集委員長（東京大学）

編集委員会は，委員長2名，副委員長2名の他に，7名（前年度比+1名）のシニア編集委員，37名の正規編集委員（前年度比-1名），9（前年度比+2名）の学生委員で構成されている。
学会誌，論文誌をそれぞれ社会のニーズの変化，学会がカバーすべき分野の広がりなどに対応するため，既に2024年7月から実施しているように，増員を図って学会誌，論文誌委員会が分化した体制で推進している。それぞれの編集作業を強化するとともに，学会の多様なステークホルダーにリーチするための施策に注力することを計画している。

学会誌：

発行年月日	備考
2026年5月1日 Vol. 41, No. 3 発行部数：6,450 ページ数：150	巻頭言／特集「インタラクティブAI」／特集「学会誌40周年記念特集」／ レクチャーシリーズ／表紙解説
2026年7月1日 Vol. 41, No. 4 発行部数：6,500 ページ数：150	巻頭言／特集「伝統芸能と人工知能」／特集「学会誌40周年記念特集」／ レクチャーシリーズ／表紙解説

2026年9月1日 Vol. 41, No. 5 発行部数：6,500 ページ数：150	巻頭言／特集「高専における人工知能の教育と研究」／特集「2025年度研究会優秀賞受賞論文紹介」／特集「学会誌40周年記念特集」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2026年11月1日 Vol. 41, No. 6 発行部数：6,500 ページ数：200	巻頭言／特集「2026年度人工知能学会全国大会（第40回）」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2027年1月1日 Vol. 42, No. 1 発行部数：6,500 ページ数：150	巻頭言／特集「編集委員今年の抱負2027」／特集「人工知能分野における博士論文－博士論文に見る研究テーマの動向－」／レクチャーシリーズ／表紙解説
2027年3月1日 Vol. 42, No. 2 発行部数：6,500 ページ数：150	巻頭言／特集／特集／レクチャーシリーズ／表紙解説

人工知能学会論文誌：

(独) 科学技術振興機構のJ-Stageを利用してオンラインジャーナルを随時発行する。

URL： <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsai-char/ja>

- ・ アブストラクトを会誌第41第6号に掲載

② New Generation Computing (英文論文誌)

Springer社との共同発行による国際誌New Generation Computing (NGC)の編集を担うとともに、JSAIの各活動(全国大会、研究会、学会誌、セミナーなど)と有機的に連携し、NGC掲載論文の質の向上、掲載件数の増加、JSAIの国際的プレゼンス向上に資する諸活動を実施する。

③ 出版委員会：栗原 聡 委員長 (慶應義塾大学)

人工知能学会が主体となるべき事典や書籍の出版や、研究会やセミナーなどの学会活動を対象として書籍出版化の企画を立案・実施することを目的とする。AI事典・AIマップ活用のためシステム開発を予定している。

(3) 研究の奨励および研究業績の表彰 (定款4条3号)

(1) 2026年度功績賞・功労賞・フェロー認定 (第42回定時社員総会で表彰の予定：2027年6月)

学会規程に基づき、正会員による候補の推薦および業績賞・功労賞・フェロー選定委員会(委員長：小野 智弘 副会長)の審査を経て、2027年4月理事会で受賞者を選定する予定。

(2) 2026年度現場イノベーション賞 (第42回定時社員総会で表彰の予定：2027年6月)

学会規程に基づき、正会員による候補の推薦および現場イノベーション賞選定委員会(委員長：小野 智弘 副会長)の審査を経て、2027年4月理事会で受賞者を選定する予定。

(3) 2026年度論文賞 (第42回定時社員総会で表彰の予定：2027年6月)

学会規程に基づき、論文誌第41第1号～第6号に発表された論文を対象に、正会員による候補の推薦および論文賞選定委員会(委員長：論文誌編集委員長)の審査を経て、2027年4月理事会で受賞者を選定する予定。

(4) 2026年度研究会優秀賞 (第42回定時社員総会で表彰の予定：2027年6月)

学会規程に基づき、2026年度の研究会で発表された論文を対象に、各委員会による候補の推薦およ

び研究会優秀賞選定委員会（委員長：研究会運営委員長）による審査を経て，第 439 回理事会で受賞者を選定する予定。

(5) 2026 年度全国大会優秀賞（人工知能学会誌 Vol. 41, No. 6 で表彰：2026 年 11 月 1 日発行）

全国大会表彰規程に基づき，全国大会開催期間 2026 年 6 月 8 日から 6 月 12 日までに発表された全件を対象に，プログラム委員，各セッションの座長，評者，オーガナイザによる候補の推薦および全国大会優秀賞選定委員会（委員長：プログラム委員長）による審査を経て，理事会で受賞者を選定する予定。

(4) 研究および調査の実施（定款 4 条 4 号）

① 第 1 種研究会（研究会運営委員会：清水 仁 委員長，原 聡 副委員長，新任担当理事）

(1) 人工知能基本問題研究会（略称 SIG-FPAI）

主査：西野 正彬（NTT），主幹事：戸田 貴久（電気通信大学）

幹事：原田 崇司（高知工科大学），金森 憲太郎（富士通），塩田 拓海（兵庫県立大学），明石 望洋（京都大学）

第 137 回 9 月 テーマ「未定」 担当：未定

第 138 回 12 月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定

第 139 回 1 月 情報処理学会アルゴリズム研究会と共催予定 担当：未定

第 140 回 3 月 テーマ「未定」 担当：未定

(2) 知識ベースシステム研究会（略称 SIG-KBS）

主査：伏見 卓恭（東京工科大），主幹事：横山 想一郎（北大）

幹事：山本 泰生（静岡大），原田 恵雨（苫小牧工業高専），福井 健一（関西大）

専門委員：大城 絢子（沖縄国際大），尾崎 知伸（日大），金城 敬太（共立女子大），鷹野 孝典（神奈川工科大），木村 昌弘（龍谷大）

第 138 回 8 月 テーマ「未定」，関西大 担当：福井，伏見

第 139 回 12 月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：山本，伏見

第 140 回 3 月 社会システムと情報技術研究ウィーク 担当：横山，原田

(3) 言語・音声理解と対話処理研究会（略称 SIG-SLUD）

主査：小磯 花絵（国立国語研），主幹事：井上 昂治（京大）

幹事：宮崎 千明（ソニーグループ），牧野 遼作（早大），石井 亮（NTT），落合 哉人（国立国語研），山本 賢太（阪大）

専門委員：赤間 怜奈（東北大），稲葉 通将（電通大），臼田 泰如（静岡理工大），堅田 俊（阪大），黒嶋 智美（玉川大），酒井 晴香（東京国際大），佐藤 志貴（サイバーエージェント/東北大），田頭 未希（東海大），角森 唯子（NTT），北条 伸克（NTT）

宮本 友樹（電通大），有本 泰子（千葉工業大），坂井田 留衣（函館未来大）

第 107 回 8-9 月 テーマ「未定」 担当：宮崎

第 108 回 11-12 月 第 17 回対話システムシンポジウム 担当：井上

第 109 回 2-3 月 テーマ「未定」 担当：未定

(4) 先進的学習科学と工学研究会（略称 SIG-ALST）

主査：主査：東本 崇仁（千葉工業大），主幹事：古池 兼人（神奈川大）

幹事：山本 頼弥（静岡大），田和辻 可昌（東大），加藤 嘉浩（ベネッセ教育総合研究所）

専門委員：芦田 淳（阪大），油谷 知岐（大阪公立大），岩井 健吾（広島工業大），宇都 雅輝（電気通信大），笠井 俊信（岡山大），小暮 悟（静岡大），小島 一晃（帝京大），小西 達裕（静岡大），島田 敬士（九州大），林 佑樹（大阪公立大），林 勇吾（立命館大学），林 雄介（広島大），森田 純哉（静岡大），山元 翔（近畿大），吉川 厚（東京工業大）

第107回	7月	テーマ「未定」	担当：未定
第108回	11月	テーマ「未定」	担当：未定
第109回	3月	テーマ「未定」	担当：未定
10月～11月 第37回教育・学習支援システム若手の会			

② 第2種研究会（研究会運営委員会：清水 仁 委員長，原 聡 副委員長，新任担当理事）

(1) AI チャレンジ研究会（略称 SIG-Challenge）

主査：植村 渉（龍谷大），主幹事：干場 功太郎（東京科学大）			
幹事：鈴木 麗璽（名大），中臺 一博（東京科学大），光永 法明（大阪教育大）			
第69回	5月	ロボカップジャパンオープン併催予定	担当：植村，光永
第70回	12月	テーマ「未定」	担当：干場，鈴木，中臺
12月 HARK 講習会を AI チャレンジ研究会主催で開催予定、合同研究会内での開催検討			

(2) ことば工学研究会（略称 SIG-LSE）

主査：阿部 明典（千葉大），主幹事：福島 宙輝（神戸大）			
幹事：小野 淳平（青森大），笠原 要（NTT），林 侑輝（米子高専）			
第80回	8-9月	テーマ「未定」	担当：未定
第81回	12月	テーマ「未定」	担当：未定
第82回	2-3月	テーマ「未定」	担当：未定

(3) コモンセンスと感情研究会（略称 SIG-CSE）

主査：桐山 伸也（静岡大），主幹事：石川 翔吾（静岡大）			
幹事：佐藤 久美子（玉川大），沢井 佳子（チャイルド・ラボ）			
第10回	7月	テーマ「未定」，東京	担当：未定
第11回	12月	合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス	担当：未定
第12回	3月	テーマ「未定」，浜松	担当：未定

(4) 身体知研究会（略称 SIG-SKL）

主査：松浦 慶総（横国大），主幹事：大海 悠太（東京工芸大）			
幹事：今宿未悠（詩人・パフォーマンスアーティスト），榎本 美香（東京工科大），香山 瑞恵（信州大），児玉 謙太郎（都立大），清水 大地（神戸大），白水 始（国立教育政策研究所），諏訪 正樹（慶大），永井 孝（ものづくり大学），堀内 隆仁（元慶大），松田 浩一（岩手県立大），山田 雅之（九州工業大），松原正樹（筑波大）			
第49回	5-7月	テーマ「未定」，都外	担当：未定
第50回	10-11月	テーマ「未定」，都内	担当：未定
第51回	2-3月初旬	テーマ「未定」，都内	担当：未定

(5) ナチュラルコンピューティング研究会（略称 SIG-NAC）

主査：今井 克暢（福山大），主幹事：鈴木 泰博（名大）			
幹事：秋田 大（東大），吉田 彩乃（札幌市立大），笹井 一人（茨城大），磯川 悌次郎（兵庫県立大），萩谷 昌己（東大）			
第45回	12月	合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス	担当：未定
第46回	未定	北海道	担当：未定

(6) 金融情報学研究会（略称 SIG-FIN）

主査：坂地 泰紀（北大），主幹事：中川 慧（大阪公立大）			
幹事：落合 友四郎（大妻女子大），平松 賢士（アイフィスジャパン），水門 善之（慶大），佐野 仁美（一橋大），真鍋 友則（SOMPO リスクマネジメント），平野 正徳（Preferred Networks），高野 海斗（野村アセットマネジメント）			
第37回	10月	テーマ「未定」，東京・ハイブリッド	担当：未定
第38回	春	テーマ「未定」，東京・ハイブリッド	担当：未定

(7) 知識と技能のモデル化と活用研究会（略称 SIG-MAKS）

主査：稗方 和夫（東大），主幹事：古川 慈之（産総研）			
-----------------------------	--	--	--

- 幹事：坂口 憲一（フリーランス），松尾 宏平（海上技術安全研究所），笈田 佳彰（富士通）
- 第6回 7月 テーマ「未定」 担当：稗方
- 第7回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：古川
- 第8回 3月 テーマ「未定」 担当：稗方
- (8) 知識流通ネットワーク研究会（略称 SIG-KSN）
- 主査：竹内 広宜（武蔵大），主幹事：樫山 淳雄（東京学芸大）
- 幹事：岡本 青史（富士通），小林 紀之（富士通），津田 和彦（筑波大），小林 展英（デンソークリエイト），桑田 喜隆（室蘭工業大），神戸 雅一（NTT データ）
- 第39回 9月 テーマ「未定」 担当：未定
- 第40回 3月 テーマ「未定」 担当：未定
- (9) セマンティックウェブとオントロジー研究会（略称 SIG-SWO）
- 主査：砂川 英一（東芝），主幹事：三原 鉄也（筑波大）
- 幹事：江上 周作（産総研），山口 敦子（東京都市大）
- 第69回 8月 テーマ「未定」，合宿形式を検討中 担当：未定
- 第70回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
- 第71回 3月 テーマ「未定」 担当：未定
- (10) ビジネス・インフォマティクス研究会（略称 SIG-BI）
- 主査：寺野 隆雄（千葉商科大），主幹事：高橋 大志（慶大）
- 幹事：倉橋 節也（筑波大），太田 明（東京都市大），小林 知巳（小林マネジメント研究所／早大），菱山 玲子（早大），鳥山 正博（明治大）
- 第29回 9月 テーマ「未定」 担当：高橋，倉橋，太田
- 第30回 3月 テーマ「未定」 担当：太田，高橋，倉橋
- 6月 JSAI-isAI2026 AI-Biz2026 担当：倉橋，高橋
- (11) 人工生命研究会（略称 SIG-ALIFE）
- 主査：岡 瑞起（筑波大），主幹事：橋本 康弘（会津大）
- 幹事：鈴木麗壘（名大），Olaf Witkowski（Cross Labs），鈴木 啓介（北大），一ノ瀬 元喜（静岡大），西本恵 太（東大），小島 大樹（東大）
- 第11回 未定 テーマ「未定」 担当：未定
- 第12回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
- (12) 医用人工知能研究会（略称 SIG-AIMED）
- 主査：津本 周作（島根大），主幹事：矢入 郁子（上智大），古崎 晃司（大阪電通大）
- 幹事：今井 健（東大），井上 謙一（湘南記念病院），大原 剛三（青山学院大），小林 泰之（聖マリアンナ大），野里 博和（産総研），伊東杏花里（NTT）
- 第17回 6-7月 テーマ「未定」，東京 担当：未定
- 第18回 12月 合同研究会 2025 担当：未定
- 第19回 3月 医療情報学会「医用人工知能研究会」との合同開催予定 担当：未定
- 第46回医療情報学連合大会(第25回日本医療情報学会学術大会)
医療情報学会「医用人工知能社会実装研究会」との共同企画を検討
- (13) インタラクティブ情報アクセスと可視化マイニング研究会（略称 SIG-AM）
- 主査：砂山 渡（関西大），主幹事：柴田 祐樹（都立大）
- 幹事：阿部 明典（千葉大），森 辰則（横国大），高間 康史（都立大），西原 陽子（立命館大），笹嶋 宗彦（兵庫県立大），安藤 雅行（立命館大），安尾 萌（立命館大）
- 第37回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
- 第38回 3月 テーマ「未定」 担当：未定
- 6月 JSAI2026 オーガナイズドセッション(OS-6)「大規模言語モデルとデータサイエンス」
- (14) 市民共創知研究会（SIG-CCI）
- 主査：白松 俊（名工大），主幹事：福田 直樹（静岡大）

幹事：藤田 桂英（東京農工大），堀田 竜士（日本エヌ・ユー・エス），三井 実（ミテモ），
小野地 光弘（NPO 法人ボラみみより情報局／ミテモ），長澤 史記（名工大）

第 18 回 7 月 テーマ「地域文化と共創」，遠野市 担当：白松
第 19 回 11 月 テーマ「未定」 担当：未定
第 20 回 3 月 テーマ「未定」 担当：未定
中部科学技術センターの中高生向けワークショップにも引き続き協力予定
NPO 法人ボラみみより情報局との連携イベントを検討

(15) 汎用人工知能研究会（略称 SIG-AGI）

主査：山川 宏（全脳アーキテクチャ・インシアティブ），主幹事：ジェプカ ラファウ（北大）
幹事：荒川 直哉（全脳アーキテクチャ・インシアティブ），嶋田 悟（エアロセンス），船越 孝太郎（東京科学大）

第 33 回 7 月 テーマ「未定」 担当：ジェプカ
第 34 回 12 月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：荒川
第 35 回 3 月 テーマ「未定」 担当：船越
AGI 輪読会 12 回（毎月） 担当：嶋田

(16) 計測インフォマティクス研究会（SIG-MEI）

主査：鷲尾 隆（関西大），主幹事：岡田 真人（東大）
幹事：赤井 一郎（熊本大），今村 岳（物質・材料研究機構），上野 玄太（統計数理研究所）
小野 峻佑（東京科学大），小松崎 民樹（北大），篠塚 寛志（物質・材料研究機構）
原 聡（電気通信大）

第 10 回 8 月 テーマ「未定」 担当：未定
第 11 回 3 月 テーマ「未定」 担当：未定
科学技術振興機構(JST)が開催する情報計測オンラインセミナーと連動しパネルセッション開催

(17) 安全性とセキュリティ研究会（SIG-SEC）

主査：榊 剛史（ホットリンク），主幹事：大坪雄平（内閣官房／警察庁）
幹事：小澤 誠一（神戸大），菅 和聖（日本銀行金融研究所），高橋 健一（鳥取大），田村 傑
（経済産業研究所），溝口 誠一郎（DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン）

第 5 回 7 月 IEICE/IPSJ/JSAI セキュリティサマーサミット連催担当：未定
第 6 回 12 月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
10 月 CSS AWS（情報処理学会コンピュータセキュリティシンポジウム(CSS)）
10 月 第 3 回 AI セキュリティワークショップ(AWS)
1 月 SIG-SEC 協賛 SCIS2027

AI Security and Privacy Workshop (AISP2026)を is.AI 併設ワークショップとして開催予定
The3rd International Conference on Artificial Intelligence Computing and Systems

(AICompS 2026)を日本で計画中(6月頃)

第4回SIG-SEC国際シンポジウム(2027年1月頃)

(18) スマートマニュファクチャリングとシステム健全性管理研究会（SIG- SSMHM）

主査：矢入 健久（東大），主幹事：植野 研（東芝），堤 誠司（宇宙航空研究開発機構）
幹事：今村 誠（東海大），増田 新（京都工芸繊維大），飯野 翔太（スペースデータ），井上 道
雄（MathWorks Japan），棗田 昌尚（NEC），富永 晃司（宇宙航空研究開発機構），
濱戸 昭太郎（宇宙航空研究開発機構），武石 直也（東大），栗山 俊通（三菱電機）

第 5 回 7 月 テーマ「未定」 担当：井上，飯野
第 6 回 12 月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：棗田，富永

6 月 JSAI2026 オーガナイズドセッション(OS-38)「AI によるスマートマニュファクチャリング
と健全性管理」

(19) パーソナル AI 研究会（SIG-PAI）

主査：橋田 浩一（理研），主幹事：白松 俊（名工大）
幹事：門倉 悠真（東芝），松原 勇介（理研），谷沢 智史（東大）

- 第4回 夏頃 テーマ「パーソナルAI全般」 担当：未定
 第5回 秋頃 テーマ「パーソナルAIと知識グラフ」 担当：未定
 第6回 冬頃 テーマ「グラフ文書に基づく学術研究」 担当：未定

(20) 計算創律科学研究会 (SIG-CSS)

- 主査：栗原 聡 (慶大)，主幹事：狩野 芳伸 (静岡大)
 幹事：坂地 泰紀 (北大)，諏訪 博彦 (NAIST)，久野 遼平 (東大)
 第3回夏-秋頃 テーマ「未定」 地方 担当：未定
 第4回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定

(21) データ協創研究会 (SIG-DC)

- 主査：早矢仕 晃章 (一橋大)，主幹事：藤田 幸久 (トヨタ自動車)
 幹事：松島 裕康 (滋賀大)，諏訪 博彦 (NAIST)，三木 朋和 (日経新聞)
 第3回 9月 テーマ「未定」 担当：早矢仕，藤田
 第4回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：早矢仕，藤田
 第5回 3月 社会システムと情報技術研究ウィーク 担当：早矢仕，藤田

(22) AIサイエンティスト・メタサイエンス研究会 (SIG-SciMeta)

- 主査：神楽坂 やちま (東大)，主幹事：大江 力 (東北大)
 幹事：高木 志郎 (独立研究者)，山田 涼太 (Science Aid)，徳山 健斗 (中外製薬)，尾崎 遼 (筑波大)
 第1回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
 6月 JSAI2026 オーガナイズドセッション，企画セッション
 論文輪読会 月1回

(23) 地球惑星科学におけるAI研究会 (略称 SIG-GeoSciAI) 2026年4月第三種より移行

- 主査：津本 周作 (島根大)，主幹事：飯田 佑輔 (新潟大)，是枝 祐太 (日立製作所)
 幹事：高橋 幸弘 (北大)，福井 健一 (関西大)，長尾 大道 (東大)，中野 満寿男 (海洋研究開発機構)
 第3回 12月 合同研究会 2026 慶大 日吉キャンパス 担当：未定
 3月～5月コンペティション「GeoSciAI 2026」の開催
 6月 地球惑星科学におけるAI最前線人工知能学会全国大会40周年記念企画セッション

(24) データ指向構成的社会AI研究会 (SIG-DOCSAI) 2026年4月設立 SAIとDOCMAS統合

- 主査：諏訪 博彦 (NAIST)，主幹事：清水 仁 (神戸高専)
 幹事：小川 祐樹 (都市大)，大原 剛三 (青山学院大)，岩田 員典 (愛知大)，中島 智晴 (大阪公立大)，林 久志 (産業技術大学院大学)，櫻井 瑛一 (産総研)，池田 圭祐 (NEC)，坂地 泰紀 (北大)，鳥海 不二夫 (東大)，服部 宏充 (立命館大)
 年に1回研究会開催
 年に1回シンポジウム開催
 SIG-SAIにて開催していたロボカップを継続して開催

(25) デジタルゲームAI研究会 (SIG-DG-AI) 2026年4月設立

- 主査：三宅 陽一郎 (東京藝術大)，主幹事：森 友亮 (東大)
 幹事：松原 仁 (京都橘大)，伊藤 毅志 (電通大)，美添 一樹 (九州大)，堀川 勉 (京都橘大)，大戸 友博 (ソニー・インタラクティブエンタテインメント)，森川 幸人 (モリカトロン)，伊原 滉也 (サイバーエージェント)，濱田 直希 (サイバーエージェント)
 人工知能学会大会において、本研究会の研究領域をテーマとするセッションを開催
 合同研究会において本研究会の主催するセッションを設ける
 年に1回研究会開催
 学会誌・論文誌などで「デジタルゲームAI」をテーマとする特集を行う

(26) 文化人類学的アプローチによるAI開発・活用研究会 (SIG-EAA) 2026年4月設立

主査：安松 健（エボルブ／大阪教育大），主幹事：生田 研一（横須賀市副教育長）
幹事：阪口 奨（シナジーマーケティング）
年に2回合同研究会など研究会開催

③ 第3種研究会（研究会運営委員会：坂地 泰紀 委員長，中臺 一博 副委員長，新任担当理事）

(1) AI ペディアと AI マップ研究会（略称 SIG-AIPM）

主査：大向 一輝（東大），主幹事：本村 陽一（産総研）

幹事：清田 陽司（麗澤大），栗原 聡（慶大），砂川 英一（東芝）

6月 人工知能学会全国大会企画セッション JSAI・共同通信社連携企画『ニュースデータ×AI

・知の共創プロジェクト』 担当：大向

一般向けコンペ表彰予定

研究会開催予定（夏～秋）

他研究会との共催、合同研究会への参加を検討

④ 合同研究会 2026（SIGAIs 2026）

・体制：原 聡 実行委員長，清水 仁 副実行委員長，新任担当理事
運営委員会、参加研究会の主査・主幹事

・日 時：2026年12月3日(木)～5日(土)

・場 所：慶應義塾大学日吉キャンパスならびにオンラインのハイブリッド形式

・参加予定研究会：約16研究会（27研究会中）

⑤ 特別支援

・AI チャレンジ研究会

「ロボット聴覚」に関連してロボット聴覚用オープンソースソフトウェア HARK に関する講習会を合同研究会内で開催する。同講習会への金銭的支援を予定している。

(5) 関連学術団体との連絡および協力（定款4条5号）

昨年度に引き続き、他学会との協調（共催，協賛，後援）により学会活動の活性化，多様化を推進する。

(6) 2025年度特別予算に基づく事業（定款4条6号）

別紙

(7) その他，本法人の目的を達成するために必要な事業（定款4条6号）

① 倫理委員会

倫理委員会：清田 陽司 委員長（麗澤大学）

委員：栗原 聡（慶應義塾大学），服部 宏充（立命館大学），中川 裕志（理化学研究所），鳥海 不二夫（東京大学），浅川 直輝（日経 BP），藤井 太洋（SF 小説家），三宅 陽一郎（スクウェア・エニックス），高橋 未玲（CuePoint），大屋 雄裕（慶應義塾大学），神崎 宣次（南山大学）

人工知能に関する倫理に関わる課題を、人工知能学会会員および社会の人々と共有し、健全な人工知能と社会の関係を構築することを目的とする。このために全国大会での企画セッションや独自のシンポジウムなどを実施する。特に子供だけでなく、社会人でのビジネスにおける AI 活用や、安全保障における AI 研究開発についての議論を本格化させる。

② 本会ホームページおよびメーリングリストによる本会活動の広報推進

広報委員会：木村 大毅 委員長（日本アイ・ビー・エム）

今年度の活動は以下を予定している。

1. 学会ロゴも含めた学会全体のリブランディングの実施
2. 人工知能学会 Web サイト (ai-gakkai.or.jp) の安定運用と保守体制の強化
3. YouTube も含めた SNS 運用の体制強化
4. 広報組織体系の整理（広報ハブ機能の創設、委員会の拡大）
5. KPI 設置による収入面での効果の整理

③ 人工知能技術のターミノロジーに関する国際標準化

標準化委員会：清田 陽司 委員長（麗澤大学）

委員：牧田 光晴（LINE ヤフー）、佐久間 洋司（東京大学）、津本 周作（島根大学）、江川 尚志（NEC・産総研）、小倉 博行（日本大学）、坂本 静生（NEC）、杉村 領一（産総研）、鄭 育昌（富士通）、原田 要之助（情報セキュリティ大学院大学）、森川 幸治（LIFESCAPES）

2026 年度全国大会での企画セッションに加えて、より一般的に ISO/IEC42001 の日本語での解説セミナーを実施する。この狙いは、標準化活動の認知向上並びに理解促進を行い、国際的な基準で技術の柔軟な発展と有益な社会基盤形成を目指すものである。また、不定期となるが、AI に関する著作権の取り扱いや AI の安全性、品質等、政府のガイドライン案についての学会内の意見交換会並びに学会としてのパブリックコメントの提出を行っていききたい。

④ 人工知能についての初学者・異分野研究者を対象に人工知能研究の俯瞰と可視化

AI マップ委員会：高野 雅典 委員長（サイバーエージェント）、清水 真理子 副委員長（キリンドルジャパン株式会社）

委員：友野 孝夫（慶應義塾大学）、森川 幸治（LIFESCAPES）、砂川 英一（東芝）、中川西 学（SAMSUNG）、アドバイザー他

「AI マップβ の更新」「AI マップβ 利活用促進」「AI マップβ 書籍化」「AI 事典項目編集作業」を実施する。

・AI マップβ の更新

AI マップβ をベースとして 2026 年度版を作成・公開する

・AI マップβ 利活用促進

ドキュメントの整備・公開

利活用支援イベントの開催（全国大会の企画セッションでのチュートリアルなど）

・AI マップβ 書籍化準備

⑤ コンペティション活動への助成

企画（セミナー）委員会：刑部 好弘 委員長（日立製作所）、石原 祥太郎（日本経済新聞社）、高野 海斗（大阪公立大学）

助成有りトラックは昨年度採択分 → 6 月 JSAI2026 企画セッション「人工知能とコンペティション」内で報告新規採択分 → 春募集（5 月開始）、秋募集（9 月開始）

⑥ 多様性・包摂の推進

多様性・包摂推進委員会：高野 雅典 委員長（サイバーエージェント）

有識者によるオンラインセミナー、全国大会や合同研究会での女性向けランチ会等を実施する。

⑦ 会員向けの新施策の検討

会員施策検討タスクフォース：小野 智弘 TF 長（KDDI 総合研究所）

委員：本村 陽一（産業技術総合研究所）、他

第 4 回アンケートを実施するとともに、各委員会や TF がいつでも結果を利用できるような環境作りも行う。また、継続的に実施するための運営体制も検討する（2026 年度から体制が作れば当該年度より新体制で実施する）。

⑧ ジュニア制度の検討

ジュニア・ユース委員会：小野 智弘 TF 長（KDDI 総合研究所）吉田 香（九州工業大学）
人工知能学会の次世代を担う層の育成のため、以下のビジョン・ミッションのもと、ジュニア向けのサービスや制度の企画立案と推進支援を行う。

【ビジョン】AI とともに未来をひらく次世代のために、「問い、考え、挑戦する力」を育む、知と実践のプラットフォームとなる

【ミッション】AI とともに未来をひらく次世代の、思考力と創造力を育て、挑戦を応援する

2026 年度は新規を含む複数の施策を実施するとともに、①施策告知方法の向上、②世代ごとの施策検討、③アウトソースも含めた持続性を測る。また、スポンサー施策を企画・推進して収入を得る。

⑨ 情報基盤の整備

ステージ 1：業務プロセスの再構築

理事会・委員会活動の型化を進め、業務負担を軽減することで、新たな取り組みを推進する組織的余力を創出する。各種申請、タスク管理、報告、イベント・コンテンツ作成、問い合わせ対応といった定常業務のワークフローを構築・標準化することにより、運営の効率性と再現性を高め、人的リソースをより創造的な活動へとシフトさせる。

ステージ 2：新規サービス創出の基盤構築

ステージ 1 で構築したワークフローをベースとして、新規事業立ち上げに係る申請・管理のワークフロー化を行う。AIPM（事典・マップ）などの知的財産を活用し、会員、ジュニア・ユース会員、企業等向けのサービス・コンテンツを開発・提供する。この検討のベースとして、サイトのアクセスログ分析を可能とし、コンテンツ導線の改善を検討する。

(8) 会議などに関する事項

① 総 会

2026 年度第 41 回定時社員総会を

2026 年 6 月 29 日（月）慶応義塾大学 三田キャンパス 北館 3F 大会議室で開催する予定である。
オンライン参加が可能なハイブリッド開催とする。

予定議案：

- 第 1 号議案 2025 年度事業報告書承認の件
- 第 2 号議案 個人会員の除名処分承認の件
- 第 3 号議案 2025 年度決算書・監事報告書承認の件
- 第 4 号議案 2026 年度事業計画書承認の件
- 第 5 号議案 2026 年度特別予算による事業計画承認の件
- 第 6 号議案 2026 年度収支予算書承認の件
- 第 7 号議案 定款改訂の件
- 第 8 号議案 2026 年度役員選任の件

② 理事会

各月に計 12 回開催する予定としている。

③ 委員会

編集委員会、NGC 編集委員会、研究会運営委員会、企画委員会（国際化、セミナー）、全国大会委員会／実行委員会／プログラム委員会、広報委員会、財務委員会、総務委員会（研究集会審議委員会兼任）、学会賞選定委員会（功績賞・功労賞・フェロー、現場イノベーション賞選定）、標準化委員会、出版委員会、倫理委員会、産業界連携委員会、多様性・包摂推進委員会、AI マップ委

員会, ジュニア・ユース委員会, 等の各種委員会を随時開催の予定.

(9) 2026 年度役員構成(案)

別紙

(10) 2026 - 2027 年度代議員構成

別紙

2026 年度特別予算に基づく事業計画

昨年度に引き続き、一般社団法人人工知能学会の定款第 2 章 6 号(その他、この法人の目的を達成するために必要な事業)に基づき、「40 周年記念企画」および(2)会員コミュニケーションの高度化・拡大」に関する特別予算を組み以下の事業を実施する。

(1)40 周年記念企画

人工知能学会設立 40 周年(2026 年)という節目において、日本の AI 研究分野のさらなる発展・活性化に向けた本学会の貢献をめざし、次の事業に関する費用を計上した。

1. **人工知能学会全国大会会期中における、40 周年記念イベント**(学長・ファンディングエージェンシー・企業対談セッション、40 周年記念関連セッションや招待講演など)や式典の開催、記念クリエイター作品の作成などに関する費用である。また、研究会優秀賞受賞者の全国大会でのポスター発表をサポートするための参加費も計上した。
2. **現行 AI 事典への新規項目追加・ジュニア向け新規 AI 事典編** 昨年度において、40 周年記念企画として人工知能大事典および AI マップのコンテンツ強化と公開について作業を進めるとしたが、ジュニア会員政策との連携、およびホームページのアカウントによる提供サービスの制御への対応を含めた議論を先に進める必要が発生したことから、具体的な作業を開始するには至らなかった。引き続き作業を継続させる計画である。

(2)会員コミュニケーション高度化・拡大

昨年度に引き続き、人工知能学会が会員各位にとってより価値の高い情報収集・人材交流の場となることと、会員・スポンサーの規模をさらに拡大することを目指し、次の事業に関する費用を計上した。

1. **人工知能学会のロゴやウェブサイトなど、デザインのリブランディング** 人工知能学会 40 周年の節目をひとつの機会と捉えて、人工知能学会のロゴ、ウェブサイトなどを貫くデザインを刷新するべく、デザインガイドラインを策定し、ウェブサイトの構築・運営方針を明確化する。これにより、人工知能学会の先進性と魅力をより強く発信できるようにし、学会への参加価値を高める。また、策定したデザインガイドラインに基づき、公式ウェブサイトを再構築する。加えて、現在ウェブサイトを利用している利用者の利便性に配慮し、移行手段を用意する。これにより、学会活動をより効果的に発信できるウェブサイトとする。リニューアル後数ヶ月間必要となる運営費も 26 年度特別費予算として確保する。
2. **エントリー研究者(ジュニアユース世代)向け施策** 探究学習等の普及で研究志向のジュニアユース世代(中高生)が増加傾向にある。このような人材を「エント

リー研究者」と位置付け、他学会に先駆けて「研究コミュニティへの入り口」を提供することはインパクトが大きい。優秀な次世代人材を早期に発掘・育成し、学会と深い関係性を構築することは、将来の学会規模拡大や、新規スポンサー獲得を通じた財政基盤・プレゼンス向上という形で中長期的に現会員にも利益還元が見込める、戦略的な投資となる。本目的を達成するために、本年度は以下の2つの事業を新設し、関連費用を計上した。

- (1) **エントリー研究者セミナー合宿** 単なる学習支援で終わらせないために、たとえばチュートリアルセッション等を通じた本格的な研究交流のためのセミナー合宿を企画した。初年度は、運営負荷見積もりのために小規模での開催となるが、相互研鑽の場としてどの程度効果があるかを見極める。
 - (2) **エントリー研究者研究助成制度** 他機関にはない、本学会ならではの研究リソース（研究費に加え、全国大会や研究会での発表機会など）を提供する研究助成制度を新設する。メンタリング等のサポート体制を学会内のマンパワーのみで賄うことは困難であるため、伴走支援業務の外部委託費等を助成金に加えて計上した。初年度は制度設計を行うとともに、新規スポンサー獲得などと合わせて運営全体のパッケージ化を目指し、これにより、次年度以降の助成規模・予算規模の適正化を図る。
3. **コンペティション開催支援制度のリニューアル** 外部団体が企画するコンペティションへの支援を通じた他分野・他コミュニティとの接点創出は、異分野融合の受け皿として機能する本会のアイデンティティに合致する独自の取り組みである。外部の優秀な人材を惹きつけ、将来的な大会参加や論文投稿へと誘導することで、学会全体を活性化させる。昨今の環境変化により、従来の「新規のコンペ立ち上げ限定」という枠組みがニーズと乖離しつつあるため、制度の再検討（リニューアル）を予定している。本年度は最大3件の助成を計画し、関連費用を計上した。
4. **専門家(顧問/委託)・企画案(AI事典/マップ他)PoC** プレミアムセミナーといった新たな事業化についての議論を進めるに際し、ホームページのアカウント制御なども含め、コンテンツの拡充についての課題や、セミナー運営方針の設計など、想定状況の整理に時間を要することが分かり、現時点において具体的なサービス開始には至っていない。ただし、40周年記念イベントのための特別コンテンツを制作することができたこともあり、このコンテンツを新規事業に活用する議論も生まれており、引き続き新規セミナー企画についての議論は継続させる計画である。

以上を受け、事業創造として、事業創造委員会を設立し、事業化検討およびマネジメントの仕組み構築を進める。本予算は、同委員会の立ち上げに際し事業化およびマネジメントの実現性を検証するため、経営・法務等の専門家（顧問/委託）を確保すると共に、具体的な事業案である AI 事典/マップの活用などを小規模に

実証（PoC）し、有効性検証および本格展開のためのプロセスを検討するための費用となる。

5. **会員管理システムおよび情報共有システムプロト開発特別費** 2025年度に導入した新会員基盤（SmartCore）はジュニア・ユース会員向けのサービスとして稼働しており、2026年度からはジュニア・ユース会員以外も対象としたサービス向上を目指す。本予算は、コンテンツのアクセスログ取得・分析および分析結果に基づく会員限定コンテンツ提供等のサービス拡充を目的とする。本予算には、2025年度から着手した情報共有システム（Notion）の構築を継続・発展させるための基盤コンサルティング費用、および、将来の全会員システム統合を見据えた、現会員基盤と新会員基盤の会員情報を名寄せ・統合・分析するためのクラウド（AWS）基盤の構築・利用費用も含む。
6. **ジュニアユース会員サービスの充実** 昨年度、ジュニア・ユース会員制度の新設をはじめ、コンテスト参加を促進するための OneDay 体験イベント（中高生対象）、共同通信社と連携したこども新聞企画（小学生対象）、各種コンテストのブランドを一元化した「Japan AI Cup」（中高生対象）など複数の施策を実施した。各種施策は一定の評価を得た一方で、会員とのコミュニケーションが十分でないこと、世代毎の施策内容に偏りが見られるといった課題も出てきた。そこで、日本全体に波及するジュニア・ユース施策を実施/展開することを中長期目標とし、主に、①施策の強化(既存改善や AI for Science for KIDS などの新設, PDCA 運用), ②施策告知導線・内容の強化(告知広告など), ③会員サイト改善を行う。

特別予算の各項目の予算金額(円)については次ページを参照されたい。2026年度は、人工知能学会設立40周年に伴う記念事業の実施年度であることに加え、2025年度に設計・検討を進めたりブランディング、会員基盤、ジュニア・ユース施策、事業創造施策を実装段階へ移行する年度である。このため、特別費の規模は前年度実績を上回るが、いずれも恒常的経費ではなく、限定期間における重点投資として計上する。

40周年企画

内容	収入	支出
40周年関連イベント協賛	500,000	
現行 AI 事典への新規項目追加・ジュニア向け新規 AI 事典編纂		6,000,000
研究会優秀賞受賞者のための全国大会参加費サポート		360,000
40周年式典, 学長/FA企業対談セッション等		16,480,000
小計	500,000	22,840,000
	実質支出小計	22,340,000

会員コミュニケーションの拡大・高度化

内容	収入	支出
エントリー研究者助成スポンサー	200,000	
新政策・エントリー研究者セミナー合宿・研究助成		5,900,000
コンペ開催支援制度(リニューアル)		2,050,000
ジュニアユース(サイト改修・企画および告知広告)		5,500,000
リブランディング施策費用・プレス対応・ジュニア企画(動画制作・編集)		20,360,000
事業創造(専門家(顧問/委託)・企画案(AI 事典/マップ他)PoC)		6,000,000
会員管理システムプロト開発特別費		14,200,000
小計	200,000	54,010,000
	実質支出小計	53,810,000

実質支出合計 76,150,000

以上

第5号議案

収支予算書(収支)

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[8,000]	[1,000]	[7,000]
基本財産利息収入	8,000	1,000	7,000
特定資産運用収入	[18,000]	[300]	[17,700]
特定資産利息収入	18,000	300	17,700
入会金収入	[1,100,000]	[1,100,000]	[0]
正会員入会金収入	800,000	800,000	0
学生会員入会金収入	300,000	300,000	0
会費収入	[77,700,000]	[77,700,000]	[0]
正会員年会費収入	47,000,000	47,000,000	0
学生会員年会費収入	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員年会費収入	26,400,000	26,400,000	0
特殊購読会員年会費収入	900,000	900,000	0
永年会員年会費収入	200,000	200,000	0
事業収入	[189,093,580]	[122,066,120]	[67,027,460]
論文掲載・会誌別刷料	7,200,000	6,400,000	800,000
会誌印税	0	400,000	400,000
デジタル事典印税	140,000	140,000	0
全国大会収入	171,647,000	105,987,200	65,659,800
国際WS収入	546,480	753,720	207,240
研究会登録料他	2,266,100	1,831,200	434,900
セミナー参加費	1,000,000	1,480,000	480,000
会誌等頒布代	1,830,000	1,830,000	0
出版物印税	10,000	10,000	0
ジュニア・ユース	1,000,000	0	1,000,000
AIシンポジウム	3,454,000	3,234,000	220,000
雑収入	[6,210,000]	[6,561,500]	[351,500]
会誌カタログ同封	0	850,000	850,000
会誌広告料	5,400,000	5,400,000	0
受取利息収入	500,000	1,500	498,500
コピーライト	260,000	260,000	0
その他	50,000	50,000	0
事業活動収入計	274,129,580	207,428,920	66,700,660
2. 事業活動支出			
事業費支出	[283,353,675]	[222,047,390]	[61,306,285]
会誌印刷費支出	20,300,000	20,300,000	0
論文掲載・会誌別刷印刷費支出	0	180,000	180,000
会誌執筆謝礼支出	600,000	320,000	280,000
会誌郵送費等発行諸経費支出	7,736,000	7,550,000	186,000
会誌論文査読支出	0	650,000	650,000
全国大会開催費支出	119,853,350	94,986,190	24,867,160
国際WS開催費支出	835,687	596,210	239,477

収支予算書(収支)

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
AIシブゾム	3,115,000	3,851,000	736,000
給料・手当支出	17,032,568	19,185,348	2,152,780
法定福利費支出	1,140,362	625,452	514,910
セミナー開催費支出	3,180,000	3,585,000	405,000
企画動画配信	0	3,080,000	3,080,000
企画コンパティション	650,000	2,928,480	2,278,480
研究会開催費支出	5,129,708	5,076,496	53,212
広報活動費支出	15,130,000	5,278,214	9,851,786
標準化委員会活動支出	215,000	200,000	15,000
NGC編集諸経費	3,500,000	3,000,000	500,000
倫理委員会活動支出	550,000	200,000	350,000
AIマップ関連支出	1,100,000	300,000	800,000
多様性・包摂	616,000	570,000	46,000
ジュニア委員会	3,120,000	6,140,000	3,020,000
表彰費支出	200,000	200,000	0
活性化活動支出	0	50,000	50,000
特別費	76,850,000	41,295,000	35,555,000
消費税支出	2,500,000	1,900,000	600,000
管理費支出	[35,255,917]	[23,218,121]	[12,037,796]
家賃支出	6,407,548	2,222,352	4,185,196
共益費支出	193,248	193,248	0
光熱費支出	230,000	230,000	0
リース・保守・修理支出	1,061,328	1,012,860	48,468
消耗什器備品費支出	100,000	100,000	0
会議費支出	859,000	265,100	593,900
総会費用支出	350,000	300,000	50,000
旅費交通費支出	46,000	30,000	16,000
通信費支出	2,167,376	1,567,376	600,000
印刷費支出	1,460,000	1,260,000	200,000
消耗品支出	290,036	238,036	52,000
給料・手当支出	5,977,992	5,074,092	903,900
業務委託費	3,000,000	0	3,000,000
支払報酬料	507,000	167,000	340,000
法定福利費支出	1,530,022	756,910	773,112
資料購入費支出	76,000	76,000	0
研修費支出	200,000	0	200,000
諸会費支出	107,071	107,071	0
OA維持費支出	800,000	400,000	400,000
福利厚生費支出	30,000	30,000	0
会費引落経費支出	170,000	170,000	0
支払手数料支出	1,800,000	1,700,000	100,000
租税公課	10,000	20,000	10,000
雑費支出	93,150	87,500	5,650

収支予算書(収支)

2026年 4月 1日から2027年 3月31日まで

一般社団法人 人工知能学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
外為手数料支出	50,000	50,000	0
公認会計士費用支出	550,000	550,000	0
事務所整備費用支出	300,000	300,000	0
会員管理委託費用支出	6,890,146	6,310,576	579,570
事業活動支出計	318,609,592	245,265,511	73,344,081
事業活動収支差額	44,480,012	37,836,591	6,643,421
投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
予備費支出	0	0	0
当期収支差額	44,480,012	37,836,591	6,643,421
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	44,480,012	37,836,591	6,643,421

第 6号議案

定款改訂について

理事数の増員のため定款改訂を提案します。

理事数を増員のため第 23 条を改訂する。

現在の条文：

第 23 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 15 名以上 40 名以内

(2) 監事 1 名以上 2 名以内

2 理事のうち 1 名を会長，2 名以内を副会長とする。

3 前項の会長と副会長をもって法人法上の代表理事とし，これ以外の理事を同法上の業務執行理事とする。

変更後の条文：

第 23 条 この法人に次の役員を置く。

(1) 理事 15 名以上 45 名以内

(2) 監事 1 名以上 2 名以内

2 理事のうち 1 名を会長，2 名以内を副会長とする。

3 前項の会長と副会長をもって法人法上の代表理事とし，これ以外の理事を同法上の業務執行理事とする。

以上

2026 年度新任役員候補者

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
理 事	石原 祥太郎	株式会社日本経済新聞社
理 事	和泉 潔	東京大学
理 事	岡田 将吾	北陸先端科学技術大学院大学
理 事	河津 宏美	日本アイ・ビー・エム株式会社
理 事	狩野 芳伸	静岡大学
理 事	黒川 茂莉	株式会社 KDDI 総合研究所
理 事	黒田 由加	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
理 事	清水 真理子	キンドリルジャパン株式会社
理 事	鈴木 麗璽	名古屋大学
理 事	高村 博紀	AI セーフティ・インスティテュート
理 事	道本 龍	株式会社博報堂 DY ホールディングス
理 事	中辻 真	NTT 株式会社
理 事	馬場 雪乃	東京大学
理 事	濱崎 雅弘	産業技術総合研究所
理 事	林 宏樹	雲雀丘学園中学校・高等学校
理 事	水田 孝信	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
理 事	本村 陽一	産業技術総合研究所
理 事	山川 宏	東京大学
理 事	由井 成和	株式会社日本総合研究所
理 事	渡邊 勇	一般財団法人電力中央研究所
監 事	上田 晴康	株式会社ゼネラル

(理事は五十音順、敬称略)

2026 年度留任役員

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
副会長	小野 智弘	(株) KDDI 総合研究所
理 事	板井 光輝	(株) 日立システムズ
理 事	岩崎 弘利	(株) デンソーアイティラボラトリ
理 事	大西 一貫	(株) 博報堂テクノロジーズ
理 事	大向 一輝	東京大学
理 事	岡 瑞起	千葉工業大学
理 事	刑部 好弘	(株) 日立製作所
理 事	木村 大毅	日本アイ・ビー・エム (株)
理 事	清田 陽司	麗澤大学
理 事	小塚 和紀	パナソニックホールディングス (株)
理 事	櫻井 祐子	名古屋工業大学

第7号議案

理事	清水 仁	西日本電信電話（株）
理事	高野 雅典	（株）サイバーエージェント
理事	竹内 孝	京都大学
理事	鳥海 不二夫	東京大学
理事	原 聡	電気通信大学
理事	土方 嘉徳	兵庫県立大学
理事	森永 聡	日本電気（株）
理事	吉田 香	九州工業大学
監事	森田 千絵	（株）東芝

（理事は五十音順，敬称略）

2025 年度末退任役員

全員：非常勤

役職名	氏 名	所 属
会 長	栗原 聡	慶應義塾大学
副会長	本村 陽一	産業技術総合研究所
理 事	荒井 ひろみ	理化学研究所
理 事	石角 友愛	パロアルトインサイト
理 事	市瀬 龍太郎	東京科学大学
理 事	稲谷 龍彦	京都大学
理 事	江渡 浩一郎	Zen大学 （2026年2月26日から理事活動停止）
理 事	大澤 博隆	慶應義塾大学
理 事	岸本 章宏	エヌビディア（同）
理 事	倉島 健	日本電信電話（株）
理 事	倉橋 節也	筑波大学
理 事	黒川 茂莉	（株）KDDI 総合研究所
理 事	小町 守	一橋大学
理 事	坂地 泰紀	北海道大学
理 事	谷口 晋平	(株)博報堂／(株)博報堂 DY メディアパートナーズ
理 事	中臺 一博	東京科学大学
理 事	中野 有紀子	成蹊大学
理 事	山田 健太郎	（株）本田技術研究所
理 事	三宅 陽一郎	（株）スクウェア・エニックス
理 事	渡邊 勇	（一般）電力中央研究所
監 事	立堀 道昭	日本アイ・ビー・エム（株）

（理事は五十音順，敬称略）

2025-2026年度人工知能学会代議員（116名）

（五十音順，敬称略）

相澤 彰子	国立情報学研究所	角 康之	公立ほこだて未来大学
赤石 美奈	法政大学	諏訪 正樹	オムロン サイニクエックス（株）
浅原 彰規	（株）日立製作所	高木 友博	明治大学
荒井 幸代	千葉大学	高玉 圭樹	東京大学
荒井 ひろみ	理化学研究所	高野 雅典	（株）サイバーエージェント
荒牧 英治	奈良先端科学技術大学院大学	高間 康史	東京都立大学
井崎 武士	エヌビディア（同）	高屋 英知	東北大学病院
和泉 潔	東京大学	竹内 勇剛	静岡大学
市瀬 龍太郎	東京科学大学	武田 英明	国立情報学研究所
稲谷 龍彦	京都大学	立堀 道昭	日本アイ・ピー・エム（株）
猪口 明博	関西学院大学	谷口 恭弘	ヤマハロボティクスホールディングス（株）
岩田 具治	NTT（株）	谷口 晋平	（株）博報堂
上田 晴康	（株）富士通ゼネラル	津本 周作	島根大学
浦本 直彦	三菱ケミカル（株）	寺本 やえみ	（株）日立製作所
大川 剛直	神戸大学	鳥海 不二夫	東京大学
大熊 智子	旭化成（株）	長尾 和彦	釧路工業高等専門学校
大澤 博隆	慶應義塾大学	長尾 大道	東京大学
太田 唯子	富士通（株）	中小路 久美代	公立ほこだて未来大学
大谷 紀子	東京都市大学	中臺 一博	東京科学大学
大西 正輝	産業技術総合研究所	中津川 実	キヤノンメディカルシステムズ（株）
大原 剛三	青山学院大学	中野 有紀子	成蹊大学
大向 一輝	東京大学	西原 陽子	立命館大学
岡崎 直観	東京科学大学	西村 拓一	北陸先端科学技術大学院大学
岡田 雅司	パナソニックホールディングス（株）	西本 聡	兵庫医科大学
奥村 紀之	武庫川女子大学	新田 恒雄	早稲田大学
小野 哲雄	京都橘大学	沼尾 正行	京都橘大学
小野 智弘	（株）KDDI総合研究所	野村 俊之	日本電気（株）
折原 良平	キオクシア（株）	橋田 浩一	理化学研究所
柏原 昭博	電気通信大学	服部 宏充	立命館大学
鹿島 久嗣	京都大学	馬場 雪乃	東京大学
片上 大輔	東京工芸大学	早矢仕 晃章	東京大学
桂田 浩一	東京理科大学	林 兵馬	神戸大学
岸本 章宏	エヌビディア（同）	東中 竜一郎	名古屋大学
來村 徳信	立命館大学	土方 嘉徳	兵庫県立大学
清田 陽司	麗澤大学	平嶋 宗	広島大学
工藤 康生	室蘭工業大学	平田 耕一	九州工業大学
倉島 健	NTT（株）	福井 健一	関西大学
倉橋 節也	筑波大学	福田 直樹	静岡大学
栗原 聡	慶應義塾大学	坊農 真弓	国立情報学研究所
黒川 茂莉	（株）KDDI総合研究所	牧田 光晴	LINE（株）
古崎 晃司	大阪電気通信大学	松村 真宏	大阪大学
越仲 孝文	横浜市立大学	三宅 陽一郎	（株）スクウェア・エニックス
小林 哲則	早稲田大学	村田 剛志	東京科学大学
小林 一郎	お茶の水女子大学	村田 博士	（一財）電力中央研究所
小林 一樹	信州大学	本村 陽一	産業技術総合研究所
小町 守	一橋大学	森川 幸治	（株）LIFESCAPES
坂地 泰紀	北海道大学	森田 武史	青山学院大学
坂本 真樹	電気通信大学	森山 甲一	名古屋工業大学
佐久間 淳	東京科学大学	矢入 郁子	上智大学
櫻井 祐子	名古屋工業大学	矢田 勝俊	関西大学
佐藤 理史		谷中 瞳	東京大学
佐藤 敏紀	ソフトバンク（株）	山内 康晋	（株）東芝
篠原 歩	東北大学	山田 健太郎	（株）本田技術研究所
新保 仁	千葉工業大学	山本 章博	京都大学
鈴木 英之進	九州大学	吉岡 健	
鈴木 豊太郎	東京大学	吉田 香	九州工業大学
砂川 英一	（株）東芝	RAFAL RZEPKA	北海道大学
砂山 渡	関西大学	渡邊 勇	（一財）電力中央研究所